

# 真福寺藏新樂府注 総索引 (一)

— 本文篇 — 自立語索引篇 —

来 田 隆  
福岡教育大学国語史研究会

本稿は、真福寺藏新樂府注正嘉元年（一二五七）写本（一冊）の総索引であつて、本文篇・自立語索引篇・付屬語索引篇のうち、本文篇と自立語索引篇とを収める。

鎌倉時代語資料としての本書の言語の性格については、小林芳規先生の御論があり、<sup>↑</sup>本稿の筆者（来田）も本誌第一輯で論じたことがある。<sup>↑</sup>

本書の全文は、太田次男氏の翻印によつて紹介されている（「真福寺藏新樂府注と鎌倉時代の文集受容について」— 付・新樂府注翻印 —）。「斯道文庫論集」第七輯 昭和三十二年）が、本稿では、未だ原本調査の機会に恵まれていないので、すべて、太田氏の翻印された本文（以下底本と呼ぶ）に従つて

いる。

○ 本文篇について

一、片仮名宣命体。句読点は底本のままとした。

二、漢字の字体は現行の正字体に統一した。但し、「躰」「万」については底本のままとし、字跡未

詳の場合も底本のままとした。誤字・宛字と考へ

られる場合は、その該当文字の左傍に正しかるべき字を（ ）に入札て示した。

一、片仮名字体も現行の字体に統一したが、「マ」「キ」「六（ロ）」は底本のままとした。「レ」は「レ」の仮名と紛れないように、「ン」の字体とした。

一、底本では、文字の痕跡などにより推定の可能な

一、底本では、文字の痕跡などにより推定の可能な

- 場合に、該当文字を確實度から( )と( )とを以て、二類に区別して示してあるが、本文篇では、それを区別せず、ともに「」を以て示した。
- 一、本文篇の頁数・行数は底本のそれを以て示した。底本は上下二段組みになつてゐるので、下段の場合の行数には○で囲んで、上段の行数と区別した。
- 二、本文篇の注記は、太田氏の細印注記(漢字片仮名交り文)と、主として語詞の認定に係める事柄(や、新樂府の原文を必要に応じて掲げた。参考にした白氏文集訓点資料は次の通りである。
- 神田本白氏文集卷三・卷四 天永四年点(古典保存会複製本に依る。所在は複製本の頁数で示す。)
- 大東急記念文庫蔵文集卷四嘉禎四年点(小林芳規先生御移点本に依る。)
- 自立語索引篇について
- 一、自立語索引は、本文篇に基くものである。
- 二、新樂府原典の語句を引用した部分には索引には採らず、一括して自立語索引の末尾に掲げた。本文に關係の無い書き込みの部分(和歌一首)は索引に採り、その所在にへんを付して、本文の語句と区別した。

- 一、見出し語は平仮名で表記し、歴史的仮名遣(字音仮名遣)により、排列は五十音順とした。
- 二、見出し語には、意味識別の便宜上、漢字を宛てた。

一、活用語の場合は、下接の付属語・補助用言・形式体言を、補助用言の場合は、上接語をも併せて掲げた。

この絶索引の作成に従つた福岡教育大学国語史研究会のメンバーは、次の通りである。

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 草野十四郎 | 熊牛童夫  | 佐々木智子 |
| 佐本和子  | 多久桂一  | 深山裕子  |
| 藤井須磨子 | 松並潤子  | 三ヶ島正人 |
| 水城秀美  | 吉田満子代 | 村上啓子  |
| 来田 隆  |       |       |

注へん「中世片仮名文の国語史的研究」(マズ島大学文学部紀要)持輯号 昭和四十六年) 八二「国語史料としての真福寺蔵新樂府注正 嘉元年書写本」

本文篇

493 新樂府注上

- 2 玄宗七肅宗八代宗九德宗十順宗十一憲宗
- 3 七德舞 武者ニ美シ、徳ノ之七候ヲ唐ニハ舞候ヲ七徳
- 4 ノ之舞トハ申候也
- 5 此段ノ意ハ、唐ノ太宗ト申ケル御門、政直スナラニ
- 6 世ヲ治給亭ヲホメテ候也。此御門、或ハ
- 7 御方ノ軍之庭ニ命ヲ滅或ハ貳心無ク仕ヘ
- 8 進セテ、斯世ヲ背キ候ケル人ミノ骸ハネナムト人
- 9 自野山ニ散テ候ケルヲ、御倉ヨリ絹金ナント
- 10 下ヲ下基ヲ作埋給ケリ。埋ミナムトシ
- 11 テ候者ニハ様シノ物タヒ候ケリ。又口口口レカタナ
- 12 クテ子ナムトヲウリテ哀候ケルヲハ、金ヲ下レシ
- 13 見ル子哀立張蓮哀聞辰日哭申候ハ、
- 14 人、世ノ中ヲ墓テ御政ヲ治テ候ケレハ、又無キ
- ① 物ニ思シ召シケルレ程ニ、此人己ニ病ニ臥候ニケリ。
- ② 其比、御門御夢ニ、暇口給リテマカリ候ナムト御

- ③ 覽シテ、我鏡レ失ヌトテ竟夜立明サセ給ケリ。張
- ④ 瑾ト申人失レ給レケレハ、哭哀給ケレハ、人々
- ⑤ 候、今日ハ辰ノ日ニ相宛ダレリ、故サラ哀事可
- ⑥ 忘日テ候也ト申ケレトモ、御門ノ敷、更ニ不止候
- ⑦ ケリ。年夕ケ又ル後ハ、祖ヲ失ハレル人モ、ウキ世
- ⑧ ノ學ナレハナムト思ヘテ、サシモ歎レ又人モ
- 候ヲ、人ヲ惜セ給心懲ナレリケレハ、人目ニモ
- ⑨ 不憚立哀給ケルニ候。三斗之后候ケルヲモ、何ト
- ⑩ ナハク宮中ニ込居テ苦事有、各心
- ⑪ ニ思候ヘシトテ三斗餘人ヲハ出給ニケリ。此
- ⑫ ヲモ人ノ痛息、人思」送サセムカ爲セケル
- ⑬ ニ候。重名候テ命ヲ可召者、三斗百九十人候ケル
- ⑭ ヲ、今年ハ冬ニ成ヌレハ獄ヨリ皆可出、秋可行事
- ⑮ ナレハ、明年秋必ス可テ詣、悉放セ給ニケ
- ⑯ リ。サテ、其秋ニ成候ケレハ、サナカラ獄ニ返リ
- ⑰ 入候ニケリ。感應重ク御在ケレハ、逃ケ不、失返レ

494 詣リテ候ケルニ候。

(1) 原文は「翫」。「翫カハ子」(観智院本名義抄  
公下本6) (2) 「ミ」ハ原文「ミ」ノ如ク見ユ。イマ  
「ミ」ヨ充ツ。(3) 魏微夢見子夜泣張護哀間

辰、日、旦 (文庫卷三天永四年点5) (4) モト「見

テ」。 「テ」ヨ消シ、「シカハ」ニ改ム。(5) 「間」ノ  
右下仮名ヲ消シ、左下ニ「カハ」ヲ加フ。イマ右下

ニ移ス。(6) モト「申ケル」。「ル」ノ上ニ壺ネテ「候  
ハ」ニ改ム。(7) 「鑿」カ「ミル」(観名 僧上ハ  
声点ママ) (8) モト「充タリ」。「リ」ヲ「リ」ニ改ム。

(9) 「准」ナ「スラフ」ノ誤写ナラン。「准」ナ「スラフ」(観  
名 法上46) (10) モト「可」。「テ」ヲ消シ「ト」ニ改

ム。(11) 「放」ハ「ツ」ユルス(観名 僧中引) (12)  
「ノ」上「濃墨筆」ニテ更ニア「ヲ」ヲ書加フ。

494 法曲 賢コ、御門、世中ノ静ナルヘキ事、舞歌

樂ナムト二作テ、舞歌ト初給ヲ、法曲トハ  
申ナリ。

5 此段之意ハ、世々、御門、國司、治、舞樂ヲ既給ル

6 程、世々、静ケルヲ、唐、玄字ト申御門、カ、  
アル樂ト云、胡、國、申遠キ井中ヨリ出キテ候

494 ①ケル」舞歌ヲ既給ケ「リ」。□□人城コノ風ヲ棄テ、

② 放テ事熊ヲ用ラル、「何」□□申ケル程ニ、明

③ クル年國モ亂レ、御門モ入込モリ給ケリ。此段ノ

④ 意ハ、古ヲ新メテ、用、近、棄、遠ヲ既給

⑤ 事ヲ「諒」リテ候也。

(1) 迄ノ声点不鮮明。(2) 京「字」ニ作ル。文中コ

ノ例多ク、マ、濃墨筆ニテ「宗」ニ改ム。始ヨリ「宗」

ニ作ル個所モアリ。(3) 「ト」ノ上、更ニ濃墨筆ニテ

「ト」ヲ加フ。(4) 「亂」何レモ「亂」ニ書ク。(5) 原文

「棄」ニテ「汰」ニ書ク。(6) 「近」ニ「純」キ「用」トア  
ルヲ消ス。

494 ⑥二王後 隋煬帝ト申ス御門、子恭帝封鄴國公、後靜

帝封介國公ト申ス二人ヲ、二王後ト申也。

⑦ 此段ニハ、大字「之」御心、深事ヲ護マイラセテ

⑧ 候也、彼煬帝ト靜帝ト申ス御門、乍爾「國」ヲ滅

⑨ シ給ケレハ、大字「兩」ノ王ヲ失テ、其、子一人ツ

⑩ ヲ取テ「命」ヲ封テ、大廟、祭ナムトト申ス、祭、時ハ

⑪ 此二人」王子共、事ヲ給ニケリ。太宗ノ御言、

⑫ 王ノ氏「ヲ」サレノミ可斷、事ナラネハ、失ハヌセト

453 アリケレトモ、御心ノ「中」ニハ、國ヲ失ヘル國  
 4 王ノ末ヲハハ加様ニ成タル事ニコソト見セテ、世  
 5 ヲヲサメン人ノ心ヲ深ク誠メント思シテ、此二人  
 6 之王子共殘被置ケルナリ。

① 鄭公(文集卷三天永四年点) ② 「字」右下  
 「形」虫損アルモ、痕跡ハ無シ。他例(例)「漢」  
 武帝ノ「ハ」ハ「形」虫損ニ僅カノ墨痕跡アリニ  
 準ズルトスレバ、「太宗」トスベキカ。③ 原文  
 兩「」に書ク。(4)「カカリヨ」曲墨筆。(5)「字」トア  
 ル上濃墨筆ニ「宗」ニ改ム。(6)「モ」ノ下、一字ア  
 ルヲ消シ、其右書入ノ一字ヲモ消ス。(7)「モ」ト  
 「ニ」トモ、「王」ヲ消シ、「上」ニ改ム。(8)「共」ノ「ヨ」  
 ヲ消ス。

457 海邊ニ 海、廣ヨト邊リ量リモ難知事ヲ海邊ニト申  
 也。

8 斯段ニハ、秦始皇漢武帝ト申シ二人リノ御門蓬  
 ① 萊山ヲ求テ、人ノワツラヒヲ成給ケル事ヲ諺リテ候  
 ② 也。「秦」始皇ノ時、徐福ト由ケル人、東ノ海ニ蓬  
 ③ 萊山有リ。其山ニ多ク藥アリ。服ツル人千乃  
 ④ 命ヲ得テ、空ヲ翔ルトシ承ハルセト申ケレハ、(幼)

459 童少キ女三千人ヲ集メテ、多ノ舟ニ蓬萊被  
 ⑥ 求ケルニ、海ノ上ニテ年積ニケレトモ、不得  
 ⑦ 「求」□□ニケリ。童男ト申テハ此等也。其後、  
 ⑧ 又漢武帝、□□成ト申ス人必ス可求彼山ヲ由シヲ  
 ⑨ 申ケレハ、亦多ノ童男ト申テ遣ハシテ被求ケレ  
 ⑩ トモ、如前「不叶」シテ止ニケリ。大方タハ蓬萊  
 ⑪ 山ハ慥方ニ有、可成「仙」人ハ不「求」至。  
 ⑫ 仙ヲ得マシキ人ハ、求トモ不相「事」ニテ有ナリ。  
 ⑬ 此段ノ意ハ、國ヲ治ル人ハ、叶マシキ事ヲ治テ國  
 ⑭ ノ弊ツイハヲ成、人煩ヲ至、事有マシキ事ト成  
 ⑮ タルナリ。

① 原文は「皇」。② 「皇」トスベキヲ「皇」ニ作ル例  
 所多シ。③ 「服」ノ「ス」ニ重不、ツルニ改ム。(4)  
 始メ「約」シテ消ス。「幼」ノ誤字カ。(5)「モ」ト「ト」、上  
 ニ重不「ヨ」ニ改ム。(6)「モ」ト「承」加筆シテ「前」ニ改  
 ム。

466 立部伎 城ノ中ニ、エヒスノ國ヨリ出キテ候樂ヲ  
 立部伎ト申セ  
 2 此段ノ意ハ、唐玄宗皇帝ノ寶、事ヲ棄テ諺リテ  
 3 候也。「昔」ヨリ君、祈國、助ト可成樂ハ坐  
 4 部伎ト名、圓丘后土、祭「ナ」トニモ被用是

406 5 事<sup>③</sup>候ヲ、唐ノ玄宗ノ時、<sup>②</sup>都坐部〔伎〕樂人<sup>③</sup>撰抽<sup>ヌキテ</sup>  
 6 戎、立部伎之樂人<sup>ニ</sup>被加<sup>レ</sup>ケレハ、戎、樂ハサカ  
 7 へ都ノ樂ハ廢タレ候ニケレハ、都ノ樂、笛、笙、琴、  
 8 調<sup>モ</sup>皆道ヲ守リ、舞、神<sup>ノ</sup>歌音<sup>ハ</sup>モ皆様々メシ有<sup>ニ</sup>  
 9 候。戎ノ樂ハ、喧シク調<sup>ハ</sup>亂カハシク、舞一トシ  
 10 于戎メヨ守<sup>ル</sup>事無シ。カ、ル輕<sup>ク</sup>シキ事ヲモテナ  
 ① シテ、直<sup>ハシキ</sup>事ヲハ棄<sup>ステ</sup>、事吉カラ又<sup>レ</sup>事也ナント、  
 ② 時<sup>ハ</sup>人々申ケル程ニ、幾<sup>ク</sup>無シテ國亂候<sup>レ</sup>ケリ。

①「京ハ濃墨筆、(2)モト「字」濃墨筆ニテ「京」ニ  
 改ム。(3)「樂」ノ「ヲ」ヲ消シ、「樂人」トス。(4)「音  
 ハ濃墨筆。(5)「亂」ミタレカハシク「内」ニミタ  
 レ」ノ三字ヲ消ス。

406 花原磬

樂人ノ打候者、中<sup>ニ</sup>磬<sup>ト</sup>申<sup>ヌ</sup>物候ナリ。  
 花原<sup>ト</sup>申所、石<sup>ヲ</sup>「取」テ、磬<sup>ニ</sup>被<sup>レ</sup>作  
 候シヲ花原磬トハ申也。

- ④ 此段ニハ、唐玄宗ト申セシ御門、古、事棄テ、新<sup>ハ</sup>  
 ⑤ 事ヲ用給シヲ誇リテ候也。昔<sup>ヨリ</sup>四濱ト申所、石<sup>ヲ</sup>  
 ⑥ 磬<sup>ニ</sup>作<sup>テ</sup>ハ、代<sup>々</sup>相繼、明堂大廟ノ祭<sup>ニ</sup>モ用<sup>ラ</sup>  
 ⑦ レ候ケルヲ、唐ノ玄<sup>口</sup>口<sup>口</sup>始テ花原ノ石ヲ被<sup>レ</sup>用候<sup>ニ</sup>  
 ⑧ ケリ。時ハ又<sup>ク</sup>候テ、昔無<sup>キ</sup>事<sup>ハ</sup>共<sup>ニ</sup>「万々可有憚<sup>一</sup>

④ 上<sup>ハ</sup>ニ、此新<sup>シ</sup>シキ磬、音<sup>ハ</sup>、國亂<sup>ヘ</sup>キ響<sup>ナ</sup>ムト申  
 ⑩ シテ、帝ヲハ申<sup>レ</sup>エスシテ樂人ノ愚シテカ<sup>ル</sup>物ヲ  
 ⑪ 用<sup>ヨ</sup>ソ<sup>ハ</sup>テ誇リ候<sup>レ</sup>ケル程ニ、幾程無シテ、此國<sup>ハ</sup>  
 407 1 國ヨリ軍<sup>ハ</sup>發<sup>テ</sup>、國<sup>ハ</sup>亂<sup>ケ</sup>レハ、帝モ蜀山ト申山<sup>ニ</sup>  
 2 入<sup>込</sup>給ヌ。唐土賢人ト<sup>モ</sup>ハ、風<sup>ノ</sup>聲水<sup>ツ</sup>ノ色<sup>ニ</sup>付  
 3 3 モ、國榮<sup>ハ</sup>國ノ可傾<sup>一</sup>事ヲ計<sup>リ</sup>、歌音樂ノ響<sup>ヲ</sup>聞  
 4 4 4 4 政、可亂<sup>一</sup>事ヲ誇<sup>リ</sup>候ナル<sup>ニ</sup>候。

①「字」ニ重テ、濃墨筆ニテ「京」ニ改ム。(2)「帝」  
 行末余白無キタメ小字。補入ニ非ズ。

407 上陽白髮人

有<sup>ル</sup>后<sup>キ</sup>年十六ト申ケルヨリ、「上」  
 陽宮<sup>口</sup>籠<sup>ラ</sup>レテ六十ニ成マテニ不<sup>シ</sup>テ  
 出、「其」髮<sup>モ</sup>白<sup>毛</sup>候<sup>ニ</sup>ケリ、其<sup>ヲ</sup>  
 上陽白髮トハ申也。

- 6 此段ニハ、唐、玄宗皇帝ノ政ニ意ヲ入<sup>給</sup>サリシ事ヲ  
 7 誇<sup>リ</sup>、楊貴妃<sup>ハ</sup>心<sup>口</sup>口<sup>口</sup>「色」ヲ染<sup>ケ</sup>テ<sup>レ</sup>事ヲ誇<sup>リ</sup>テ  
 8 德<sup>レ</sup>宗皇帝ノ物ノ哀ヲ知<sup>給</sup>シ事ヲ讀<sup>テ</sup>候也。玄宗<sup>ハ</sup>  
 9 皇帝、「昔」「元」憲<sup>ハ</sup>皇<sup>ノ</sup>后武淑妃ト申ケル<sup>ニ</sup>人<sup>ノ</sup>  
 10 姫<sup>キ</sup>ニ後テ、歎<sup>ニ</sup>泥<sup>テ</sup>時、政ヲモ不知<sup>シ</sup>テ、此二人<sup>ニ</sup>  
 11 似<sup>テ</sup>「<sup>口</sup>口<sup>口</sup>」<sup>ハ</sup>人<sup>ノ</sup>ヲ尋<sup>ネ</sup>テ心ヲモナクサ<sup>ム</sup>ト思<sup>シ</sup>テ  
 12 可<sup>然</sup>一家<sup>ノ</sup>人<sup>ト</sup>「<sup>口</sup>口<sup>口</sup>」<sup>ヲ</sup>尋<sup>ラ</sup>レケル程ニ、楊

407 ①「玄」破ト申ケル人ハ娘ニシテ楊貴妃ト申人ヨリ尋出テ

②帝無疑ト思シケリ。其後新妃サキ百餘人有リ。コ

③ノ有ケル中ニ、形フルマヒ勝タル人ヲ有ケリ。楊貴

④妃思候ケル様、帝此ヲ御覽スル事モ有ラハ、我ヨ

⑤リ道々事「モ」有ナ「ム」口思テ、諸ニ上陽宮ト

申置宮、中ニ込メテ、僅ニ曰フ可送一專計ヲ人ニ

⑥付テ仰セ、扇守ヲセケリ。カナル程ニ、楊貴妃ヲ失

⑦セ帝「モ」陰給テ、三代ノ帝ノ御世ヨ盡マテニ章モ

⑧不有ケルヲ、「德宗皇帝ト申ケル帝ノ御時、尋出シテ

⑨哀ナル事ニシテ思シテ、司ヲタヒケリ、尚書號ナリ。」

①玄宗皇后ニ「元獻」ノ名アリ。(2)「ト」或ハ「カ」

カ。(3)「人」ハ「人」ニ作ル。(4)口ノ個所「ト」ニ近シ、或ハ

「ト」カ。(5)「カ」ルノ次「様」トアルニ字ヲ消シ「程」

ニ改ム。

407 胡旋女

康居國ヨリタクヒ無ク舞面白シケル女  
詠イリタリケリ。此ヨリ胡旋女トハ申ナリ。

①此段ニハ、玄宗皇帝、世ヲ可治ム事ヲハ不知シテ、

408 1 輕キ事ヲ好シ給シテ、諺ヲテ「玄宗皇帝、御

2 世盡ナントセシ」此ニ殊ニ舞樂ヲ好テ、人々ニ舞

3 ヲ給ケリ。帝自覺「裳」羽衣ト申ス舞ヲ楊貴妃

4 安祿山ヲモト舞テ給ケリ。カナル程ニ、胡旋女詠

408 5 チレハ此ニ並舞ハナカリケリ。鼓一ト聲ストハ

6 雙袖ヲ舞、迴雪飄飄トシ舞ト申ハ、

7 此胡旋女カ舞ケル有様ヨリ申タル。梨花園中ニハ

8 冊作ス妃ト金鷄障、下ニ養ヒテ爲兒ト申ス。楊貴妃モ

9 右ナトモ舞給ケリ。安祿山ハ楊貴妃ノ養ナヒ子

10 也。然トモ舞シケルコトヲ書タルナリ。サリケル

程ニ國々ノ人々帝ノカナル事ヲ口御心ニ入テ、世

11 事ハリヲシタマハサリケルヲ、衛イリテ打チ

12 「詠」ヲ事ヲ儀シタハカリケレハ、安祿山申

13 ケル様、天下ヲ失ハ楊貴妃ト其弟楊國忠ナリ。此

14 ヲ失イテハ、帝ヲ空キ御意ニ成給ヒナム。我レ楊

①貴妃ノ養子ナレトモ御門ヲ失イテ詠ラセムヨリハ、

②此等ヲ失ヘシト申シテ、單ヲ發シテ失ケリ。此偏

ハニ帝ヲ思詠スル故ナリケレトモ、右ニ後レヌル事ヲ

③哀ナシムテ、帝モ入込リ給ケリ。

①胡旋女(文集卷三、天永四年点1) (2)「ト」シトア

ル上重ネテ、濃墨筆ニテテニ改ム。(3)絃鼓一

聲・雙袖・舞・迴雪・飄飄・舞(文集同上)

7) (4)梨花園中冊作ス妃ト金雞障、下ニ養ヒテ爲

兒ト(同上) (5)コノ字不詳、或ハ「衛」(名義抄

「衛」トアルヲ誤用カ。(6)モト「養」トアルヲ消シ、

上欄ニテ「楊」ニ改ム。上欄ヨリ、イマ本行ニ移ス。  
④「ケレ」ヲ「ケル」ニ改ム。

408 ④ 新豊折臂翁 若カリケル時ニ軍トモノ世ヲシノカ  
ンカ爲ニ、熊臂折翁新豊ト申所ニ  
有ケルヲ、新豊「折」翁「翁」口「軍」也。

⑤ 此段ニハ、玄宗皇帝、時、楊國忠ト申ケル人、時、  
⑥ 政ヲ事トシテ、國ノ費ヲ不瀟マ、人散ヲ不知、事ヲ  
⑦ 謗タルナリ。南方ノ國ノナリニ南蠻申スエヒス  
⑧ ノ國アリ。帝斯ヲ隨ハシ給事難有ニ事ニアルヲ、  
楊國忠申ケル様、二十万人軍ヲ給候ハ、彼ヲ打隨シ

⑨ ハナムト申ケレハ、玄宗皇帝サモアリナムト思ヲホ  
⑩ シテ、レ國ミニ軍ヲメシケリ。其時、此、折臂翁年  
⑪ ニ十四ニ有ケルカハ、申様彼コハマカル道ニ瀘水ト

409 ① 申テ水ヲ濫シテ海廣シ五十里ナル河アリ。  
② 此河「渡」人十人ニ三人ハ死ヌル事也。其本繩  
橋ヲ渡ナムトスル「ケ」シキ道アリ。命不レニ

③ 軍ニ前死ナム事無疑ニ事ナレハ、我臂折テ軍、催ヲ  
④ 遣テ思テ、熊ト左ノ臂ヲ折タリケリ。サテ、楊國  
⑤ 幾ハノ軍ヲ率テ罷リケレトモ、カ、ル道ニテ多  
⑥ 人死ケレハ、空テ返ヌ。人ヲ率テ、楊國忠世ヲ  
⑦ 政ナラハ國滅サント申ケレバ、國ヲ歎ヲ息ヲ爲

ナリ。安祿山ト申ヌ人爲蕃陽節度使 楊國忠ヲ失  
⑧ ケレハ、帝モ入込給ケリ。此段ニハ、楊國忠方叶ハ  
⑨ 又事、故ニ多、人ノ歎ヲ成テ、「己」至「滅」テ帝ノ  
位ヲモ失、世ノソシリトナリケリ。

① 新豊折臂翁(文集卷三 天永四年点一) ② 其  
ノ右下ア字形虫損アリ。或ハ「」アルカ。 ③ 瀘水  
(文集同上 19) ④ 名義抄「瀘」タキル。 ⑤ 「」キ  
「」ヨリ「」我臂レマテ「」ニナ一字、行間小字。イ  
マ、本行ニ改ム。

411 大行路 常山ト申ヌ山ノ巖サカシキ、車ヲ摧カ故  
ニ、大行路ト申也。常山ハ通「碣」石山  
道也。

① 此段ニハ、車ヲ摧ク道ヨリモ人ノ心ハサカシク、舟  
② 覆カハス 水ヨリモ人ノ心ハケハシト申候也。人ヲ  
③ 吉ト思フ時ニハ、翅生テ空ヲモ飛ヒ翔ル様ニ讚  
④ メ、惡シト思時ニハ、疵ヲ求過ヲ顯ハス。有「事」ヲ  
申スマテハ事モヤサシク候。無「事」ヲ申付ルニ

⑤ 夫ノ間タモ、昨日マテハ七夕ヒコ星ノ斷ヘ又契ヲ  
⑥ 下之間ニモ朝「タ」ニ御額「深」ケレトモ、夕ハニイノ



409 ④ 子ヲ召レ 數限無事ナレハ、車ヲ措ク自山一舟ヲ覆ス  
 自河、心□□「勿」ト申ナリ。

① 大行路ハ、注文選云ク、大行路ハ在常山ハ上瀾ノ通、  
 福ハ石ハ山ニ也。「新樂存略意」太田氏翻刻本  
 ② 原文ハ「新」。「新」或ハ「斷」ニ改メタルカ。  
 參、高（文意卷三、天永四年点22）子□、個所、感  
 ノ如ク見ユ。不詳。③「忽」イルカセ「銀名法  
 中83）

409 ⑧ 司天臺 高、十丈ノ臺、立テ、天文道ノ者ヲシテ、  
 位天、氣色ヲ見セテ帝御爲ニ世ノ可、  
 吉、事可然、事ヲ申也。此司天臺トハ申  
 也。

- ⑨ 此段ニハ、御門ノ御爲「三」惡カ「リ」又ヘキ天變ノ「有」
- ⑩ ルヲ、目出「事」申「天」文道之者共爲申スヲ諺リ
- ⑪ テ候ナリ。高「十」丈臺ナヲ立テ、毎夜「星」ノ循リ
- ⑫ 雲ノ色ナムトヲ見セラレ、事、天變有ラハ御所ヲ
- ⑬ モシ、又政ヲ改メテ過ヲ追レムカ「爲」也。而ヲ、
- 天變有ル時モ御氣色イカト「イ」ツハリテ、御
- 410 喜ヒトノミ申ヘ、ユ、シ、ヒカコト也。爰ニ、サレ
- 2 ハ、漢、元帝周成帝ノ時、時變落、有ケレトモ、

- 3 敢テ申サ、リケレハ、御祈ナムトモナク、政コト
- 4 「ナ」ヲサル、事モ無リケル、國モ滅ケリ。此段
- 5 「」、サノミ爲ヲ申サハ煩、高百「天」ノ司天臺立
- テモ由シ無「シ」。カ、ル徒、ツカサニ、多ノ俸
- 6 祿ヲ賜モ空「ナ」シク成ヌト諺「ナ」リ。

410 捕蝗

夏ノ由ノ青ヲ食、失、虫ヲ蝗虫ト申也。人  
 催、虫ヲ取ラスル事アリキ。其ヲ捕蝗ト  
 ハ申也。

- 8 斯段ニハ、玄宗皇帝ノ時、河南ノ長吏、申ス「者」
- 9 「蝗」ハ虫「ト」トラセシ事ヲ諺リテ候也。河南ト申
- 10 ス「河内」ニ「國」候、其國ニ蝗虫出來テ、千里程ニ
- 11 齊、苗モ無ク食失ヘル事アリ。河南長吏、國々
- 12 催シテ蝗「虫」ト「ラ」セケリ。唐ニハ、多ノ國
- 13 政、人ヲハ長吏ト申也。民「程」ニ隨、年貢
- ④ ナトノ様ニ蝗虫ヲ取セテ粉リ「納」ケレハ、蝗虫
- 口「」物多有テ、錢、三「百」蝗虫一斗ヲ易
- ② 蝗虫ヲ取り得、物ハ買ナントシテ納ケリ。人「カ」
- ③ 天災ヲ競「テ」難キ事ニテ「候」ハ、一ノ虫ヲ取レト
- ④ モ、虫來「テ」更ニ不稱、飢「」民ヲ彌ヨ煩ス

40 ⑤ 亭ニ候也。唐ノ太宗レ之時、蝗虫出来ケレハ、上林

⑥ 苑ニ□□ノ蝗虫ヲ取レテヤカ國ニ作物滅スハ

⑦ 民ノ命ヲ失セ。政事ミシレ、事ハ天ノ責ナク

⑧ 來タル 今年モ天災ヲコレリ、是レ我レアヤマテ

可有、只多ノ人ヲ滅サムヨリハ人一ヲ失ヘ。トカヲ

⑨ 我身ニライテ、國ノ滅ツクハントテ、一ノ蝗虫ヲノ

⑩ ミ給ケレハ、蝗虫皆ヲ去テ失ハミシケレ。又

⑪ 陳留ト申所ニ蝗虫出来ハカレ文伯ト申ス人、惡キ政

⑫ 事ヲステ、善キ政事ヲハしめりレハハ、蝗虫

⑬ 境ヒラ出ニケリ。此段ノ意者政事惡レハ天災必

ス發レ、自ラ天ノ災ヲコラハ政事アラタムヘレ

⑭ シト也。

(1) モト「ナムトヨ」、「ララ消シ」、「ノ様ニレ改ム。(2) 一虫

雖「死」虫「來」豈「將」人「力」競「天」災「也」

(文) 雙卷ニ天永四年点28 (3) 虫損、痕跡ナキモ

「レ」ニ似ル。(4) 「ナラ」ト讀ムベキカ。(5) 「我」ヨリ

「我」ノ上 稍濃筆ニテ「人」ヲ書加フ。(6) 貞觀之初

道「欽」皇「仰」天「香」(蝗) (文集同上28)

(7) 墨痕跡ハ「王」ト出「レ」ニ似ル。

41 1 昆明春冰満 漢ノ武帝ト申ケル帝ノ時、昆明園ト

41 1

申國ヲ責ラレケルニ其國ニ、水海ノ有

リテ責カクナシ。水ノ上ノ軍ヲ人々

ヲ掘セテ有ケリ。昆明園ノ水海ヲ遷ルカ

故ニ昆明池ト申也。

2 此段ニハ、遠、民近、民、バケスシテ御哀ヒ、人ノ可

3 然一ノ事ヲ申タル也。昆明池ト申ス也都邊リナリ。

4 近民共レ或ハ鱗クツヲ取商イ或ハ鱗ヲ捕ナムト申ス

5 草ヲ苜賣レトモ、御制非ケリ、州香ニ杜若ト申

6 スハ、彼ノ池ノ有様ヲ書テ候レ也。又都ノ「外」ニ邊

7 吳興山ト申山ニ苜ト申ス草有。放キルサレネハ、

「其」□□取者候ハス。又鄱陽坑ト申所候。都ノ外

8 邊也。「其」所ニ銀カネ有トモ、放サレネハ又取者

9 ナシ。此段ノ意「ハ」□□□□レヌレハ、

10 銀ヲ「ハ」放シテ取ラシメ給ハシ。苜ト申ス草ヲモ放

① レシテ取給ヘシ。年々、年貢急ナクハ國ノ費ハ

不可成候。タ、イツレヲモ制止ヲ加ラレスハ、近ラ

② 遠ヲモ、同クイサミヲナシナムト申スナリ。

(1) 「ハ」ケヌ、「ハ」ハ「コ」トモ解シ得ル。(2) 獲「狐」補「利」

(又) 雙卷ニ天永四年点28 (3) 洲香ニ杜若

抽「心」長。(同上28) (4) □□ノ個所「不詳」

411 城鹽洲

唐ニハ西方ニエヒスノ國アリテ、(帶)都  
ハ□□候ナル故ニ、西方境ニ將軍ヲ一人  
ツ□□□各構タル也。北ノ境ニ鹽洲ト  
申所ニ城□□□候ヲ城鹽洲トハ申也。

- ④ 此段ニハ、唐德宗ト申ス帝ヲ讚テ、其時、將軍ヲ諱  
リテ候也。昔唐、高宗ト申帝ノ時、北方、エヒス
- ⑤ 常ニ打入レケレハ、韓公ト申ケル人々、三ノ城ヲ
- ⑥ 梁防ケルヨリ、被破レ、(尋)候はサリケリ。其後、
- ⑦ 德宗ノ御時、復或ス可入ヨシレキコヘケレハ、帝自
- ⑧ 指圖シテ、鹽州城ヲ梁カセ給テ、將軍レヲ置テ給ケ
- リ。其將軍防コト無クシテ、狄ニ様々ノ物レ
- ⑨ ヲヲヒテ□□此コ、ヲ圍ラテ程ハ都ハ不可入。其後ハ、
- ⑩ 何ニ□□ロモナヲ常ニ狄ト依相セテ「遊」ヒケリ。此
- ⑪ 段ノ意ハ、德宗ノ代ヨリ終ニ破マシク構ヘ給ヘ
- ⑫ シ城ノ内ヲ開テ、狄ヲ集テ、城ル、事申ス無甲斐。
- ⑬ 上只今ノ將軍ノ御恩ヲ召シテ昔ノ高宗ノ時、三城ヲ
- ⑭ 梁、韓公カ子孫ニタフヘキナリト申シクルナリ。

① 城鹽洲(支集卷三永四五五二) ② カルヲ  
カニニ書政ム。 ③ 「キ」ヲ「ケ」レハニ書政ム。  
子孫ノ強、六國セシ恩澤。(支集同上) ④ 國カ  
ラスカケムス(觀名法下86) ⑤ 下ニ段ヲ終コト事也。

コトトモ見ユ。コトと誤ンデマク。

道州民 道州ト申ス所ノ民ハ皆長年クテ 三尺四

- 4 此段ニハ、唐德宗ト申セシ御門ヲ讚マイラセ、又其六
- 5 時「楊」レ「戎」ト申人彼ノ國ノ守ニ成テ、彼ノ所ニ下
- 6 リテ見ケレハ、彼□□トモ長ケルクテ體セイ少ナクシテ
- 7 三尺許有リケレハ、楊□□共ニ相テ、何ニ此處之人々、
- 8 其長卑ツト問ケレハ、民共レモ答申「コト」様ハ昔
- 9 ヲヨリ此處、學トシテ歳トシニ年貢「コト」人「ヨ」語「ス」ル
- 10 ナラヒニテ候ケレハ、子ヲ生ヌル民ハ子ヲ語セ「子
- 11 ヲ不以「民」ハ買求メナントシテ語セ候ヘハ、子ヲ生
- 12 ヲヨリ終「イ」ニハ「又年貢ニ召サルヘケレハナムト」祖
- 13 モ泣子モ哭候。カ、ル歎「ニ」依テ、其長ノヒスシテ
- 14 三尺四寸ニ不違ナリト申ケレハ、「揚成」思ケル様
- 15 我后、民ヲ撫御坐ス心累シ、我又民ノ「歎」事ナレ
- 16 ハ、實ニ人ノ祖子ロ生、ナカラ却「コト」事、發猿ハ、
- 17 專也ト思テ御門ニ申ケレハ、御門モ殊ニ不便也
- 18 ト思食シテ、彼處ヨリ人ヲ年貢ニ語ラヌル留ヘシト
- 19 宣旨下サレケリ。其ノ時道州、楊成泣喜ケリ。子
- 20 孫コノ末々ニモ、此恩ヲ傳ヘ忘レサセシカ爲ニ男
- 21 生者、ハ各皆楊ト云フ姓ヲ付「タ」リ。楊成カ民ト



- ② 此段ニハ唐ノ代ニ趙壁ト申人ノ絃五作タルヲ、帝殊
- ③ ニハ愛給事ヲ諱リ候也。昔瑟ノ琴ト申テ絃五十候シ
- ④ 琴ヲ「中」比「其絃半」ヲ棄廿五ニ被成候。其後
- ⑤ 趙壁又「絃五候琴」作テ、五絃彈ト申テ候。第一第
- ⑥ ニ絃索「此ハ五絃彈ノ有様ヲ被書」候也。昔、瑟
- ⑦ ノ琴絃五「十」絃モ「中比廿五ニ被成」、今又、廿五ノ
- ⑧ 瑟琴棄テ、偏ニ「五絃彈」ヲ説給事不有。サノミ物
- ⑨ ノ「ヲト六」來候は「むニハ」絃一モ有。トモ出來
- ⑩ ナム、其上ニ、此五絃彈、偏ニ「戎」樂ノ音ニ通
- ⑪ 昔、音ヲ背ケリ。カ、ル事ヲ説給事有マシキ事也

① 趙壁。② 第一・第二絃・索・秋風・拂松・疎韻・落（文集卷三天永四年点35）③「琴」ト「索」ノ間ニ「絃五十」ノ五字アルヲ消ス。④「アルヘカラス」ハ濃墨筆。⑤「ヲト六」ハ濃墨筆。⑥本行「上」不  
明瞭。書入上「ハ濃墨筆。⑦「有マシ」以下六字余  
白ニ小字。今本行ニ入。

414 蠻子朝

南方ノ蠻ヲ南蠻ト申、其南蠻、子共、都  
ニ詣リテ候シヲ蠻子朝トハ申也。  
此段ニハ、唐ノ徳字皇帝ヲ諱リ兼テ其時ノ將軍ヲ  
諱タルナリ。昔ヨリ代々ノ御門、四方「工」工ニス

- 4 隨車極タル「大車トセサセ給事」候。其中ニ、南
- 5 方、蠻、繩、橋ヲ渡皮、舟ヲ浮トシム打隨ハ難
- 6 事ニ候。而ヲ、徳宗御時尋勤ト申ス將軍遣
- 7 ケレハ、蠻ヲ「ハ」不打シテ蠻王、子共「ヲ」レサソ
- 8 伊テ詣タル事ヲ、先ツ此君ノ徳ヲ廣及故也、次ニ我
- 9 昔ニ將サクイ候也ト申ケレハ、御心サモト思シ
- 10 召シテ將「軍」大臣ニ成セ給ケリ。此段ノ意ハ、將
- 11 軍彼蠻ヲ打隨「テ候」トエヒスノ國ソコソタ「事
- 12 ナラメ、大臣ニ不成セ」給。高御坐ス南蠻ノ王
- 13 サソイエス「シ」テ、王子「ヲ」スカ「シ」テ御門ニ
- 14 詣リテ、官ヲ給ラムナムト申テ具テ詣リ候。又正
- 15 玉ヲ具シテ詣リテ候ハ、都マテモ可矢、子共
- 16 スレカシテ詣タル事、指セル勲功深キニ非ス。輒ク
- 17 大臣位ヲ給ヘカラス。而口功無類事也ト申タル
- 18 ヲ惡クシテ候也。

① 本行「將軍」不明瞭。② 文章意カウ「正」は「サ」の誤字ならん。③ 尋問勲。④ 本行首ニ「我」重復。今除。⑤ 「將」詔許ノ誤字カ。ニの文に対応する原典は「誠」由リ陛下ノ休明德、亦頼微臣諫諭功。⑥ 文集卷三天永四年点38とあり、「サクイ」は「サソイ」の誤字ならん。⑦ 意味未詳。

大日本國語辭典「枯蘇麻」解毒呪ヲ引ク。但シ「  
「ケハ」ノトモ見ユ。」「國ソコノタ「事ナラメ」ハ「  
國ヲコソタ「事ナラメ」ノ設字とも考えりれりガ  
「タタ」の意未詳。」「書入レハ濃墨ヲ書。

44 驃國樂 驃國ト申國ヨリ詣リテ候イケル樂ヲ驃國  
樂トハ申也。

樂トハ申也。

⑥ 此段ニハト、徳宗ヲ諒リテ候也。徳宗御時、驃國雍差ト

⑦ 申者、子「三」節難陀ト申者ニ、三十五人ノ樂人ヲ具

⑧ 詣「タリヲ」奏シ「候」ケリ。玉螺一ヒ吹

⑨ テ榘鬚算云ト申ハ、此樂人共ノ有様サマヲ白樂天

⑩ ノ書タルナリ。節難陀此「樂ヲ申ケル様、我父チ驃

⑪ 國「イ」雍差ト申「者」可「然」候也。「唐土ノ臣

下ニ成ラムト望ム也ト申、越候。「サ」レハ時人ニ

45 實ニ可然ノミ、御威ノ遠ヲ可「及」ナムト申ケレハ、

2 君「モ」サモ有ナムト思召シケルヲ、其、春ノ日

3 壤「ツ」ク耕「翁」人ノ「殊」申候「様」人ノ「鉢

4 心「ヲ」キテニ隨物ナレハ、君ハ心「ノ」如シ、民ハ姿

5 ノ如シ、公「ノ」歎、有時ハ民ノ勉「ヘ、君又ミ」給者

「也」、心ニ歎有レハヲト六「ハ、姿」キ「ス」有時ニハ

6 心「モ」哀シフニ似タリ。然、民「心」民ノ歎未止ハ、

7 遠キ國ノ樂「ヲ」ハ「レ」既テ、勇「ハ」極キハメ給ヘカラス。

415 只民ノ歎タニモ無クハ、此樂レ伎キタラストモ君

9 賢王ト云レ給ヘシ。民ノ歎不止「此」樂伎來レリト

モ君「ノ」王ナラシ。亦ノ心ハ國「ノ」民モ貧シク

10 候ハム時ハ、君モ歎キ給ヘキ事也。而ヲ、遠キ「樂

11 舞ヲ」ホシイマシテ既ヒ、勇「極」驕給事「不」宜

12 申也。白「樂」天王、徒ニ此樂ヲ聞カムヨリハ、只此

13 翁ノ事ヲキ「侍」レハシトカ、レタル也。」「

① 驃國樂。へ文集卷三「天永四年」点二。② 雍差。

文集卷三「天永四年」点では「雍差之子」(39)とあり。

③ 節難陀。④ 玉螺。一吹マ榘鬚算。へ文集同

上39。⑤ 「ヲ」レ「カ」重ナツテ見エ「又」ノ「右」角ニ「カ」

出ズ。イマ、「又」ヲ採ル。但シ、「君又ミ給者也」ノ文

意明ナラズ。⑥ 「ク」ハ「タ」カ。⑦ 「ナ」ラ「マ」シ「ノ」

消ス。⑧ 原又ハ「タ」レ。「ス」トモ見エ。文集天永四

年点には「驃樂」不來、君「ノ」只聖「ヲ」レ「ミ」カ

ミ。⑨ 實、「直」カ。

45 傳戎人 胡國、エヒスヲ捕トラヘテ、殊方「ノ」國、

遠「ク」ハ流ル、ヲ傳戎人ト申也。」「

② 此段ニハ、人ノ歎ハマレナル事ヲ申タル也。唐第九

③ 代來トシ申ケル御門ノ御時、胡國ヲ爲ニ打隨「蓬

415 ④ 子將軍子李<sup>①</sup>如邊<sup>②</sup>ト申<sup>③</sup>邊<sup>④</sup>軍<sup>⑤</sup>ヲ買<sup>⑥</sup>ケテ胡國ニ被<sup>⑦</sup>テ

⑤ 取<sup>⑧</sup>リ四十年計<sup>⑨</sup>有<sup>⑩</sup>ケル程ニ、妻ナントヲ具シテケ

⑥ レハ、子共アマタ出ニケリ。皮<sup>⑪</sup>ノ衣、又皮<sup>⑫</sup>ノ帶ヲ

⑦ キセラレテ、但正月、一日計リ唐冠<sup>⑬</sup>リ<sup>⑭</sup>鳥<sup>⑮</sup>ヲムト

許<sup>⑯</sup>シテサセケレハ、夕<sup>⑰</sup>ハタカニ都<sup>⑱</sup>ノ裝束ヲユルサ

⑧ レテ服<sup>⑲</sup>キ有<sup>⑳</sup>ケルニ、殊<sup>㉑</sup>ニ昔<sup>㉒</sup>、車<sup>㉓</sup>、思<sup>㉔</sup>出<sup>㉕</sup>テ、舊<sup>㉖</sup>里

⑨ ハ迷<sup>㉗</sup>ナムト<sup>㉘</sup>思<sup>㉙</sup>ハ心付<sup>㉚</sup>ニケリ。胡<sup>㉛</sup>國<sup>㉜</sup>、妻<sup>㉝</sup>子<sup>㉞</sup>共<sup>㉟</sup>ニモ

⑩ 不知<sup>㊱</sup>、唐<sup>㊲</sup>、方<sup>㊳</sup>タヘ迷<sup>㊴</sup>ニケ<sup>㊵</sup>レニケリ。驚<sup>㊶</sup>テ藏<sup>㊷</sup>ハ毒<sup>㊸</sup>塚<sup>㊹</sup>ニ

⑪ 寒<sup>㊺</sup>草<sup>㊻</sup>疎<sup>㊼</sup>ナリ、偷<sup>㊽</sup>、瘦<sup>㊾</sup>トハ黃<sup>㊿</sup>河<sup>㊿</sup>ニ夜<sup>㊿</sup>、氷<sup>㊿</sup>リ薄<sup>㊿</sup>ト申<sup>㊿</sup>スハ、

⑫ 此<sup>㊿</sup>李<sup>㊿</sup>如<sup>㊿</sup>邊<sup>㊿</sup>カ<sup>㊿</sup>書<sup>㊿</sup>ハ<sup>㊿</sup>藏<sup>㊿</sup>レ<sup>㊿</sup>夜<sup>㊿</sup>ハ<sup>㊿</sup>語<sup>㊿</sup>「<sup>㊿</sup>忌<sup>㊿</sup>キ<sup>㊿</sup>」ケル事<sup>㊿</sup>ヲ<sup>㊿</sup>被<sup>㊿</sup>ヒテ

416 上<sup>㊿</sup>書<sup>㊿</sup>候<sup>㊿</sup>也<sup>㊿</sup>。カ<sup>㊿</sup>ル<sup>㊿</sup>程<sup>㊿</sup>ニ、德<sup>㊿</sup>宗<sup>㊿</sup>御<sup>㊿</sup>時<sup>㊿</sup>ニ<sup>㊿</sup>成<sup>㊿</sup>ケリ。其<sup>㊿</sup>時<sup>㊿</sup>、

將軍<sup>㊿</sup>胡<sup>㊿</sup>國<sup>㊿</sup>ヲ<sup>㊿</sup>徵<sup>㊿</sup>セ<sup>㊿</sup>メ<sup>㊿</sup>ニ「<sup>㊿</sup>入<sup>㊿</sup>」ケレハ、我<sup>㊿</sup>方<sup>㊿</sup>、風<sup>㊿</sup>ナレハ

2 トテ<sup>㊿</sup>走<sup>㊿</sup>出<sup>㊿</sup>テ<sup>㊿</sup>悅<sup>㊿</sup>向<sup>㊿</sup>ケル「<sup>㊿</sup>音<sup>㊿</sup>」ハ<sup>㊿</sup>氣<sup>㊿</sup>色<sup>㊿</sup>モ<sup>㊿</sup>エ<sup>㊿</sup>ヒ<sup>㊿</sup>ス<sup>㊿</sup>ニ<sup>㊿</sup>成<sup>㊿</sup>ハ

3 テ<sup>㊿</sup>ニ<sup>㊿</sup>ケレハ、狄<sup>㊿</sup>、出<sup>㊿</sup>來<sup>㊿</sup>タリト<sup>㊿</sup>申<sup>㊿</sup>テ<sup>㊿</sup>打<sup>㊿</sup>縛<sup>㊿</sup>。唐<sup>㊿</sup>ノ<sup>㊿</sup>將

4 軍<sup>㊿</sup>タリシカト<sup>㊿</sup>モ<sup>㊿</sup>胡<sup>㊿</sup>ノ<sup>㊿</sup>國<sup>㊿</sup>ニ<sup>㊿</sup>被<sup>㊿</sup>取<sup>㊿</sup>カ<sup>㊿</sup>ク<sup>㊿</sup>成<sup>㊿</sup>レル也<sup>㊿</sup>ト<sup>㊿</sup>申<sup>㊿</sup>ス

5 ナリケレトモ、音<sup>㊿</sup>ヘ<sup>㊿</sup>モ<sup>㊿</sup>不<sup>㊿</sup>違<sup>㊿</sup>狄<sup>㊿</sup>ト<sup>㊿</sup>成<sup>㊿</sup>ニ<sup>㊿</sup>ケレハ、<sup>㊿</sup>更<sup>㊿</sup>ニ

聞<sup>㊿</sup>不<sup>㊿</sup>入<sup>㊿</sup>レ、狄<sup>㊿</sup>ヲ<sup>㊿</sup>捕<sup>㊿</sup>ヘ<sup>㊿</sup>テ<sup>㊿</sup>都<sup>㊿</sup>ハ<sup>㊿</sup>詣<sup>㊿</sup>ラ<sup>㊿</sup>ス<sup>㊿</sup>ル<sup>㊿</sup>中<sup>㊿</sup>カ<sup>㊿</sup>ニ<sup>㊿</sup>加<sup>㊿</sup>ヘ<sup>㊿</sup>テ

6 逆<sup>㊿</sup>テ<sup>㊿</sup>有<sup>㊿</sup>ケレハ、南<sup>㊿</sup>、原<sup>㊿</sup>ハ<sup>㊿</sup>流<sup>㊿</sup>レ<sup>㊿</sup>ヌ。殊<sup>㊿</sup>ト<sup>㊿</sup>狄<sup>㊿</sup>ス<sup>㊿</sup>共<sup>㊿</sup>ハ<sup>㊿</sup>胡

7 ノ<sup>㊿</sup>國<sup>㊿</sup>計<sup>㊿</sup>ヲ<sup>㊿</sup>ソ<sup>㊿</sup>戀<sup>㊿</sup>シ<sup>㊿</sup>ケル。此<sup>㊿</sup>李<sup>㊿</sup>如<sup>㊿</sup>邊<sup>㊿</sup>ハ<sup>㊿</sup>胡<sup>㊿</sup>國<sup>㊿</sup>、妻<sup>㊿</sup>子<sup>㊿</sup>ニ<sup>㊿</sup>モ

8 別<sup>㊿</sup>カレ、唐<sup>㊿</sup>コ<sup>㊿</sup>シ<sup>㊿</sup>ノ<sup>㊿</sup>舊<sup>㊿</sup>里<sup>㊿</sup>ヘ<sup>㊿</sup>モ<sup>㊿</sup>不<sup>㊿</sup>還<sup>㊿</sup>レ<sup>㊿</sup>ル<sup>㊿</sup>兩<sup>㊿</sup>夕<sup>㊿</sup>處<sup>㊿</sup>ヲ<sup>㊿</sup>戀<sup>㊿</sup>ル<sup>㊿</sup>心

9 殊<sup>㊿</sup>ト<sup>㊿</sup>殊<sup>㊿</sup>ノ<sup>㊿</sup>哀<sup>㊿</sup>ヒ<sup>㊿</sup>モ<sup>㊿</sup>過<sup>㊿</sup>タリ<sup>㊿</sup>ケリ。自<sup>㊿</sup>樂<sup>㊿</sup>天<sup>㊿</sup>ノ<sup>㊿</sup>乃<sup>㊿</sup>ノ<sup>㊿</sup>事<sup>㊿</sup>ヲ<sup>㊿</sup>注<sup>㊿</sup>シ

ケル中<sup>㊿</sup>ニ、ハ<sup>㊿</sup>情<sup>㊿</sup>無<sup>㊿</sup>類<sup>㊿</sup>ヒ<sup>㊿</sup>タ<sup>㊿</sup>メ<sup>㊿</sup>シ、此<sup>㊿</sup>ヲ<sup>㊿</sup>カ<sup>㊿</sup>キ<sup>㊿</sup>タル<sup>㊿</sup>也<sup>㊿</sup>。

416 新樂府注卷上

① 李如邊(ハ文策卷三天永四年点43) ② 「申」ノ次

腹<sup>㊿</sup>文<sup>㊿</sup>アル<sup>㊿</sup>カ。蓬<sup>㊿</sup>子<sup>㊿</sup>將<sup>㊿</sup>軍<sup>㊿</sup>ノ<sup>㊿</sup>子<sup>㊿</sup>ハ<sup>㊿</sup>「<sup>㊿</sup>李<sup>㊿</sup>如<sup>㊿</sup>邊<sup>㊿</sup>」。

③ 原<sup>㊿</sup>文<sup>㊿</sup>ハ<sup>㊿</sup>「<sup>㊿</sup>駕<sup>㊿</sup>」。名<sup>㊿</sup>義<sup>㊿</sup>物<sup>㊿</sup>「<sup>㊿</sup>鞵<sup>㊿</sup>」アリ。コ<sup>㊿</sup>ノ<sup>㊿</sup>旁<sup>㊿</sup>ナ<sup>㊿</sup>ラン。

④ 龍<sup>㊿</sup>智<sup>㊿</sup>度<sup>㊿</sup>本<sup>㊿</sup>名<sup>㊿</sup>義<sup>㊿</sup>抄<sup>㊿</sup>ハ<sup>㊿</sup>「<sup>㊿</sup>寫<sup>㊿</sup>」ク<sup>㊿</sup>「<sup>㊿</sup>僧<sup>㊿</sup>下<sup>㊿</sup>」アリ。

⑤ 書<sup>㊿</sup>ハ<sup>㊿</sup>「<sup>㊿</sup>細<sup>㊿</sup>漢<sup>㊿</sup>筆<sup>㊿</sup>」濃<sup>㊿</sup>墨<sup>㊿</sup>。⑥ 「テ」ハ<sup>㊿</sup>接<sup>㊿</sup>続<sup>㊿</sup>不<sup>㊿</sup>充

分、或<sup>㊿</sup>ハ<sup>㊿</sup>「<sup>㊿</sup>ル」ニ<sup>㊿</sup>改<sup>㊿</sup>メ<sup>㊿</sup>夕<sup>㊿</sup>後<sup>㊿</sup>ノ<sup>㊿</sup>消<sup>㊿</sup>殘<sup>㊿</sup>カ<sup>㊿</sup>。⑦ 驚<sup>㊿</sup>藏<sup>㊿</sup>

青<sup>㊿</sup>家<sup>㊿</sup>寒<sup>㊿</sup>草<sup>㊿</sup>疎<sup>㊿</sup>、偷<sup>㊿</sup>、瘦<sup>㊿</sup>トハ<sup>㊿</sup>黃<sup>㊿</sup>河<sup>㊿</sup>ニ<sup>㊿</sup>夜<sup>㊿</sup>、氷<sup>㊿</sup>リ<sup>㊿</sup>薄<sup>㊿</sup>ト<sup>㊿</sup>申<sup>㊿</sup>スハ、

天<sup>㊿</sup>永<sup>㊿</sup>四<sup>㊿</sup>年<sup>㊿</sup>点<sup>㊿</sup>43) ⑧ 原<sup>㊿</sup>文<sup>㊿</sup>「<sup>㊿</sup>書<sup>㊿</sup>」ト<sup>㊿</sup>アリ、「<sup>㊿</sup>レ」ト<sup>㊿</sup>「<sup>㊿</sup>」

ニ<sup>㊿</sup>ミ<sup>㊿</sup>セ<sup>㊿</sup>ケ<sup>㊿</sup>テ<sup>㊿</sup>付<sup>㊿</sup>ス。イ<sup>㊿</sup>マ、「<sup>㊿</sup>レ」本<sup>㊿</sup>行<sup>㊿</sup>ニ<sup>㊿</sup>移<sup>㊿</sup>ス。⑨

「<sup>㊿</sup>被<sup>㊿</sup>」次<sup>㊿</sup>「<sup>㊿</sup>家<sup>㊿</sup>」ノ<sup>㊿</sup>一<sup>㊿</sup>字<sup>㊿</sup>ヲ<sup>㊿</sup>消<sup>㊿</sup>ス。「<sup>㊿</sup>夜<sup>㊿</sup>」ハ<sup>㊿</sup>「<sup>㊿</sup>取<sup>㊿</sup>」ニ<sup>㊿</sup>字<sup>㊿</sup>ノ

混<sup>㊿</sup>用<sup>㊿</sup>ノ<sup>㊿</sup>誤<sup>㊿</sup>ハ<sup>㊿</sup>他<sup>㊿</sup>所<sup>㊿</sup>ニ<sup>㊿</sup>モ<sup>㊿</sup>アリ。⑩ 「<sup>㊿</sup>ケ」ハ<sup>㊿</sup>「<sup>㊿</sup>ケ」ニ<sup>㊿</sup>書<sup>㊿</sup>

改<sup>㊿</sup>ム。⑪ 文<sup>㊿</sup>意<sup>㊿</sup>ハ<sup>㊿</sup>「<sup>㊿</sup>殊<sup>㊿</sup>ト<sup>㊿</sup>狄<sup>㊿</sup>」ノ<sup>㊿</sup>誤<sup>㊿</sup>写<sup>㊿</sup>ト<sup>㊿</sup>考<sup>㊿</sup>之<sup>㊿</sup>ウ<sup>㊿</sup>ル

ル。

416 新樂府注下

① 驪<sup>㊿</sup>宮<sup>㊿</sup>高<sup>㊿</sup> 驪<sup>㊿</sup>宮<sup>㊿</sup>山<sup>㊿</sup> 申<sup>㊿</sup>ス<sup>㊿</sup>山<sup>㊿</sup>ニ<sup>㊿</sup>宮<sup>㊿</sup>ヲ<sup>㊿</sup>作<sup>㊿</sup>候<sup>㊿</sup>、其<sup>㊿</sup>山<sup>㊿</sup>勝<sup>㊿</sup>カ<sup>㊿</sup>故

ニ<sup>㊿</sup>驪<sup>㊿</sup>宮<sup>㊿</sup>高<sup>㊿</sup>ト<sup>㊿</sup>ハ<sup>㊿</sup>申<sup>㊿</sup>セ<sup>㊿</sup>也<sup>㊿</sup>。美<sup>㊿</sup>天<sup>㊿</sup>子<sup>㊿</sup>重<sup>㊿</sup>惜<sup>㊿</sup>人<sup>㊿</sup>ニ<sup>㊿</sup>財<sup>㊿</sup>力<sup>㊿</sup>也<sup>㊿</sup>

② 此<sup>㊿</sup>段<sup>㊿</sup>ニ<sup>㊿</sup>ハ、唐<sup>㊿</sup>憲<sup>㊿</sup>宗<sup>㊿</sup>ト<sup>㊿</sup>申<sup>㊿</sup>ス<sup>㊿</sup>ヲ、美<sup>㊿</sup>テ<sup>㊿</sup>候<sup>㊿</sup>也<sup>㊿</sup>。此<sup>㊿</sup>王<sup>㊿</sup>ハ<sup>㊿</sup>白<sup>㊿</sup>居

③ 易<sup>㊿</sup>、<sup>㊿</sup>樂<sup>㊿</sup>府<sup>㊿</sup> 被<sup>㊿</sup>作<sup>㊿</sup>ラ<sup>㊿</sup>候<sup>㊿</sup>ケル<sup>㊿</sup>時<sup>㊿</sup>ノ<sup>㊿</sup>御<sup>㊿</sup>門<sup>㊿</sup>ナリ。透<sup>㊿</sup>々<sup>㊿</sup>ニ<sup>㊿</sup>被<sup>㊿</sup>

④ 驪<sup>㊿</sup>宮<sup>㊿</sup> 有<sup>㊿</sup>レ<sup>㊿</sup>様<sup>㊿</sup>サ<sup>㊿</sup>マ<sup>㊿</sup>ヲ<sup>㊿</sup>被<sup>㊿</sup>書<sup>㊿</sup>タ<sup>㊿</sup>リ。山<sup>㊿</sup>深<sup>㊿</sup>ク<sup>㊿</sup>風<sup>㊿</sup>冷<sup>㊿</sup>カ<sup>㊿</sup>リ<sup>㊿</sup>ケ

⑦レハハ代マ、御門毎<sup>レ</sup>夏<sup>二</sup>彼、驪宮高ニ御座シテ  
 ⑧住給ケレハ、此憲宗皇帝<sup>レ</sup>思シ食ス様、費ヲ思<sup>レ</sup>打住<sup>タ</sup>  
 ⑨ル一人出給事不容易、六<sup>レ</sup>宮從<sup>テ</sup>分<sup>テ</sup>百司備<sup>レ</sup>リ  
 ⑩八十二車千石騎アリ、百<sup>レ</sup>千人カ賤ヲ盡セトモ我一  
 ⑪日、シユキヲ儘スヘカラス、我獨リ暫<sup>ク</sup>令シカラ  
 ム爲ニ、多<sup>ク</sup>人ノ末<sup>ク</sup>世<sup>テ</sup>貯<sup>ル</sup>盡<sup>ス</sup>事<sup>無</sup>要<sup>ト</sup>事<sup>無</sup>  
 ⑫ト思<sup>レ</sup>シ食シテ、位ニ付テ五十年<sup>ニ</sup>テニ御坐マシ  
 471ケリ。此段ノ意<sup>ハ</sup>、人ノ費ヲ知リ國ノ煩ヒヲ痛<sup>メ</sup>  
 給タル事ヲ讚<sup>テ</sup>候也。レ

①美天子<sup>ホタリ</sup>重惜<sup>ヨモシラシ</sup>ミタマ<sup>ニ</sup>事<sup>ヲ</sup>レト<sup>ク</sup>人<sup>ノ</sup>之<sup>レ</sup>賤<sup>カ</sup>力<sup>也</sup>也<sup>ハ</sup>大<sup>ニ</sup>東<sup>ニ</sup>是<sup>レ</sup>記<sup>念</sup>  
 文章蔵<sup>ニ</sup>文集<sup>ノ</sup>卷<sup>ノ</sup>四<sup>ノ</sup>嘉<sup>ノ</sup>禎<sup>ノ</sup>四年<sup>ノ</sup>点<sup>ノ</sup>②「彼<sup>ノ</sup>ノ<sup>ノ</sup>草<sup>ノ</sup>書<sup>ノ</sup>体<sup>ノ</sup>ハ  
 トモ異<sup>ナル</sup>ナル。肉<sup>ノ</sup>太<sup>ノ</sup>部<sup>分</sup>ヲ加<sup>テ</sup>筆<sup>シテ</sup>「カ<sup>ニ</sup>改<sup>メ</sup>タ  
 ルカ。③高<sup>ク</sup>タル驪<sup>ノ</sup>山<sup>ノ</sup>上<sup>ニ</sup>有<sup>リ</sup>宮<sup>ノ</sup>朱<sup>ノ</sup>樓<sup>ノ</sup>紫<sup>ノ</sup>殿<sup>ノ</sup>三<sup>ノ</sup>四<sup>ノ</sup>重<sup>ノ</sup>遲<sup>ク</sup>  
 々<sup>ト</sup>今<sup>ハ</sup>文集<sup>ノ</sup>卷<sup>ノ</sup>四<sup>ノ</sup>嘉<sup>ノ</sup>禎<sup>ノ</sup>四年<sup>ノ</sup>点<sup>ノ</sup>④「一人<sup>ノ</sup>ノ<sup>ノ</sup>千<sup>ノ</sup>石<sup>ノ</sup>騎<sup>アリ</sup>  
 ハ原典<sup>ノ</sup>ノ文章<sup>ニ</sup>近<sup>イ</sup>。次<sup>下</sup>ノ如<sup>シ</sup>。一人<sup>ノ</sup>出<sup>ル</sup>令<sup>ス</sup>  
 不容易<sup>ト</sup>六<sup>ノ</sup>宮<sup>ノ</sup>從<sup>テ</sup>分<sup>テ</sup>百<sup>ノ</sup>司<sup>ノ</sup>備<sup>ル</sup>八<sup>ノ</sup>十<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>車<sup>ノ</sup>千<sup>ノ</sup>石<sup>ノ</sup>騎<sup>アリ</sup>  
 文集<sup>ノ</sup>卷<sup>ノ</sup>四<sup>ノ</sup>天<sup>ノ</sup>永<sup>ノ</sup>四年<sup>ノ</sup>点<sup>ノ</sup>①⑤「原<sup>ノ</sup>文<sup>ハ</sup>「彼<sup>ノ</sup>」

472 百練鏡 百<sup>度</sup>ト<sup>ハ</sup>ミカ<sup>ノ</sup>タル鏡<sup>ナ</sup>る故<sup>ニ</sup>百<sup>練</sup>鏡<sup>ト</sup>  
 ③ 此段ニハ、唐<sup>ノ</sup>徳<sup>ノ</sup>宗<sup>ノ</sup>皇<sup>ノ</sup>帝<sup>ヲ</sup>ホメタルナリ。徳<sup>ノ</sup>宗<sup>ノ</sup>御<sup>ノ</sup>

474「時<sup>ニ</sup>」楊<sup>ノ</sup>洲<sup>ト</sup>申<sup>所</sup>ヨリ百<sup>練</sup>鏡<sup>ヲ</sup>進<sup>セ</sup>タリケリ、御  
 5門<sup>ノ</sup>思<sup>召</sup>様<sup>レ</sup>我<sup>レ</sup>ハ人<sup>ヲ</sup>コソ鏡<sup>ト</sup>スレ、銅<sup>ヲ</sup>鏡<sup>ト</sup>  
 6ハスヘカ<sup>ニ</sup>ス、銅<sup>ノ</sup>鏡<sup>ハ</sup>僅<sup>ニ</sup>形<sup>ト</sup>計<sup>ヲ</sup>見<sup>者</sup>也<sup>ト</sup>、我  
 7形<sup>ヲ</sup>ハツク<sup>テ</sup>ヨシナシ、以<sup>テ</sup>人<sup>ノ</sup>鏡<sup>ト</sup>スル<sup>ハ</sup>、  
 古<sup>ク</sup>カ<sup>ニ</sup>ミ、今<sup>ヲ</sup>カ<sup>ニ</sup>ミテ政<sup>ヲ</sup>治<sup>ケル</sup>事<sup>也</sup>。サレ  
 8ハ大<sup>ニ</sup>京<sup>ノ</sup>皇<sup>ノ</sup>帝<sup>ハ</sup>、魏<sup>ノ</sup>徵<sup>ト</sup>申<sup>人</sup>鏡<sup>ト</sup>セサセ給<sup>ヘリ</sup>。四  
 9海<sup>ニ</sup>魏<sup>ノ</sup>徵<sup>レ</sup>ト申<sup>ス</sup>人<sup>ノ</sup>國<sup>ノ</sup>政<sup>ヲ</sup>ラセシ時<sup>ハ</sup>、四<sup>方</sup>ノエ  
 10ヒスノ國<sup>ノ</sup>外<sup>マ</sup>テニ治<sup>レ</sup>サメテ世<sup>ヲ</sup>ヲハ百<sup>代</sup>ノ御<sup>門</sup>  
 11ノ御<sup>時</sup>ヲ知<sup>リ</sup>給<sup>シ</sup>事<sup>ヲ</sup>被<sup>書</sup>レ給<sup>也</sup>。此<sup>段</sup>ニハ、五  
 12金<sup>ノ</sup>ナントノ賤<sup>ヨリ</sup>ハ賢<sup>人</sup>ヲ以<sup>テ</sup>賤<sup>ト</sup>セラレタル事<sup>ヲ</sup>  
 ヲ讚<sup>タル</sup>ナリ。

①百練鏡 (文集<sup>ノ</sup>卷<sup>ノ</sup>四<sup>ノ</sup>天<sup>ノ</sup>永<sup>ノ</sup>四年<sup>ノ</sup>点<sup>ノ</sup>) ②「原<sup>ノ</sup>文<sup>ハ</sup>「屋<sup>ノ</sup>  
 「屋<sup>ノ</sup>ハ「皇<sup>ノ</sup>」。③「脱<sup>ノ</sup>字<sup>カ</sup>。④四海<sup>ノ</sup>安<sup>ノ</sup>危<sup>ノ</sup>照<sup>ノ</sup>掌<sup>ノ</sup>内<sup>ニ</sup>  
 百<sup>ノ</sup>王<sup>ノ</sup>理<sup>ノ</sup>亂<sup>ハ</sup>懸<sup>ノ</sup>心<sup>ノ</sup>中<sup>ニ</sup>」(文集<sup>ノ</sup>卷<sup>ノ</sup>四<sup>ノ</sup>天<sup>ノ</sup>永<sup>ノ</sup>四年<sup>ノ</sup>点<sup>ノ</sup>)  
 471 青石 ア<sup>ヲ</sup>キ石<sup>ヲ</sup>青<sup>石</sup>トハ申<sup>也</sup>。各<sup>君</sup>ニ仕<sup>事</sup>驕<sup>リ</sup>  
 不可<sup>有</sup>事<sup>ヲ</sup>申<sup>タル</sup>ナリ。レ

② 此段ニハ、唐<sup>ノ</sup>徳<sup>ノ</sup>宗<sup>ノ</sup>御<sup>ノ</sup>時<sup>、</sup>藍<sup>田</sup>ト申<sup>山</sup>ヨリ青<sup>石</sup>  
 ③ 力<sup>ヲ</sup>車<sup>ニ</sup>レ衆<sup>セ</sup>ナントシテ、碑<sup>文</sup>ト申<sup>者</sup>ヲエリテ、  
 ④ 大<sup>廟</sup>カミノ邊<sup>リ</sup>ニ立<sup>テ</sup>神<sup>ノ</sup>徳<sup>ヲ</sup>讚<sup>メ</sup>、公  
 ⑤ 家<sup>ニ</sup>立<sup>テ</sup>御<sup>門</sup>徳<sup>ノ</sup>ナ<sup>ク</sup>ト刻<sup>レ</sup>テ神<sup>ノ</sup>御<sup>事</sup>



417 御門ミカドノ御事ミコトノミコトヲ。ニソカニ申難ミコトヲシテ、事コトハ、自ミコトト力チカラヲハ、不詮アハラス、偏ヒナシニ無ナシ、事コトヲノミエリテ讚ツメムル事コトニ、  
 ⑦ 有アリ、ケレハ、空カラキ言コト、刻シメ、ヨリハ、只君ミコニ貳心ニココロナク  
 ⑧ 仕シ、進マシセテ、忠チカニ節預セラム者モノ、墓ツカ、傍ワタリニ、文フミニ  
 ⑨ 付ツキケ、武ブニ付ツキテ、奉公ホウコウ、深コソフカキ、人ヒトナムトヲ可刻コトシス  
 ⑩ ソラコトエリテ無ナシ、由ユト申也トモトモ。此段ノ意イハ、各ノ  
 公ニ仕シラム意イヲハケマサムトマウシタルナリ。

① 原文は「廟」。廟ミヤ、並ナリ正マサカ（親名法下103）  
 ニハカレ「コト」ハ、離ワカレレテ、「六（六）」ト談ワザミ難シ。書  
 入ハ本行ト一筆、但シ「コ」ノ上ニ有アルスル「コ」ヲ生カシ  
 「コ」ヲ「ロ」トスレバ、「ラロソカ」トモ解シ得ル。  
 ② 「貳」ヲ「タ」コトシ（親名僧下104）  
 ③ 全モト「コ」ニセ  
 ノ上、考カウニテ「フカキ」ト改ム。

417 ⑩ 兩朱閣 兩ツシヤノ相並チカテ有アル、兩朱閣ト申ナリ。

⑫ 此段ニハ、徳宗皇帝ヲ諺タルナリ、徳宗御子兩ナカラ  
 418 1 仙人セウジント成ナリ、雲クモニ乘ノリリ天アメニ登ノボリ給ケリ。宮ニツ  
 2 ナカラ寺テ、成ナリテ、佛ブツレヲ居イラセ、事コトヲ諺タルナリテ有アルナリ。  
 3 諺タルナリレル心ココロハ、寺テヲ作シテ、杣木取シノキレテ、造ツクリ口クチ口クチ  
 意イヲ清キヨク身ミヲ慎シム事コトナリ、舊キウ人ヒトノ棲スル寺テ、セム

418 4 「ハ」万々可有憚オモシ。又寺ト申ス事モ可成イ。其上ニ  
 5 都ミヤコハ、人ト多ク地ハ少シテ、家々ヲ作り、斜カサナメニ  
 6 空カラハ、所トコロナシ。而ルニ、サノミ無主ムシ、家ヲ寺ト成サシハ、  
 7 都ミヤコニ人何ナニカ住スタルナリ。

① 「造」トシ「ミ」ニ消シ「リ」口口口口ヲ加ウ。「造」ノ前  
 「口」アルカ。② 「モ」ヲ「ヲ」ニ改ム。

418 ⑧ 西涼伎 師子之舞、西涼ト申ス國ヨリ出テ有アルカ  
 故ニ師子ノ舞ヲ西涼伎ト申ナリ。

9 此段ノ意ハ、徳宗皇帝、時、將軍ヲ諺リテ有アルナリ。  
 10 唐玄テウゲンノ宗皇帝、時、西方ノ戎ス唐ノ境ニ入初ハジメ。  
 11 常ニ國ヲ破リ、徳トクノ宗、時ニ成ナリテ、西方ノ境西  
 12 涼ト申ス國ニ將軍ヲ置オキセテ有アルナリ。其將軍猶ナラ戎ニ  
 13 被オコレヌ。追オソテ、都ミヤコニ迷マヨリテ有アルナリ。其時トキ、西  
 涼ノ國ヨリ師子ノ舞、詣キテ有アルケルヲ、「此」  
 418 ④ 將軍殊コトニ愛ケリ。其、諺リテ候也。申心ハ將軍西  
 ⑤ 涼ノ國、「國」カロ口口口口ニ戎ニ落サレヌレハ、彼、西  
 ⑥ 涼ヨリ來タル師子ノ舞ハ「ハ」ニ「ハ」、彌心ミヤココロ「ソ」辱ハハ  
 ⑦ 給タマハキヨ、人ニ勝レテ此舞ヲ觀ヒテ、咲ウレシミヲ開ヒキ  
 ⑧ 興ウレシレヨ増マシテ、事コト無ナシ甲斐カヒニ事ナリ。君、愁ウレシハ給タマ時ハ臣  
 ⑨ 又可イ想オモフ。西方セウホウヲ打取ウチル、事コト千里、其ノ間ノ民

⑥ 戎ニシエタケラレテ哀フ事ト無<sup>レ</sup>限<sup>リ</sup>。又團ヲ  
 ⑦ 被<sup>レ</sup>破<sup>テ</sup>御門トモ靜ナル心モナキ折<sup>リ</sup>シモ、此將<sup>レ</sup>軍  
 十萬騎ノ軍引<sup>テ</sup>西涼ヨリ逐<sup>テ</sup>、都ノ西ニ鳳翔ト申  
 ⑧ ス所<sup>レ</sup>集<sup>リ</sup>居<sup>テ</sup>、彼ノ師子カ舞ヲ翫<sup>テ</sup>終<sup>ニ</sup>遊<sup>ヒ</sup>、  
 ⑨ 通<sup>テ</sup>夜<sup>ヲ</sup>歌<sup>ヲ</sup>ウ<sup>レ</sup>タヒナントシテ思處<sup>モ</sup>無<sup>キニ</sup>似<sup>タル</sup>  
 ⑩ 事ト、恥<sup>ヲ</sup>不知<sup>故</sup>也ト<sup>レ</sup>謗<sup>タル</sup>ナリ。

① 西涼<sup>ハ</sup>夜<sup>ハ</sup>（文庫卷三、天永四年点三） ② モト「置セ  
 テケル」トアリ。濃墨筆ニテ「置セテ有<sup>ナリ</sup>」ト改メ。  
 ③ 「其<sup>コト</sup>」ヲ消ス。全<sup>ク</sup>都<sup>ト</sup>逐<sup>レ</sup>ノ間<sup>一</sup>字<sup>アル</sup>  
 フ消ス。

418 ① 八駿圖

周穆王ト申ケル御門、八足ヲ乘給<sup>ケ</sup>リ。  
 後人、其馬ノ躰<sup>ヲ</sup>畫<sup>ニ</sup>書<sup>留</sup>ケルヲ、八  
 駿圖ト申タル也。

419 1 此段ニハ、事ノ外カニ、奇<sup>カ</sup>ヤ<sup>ク</sup>者<sup>ヲ</sup>ハ説<sup>給</sup>ヘカラ  
 2 サル事<sup>ヲ</sup>申タル也。昔、周穆王<sup>ト</sup>申<sup>ス</sup>御門、空<sup>ヲ</sup>  
 3 飛<sup>フ</sup>馬<sup>ハ</sup>八足<sup>ヲ</sup>調<sup>ソ</sup>ロエ<sup>テ</sup>、車<sup>ヲ</sup>懸<sup>テ</sup>、盜<sup>姫</sup>申<sup>ス</sup>  
 4 妃<sup>キ</sup>、西王母ト申ケル仙女ナムト<sup>ニ</sup>乘<sup>リ</sup>ツ<sup>レ</sup>テ、  
 5 ソラヲトヒカケリ<sup>ハ</sup>、都<sup>ニ</sup>返<sup>リ</sup>給<sup>事</sup>有<sup>ケ</sup>リ。  
 6 サリケレト<sup>モ</sup>、大臣公卿<sup>モ</sup>更<sup>ニ</sup>詣<sup>ル</sup>事<sup>モ</sup>非<sup>サ</sup>リケ  
 7 レハ、禁<sup>中</sup>悉<sup>ク</sup>（<sup>悉</sup>）七<sup>ノ</sup>廟<sup>ノ</sup>祭<sup>ナム</sup>ト申<sup>事</sup>モ

417 「惹」テ

年積モリケレハ、社<sup>ノ</sup>頭<sup>併</sup>ラサヒハテニケリ。  
 8 國<sup>ノ</sup>理<sup>ハ</sup>知<sup>ラ</sup>セ給<sup>ハ</sup>サリケレハ、民<sup>ノ</sup>歎<sup>モ</sup>聞<sup>ク</sup>  
 9 人無<sup>カ</sup>リケリ。カ<sup>レ</sup>ル程<sup>ニ</sup>、國<sup>ニ</sup>モ滅<sup>ヒ</sup>御門<sup>モ</sup>失<sup>給</sup>  
 10 房<sup>ノ</sup>星<sup>ト</sup>申<sup>ス</sup>星<sup>シ</sup>、爲<sup>ニ</sup>失<sup>テ</sup>公<sup>カ</sup>カ  
 11 承<sup>ケ</sup>ル。賢<sup>王</sup>時<sup>ニ</sup>ハ、五星<sup>ト</sup>申<sup>ス</sup>吉<sup>星</sup>  
 12 臣<sup>下</sup>ナリテ政<sup>ヲ</sup>助<sup>ケ</sup>進<sup>セ</sup>、倭<sup>ノ</sup>時<sup>ニ</sup>ハ、カ<sup>レ</sup>ル  
 13 惡<sup>キ</sup>星<sup>様</sup>ニ變<sup>テ</sup>國<sup>ヲ</sup>滅<sup>ホシ</sup>候<sup>。</sup>サレハ漢<sup>ノ</sup>文  
 14 帝<sup>ト</sup>申<sup>ス</sup>御門<sup>ノ</sup>時<sup>、</sup>或<sup>ル</sup>人<sup>一</sup>日<sup>ニ</sup>千里<sup>ヲ</sup>行<sup>ク</sup>馬<sup>ヲ</sup>進<sup>セ</sup>  
 15 ケレハ、仰<sup>有</sup>様<sup>、</sup>我<sup>レ</sup>御行<sup>アル</sup>時<sup>ニ</sup>ハ千<sup>官</sup>万<sup>衆</sup>  
 16 悉<sup>ク</sup>隨<sup>事</sup>也、我<sup>ノ</sup>千里<sup>ノ</sup>馬<sup>ニ</sup>乘<sup>テ</sup>前<sup>立</sup>不可<sup>行</sup>況<sup>昔</sup>  
 17 ① 八足<sup>ノ</sup>駒<sup>國</sup>ヲ滅<sup>キ</sup>カ<sup>レ</sup>ル奇<sup>キ</sup>物<sup>ヲ</sup>不可<sup>用</sup>ト  
 18 ② テカ<sup>ハ</sup>サセ給<sup>ニ</sup>ケレハ、國<sup>モ</sup>亂<sup>レ</sup>ル、事<sup>モ</sup>無<sup>カ</sup>リケ  
 19 リト。申<sup>ス</sup>心<sup>ハ</sup>、人<sup>ノ</sup>中<sup>ニ</sup>モ奇<sup>キ</sup>物<sup>、</sup>中<sup>ニ</sup>モ形<sup>殊</sup>ニ  
 20 ③ 奇<sup>ク</sup>勝<sup>ラ</sup>ク者<sup>ナ</sup>ント<sup>ヲ</sup>ハ、能<sup>ハ</sup>ハカラヒテ可<sup>用</sup>ト  
 申<sup>タル</sup>也。

① 八駿圖（文庫卷四、嘉禎四年点） ② モト「ソレノ  
 下<sup>ニ</sup>字<sup>アリ</sup>。コレヲ消シ小字<sup>ヲ</sup>ヲトヒ<sup>ラ</sup>者<sup>入</sup>。（③  
 「ソレヲ消シ」ニ改メ。（④ 房<sup>ノ</sup>星<sup>之</sup>精<sup>、</sup>下<sup>テ</sup>爲<sup>テ</sup>怪<sup>ク</sup>）  
 八駿圖（文庫卷四、嘉禎四年点） ⑤ 「ト」ヲ「ル」ニ書  
 改メ。⑥ 〇ノ個<sup>所</sup>「毛」ノ如シ。未詳。  
 ⑦ 潤<sup>底</sup>松 谷<sup>ノ</sup>底<sup>ナル</sup>松<sup>ヲ</sup>潤<sup>底</sup>ノ松<sup>ト</sup>申<sup>セ</sup>。

41 ⑤ 此段ニハ、賢<sup>キ</sup>人共君ニモ知ラレ參セスンテ空<sup>ク</sup>  
 ⑥ 深山トナシ入込リ、或ハ<sup>3</sup>又懷<sup>キ</sup>悵<sup>ヲ</sup>俸祿ヲ王辭シ朝ニ  
 ⑦ 仕ハ又人共ヲ、澗ノ底<sup>ニ</sup>ノ松ノエミニ不<sup>シ</sup>知<sup>テ</sup>空<sup>ク</sup>  
 ⑧ 老朽<sup>ヲ</sup>ヌルニ譬タル也。大才<sup>ヲ</sup>唐王<sup>ノ</sup>ノ賢人ト申スハ、  
 政直<sup>ニ</sup>胡人モ仕ツカヘテ成<sup>ル</sup>極<sup>タル</sup>恥<sup>シタル</sup>  
 ⑨ 也。サレハ恩祿アツキ人ニモ世直<sup>ナラ</sup>ナラネハ入込<sup>ル</sup>  
 ⑩ 事也。左<sup>ニ</sup>有レハ、漢ノ高祖ノ時、東宮ノ詩<sup>ヲ</sup>候<sup>ヒ</sup>  
 ⑪ ケルニ商山ト云山ニコソ<sup>レ</sup>計コト、賢<sup>ノ</sup>物共ハ有<sup>ル</sup>  
 420 1 此事ヲ計セハヤト御門仰有<sup>レ</sup>ケレハ、時ノ大臣子房  
 2 ト申ス人呼<sup>ビ</sup>ケレハ、彼ノ山ヨリ四人ノ賢人出テ  
 3 申ケル様ハ、我等秦始皇ノ時ノ榮<sup>ハ</sup>甚<sup>シ</sup>カリシ力  
 トモ、政横サマナリシ力ハ、商山ト申山ニ入リニキ、  
 4 今君ノ世ニ成ル由ヲ承リテ詣ル也トコ申ケ。商山  
 5 ノ四皓ト申ハ此<sup>レ</sup>等也。又周ノ文王ト申ケル御門<sup>ニ</sup>  
 6 時ニ、湯<sup>ノ</sup>悵<sup>ヲ</sup>何<sup>ニ</sup>賢<sup>ヲ</sup>儲<sup>ク</sup>穴<sup>ニ</sup>入<sup>リ</sup>テケニ出  
 アテ、賢<sup>ヲ</sup>得給<sup>フ</sup>ト占<sup>ラ</sup>仕ツリテ有<sup>レ</sup>ハ、悅<sup>テ</sup>増<sup>シ</sup>  
 申ス處ニ出<sup>テ</sup>御覽<sup>シ</sup>ケ呂望<sup>ト</sup>申ス人、熊ノ皮<sup>ヲ</sup>  
 8 ヲ着<sup>テ</sup>石<sup>ノ</sup>上<sup>ニ</sup>居<sup>テ</sup>魚<sup>ヲ</sup>釣<sup>リ</sup>ケ御門、何ニカク  
 9 テハト「有<sup>レ</sup>ケレハ、我<sup>ノ</sup>怨<sup>ヲ</sup>紂王<sup>ニ</sup>仕<sup>ス</sup>」〔朝〕  
 10 恩<sup>ニ</sup>預<sup>ク</sup>ト無<sup>シ</sup>道<sup>モ</sup>世<sup>ニ</sup>仕<sup>テ</sup>祿<sup>厚</sup>位<sup>高</sup>臣<sup>下</sup>、恥<sup>シ</sup>  
 11 トス。而<sup>ル</sup>ニ、殷ノ紂王政直<sup>ニ</sup>タ、シカラサリシ力  
 ハ、世ヲ造<sup>レ</sup>テ入込<sup>リ</sup>ニキト申シケレハ、御<sup>レ</sup>

420 12 門馬ニ衆セテ王宮へ返ハリ給ヒキ。止賢ナレトモ申  
 13 入ル、人<sup>レ</sup>無<sup>ナ</sup>ハ、知<sup>ラ</sup>レマイラセ又人モ多ク有也。  
 14 サレハ寧<sup>ニ</sup>戚<sup>子</sup>ト申<sup>レ</sup>ケル者ハ、牛ノ角ヲ<sup>3</sup>扱<sup>ヒ</sup>テ我身  
 ① ノ賢ナル由ヲ歌イケレハ齊桓<sup>ノ</sup>公召<sup>テ</sup>御覽<sup>シ</sup>テ政ヲ  
 ② 仕セ、孟將君ト申ケル者ハ、大刀ノ柄<sup>ヲ</sup>ハ<sup>ラ</sup>打<sup>テ</sup>我身  
 ノ賢ナル由ヲ歌ケレハ、秦昭王召<sup>シ</sup>テ國ヲタヒケレ  
 ③ ルナムト申ス。カ<sup>ニ</sup>ル爲<sup>ニ</sup>數<sup>ス</sup>無限<sup>ニ</sup>ナリ<sup>シ</sup>。

① 深<sup>キ</sup>ノ<sup>キ</sup>ヲ消ス。② 又<sup>レ</sup>ノ<sup>キ</sup>悵<sup>ニ</sup>一字ヲ消ス。③  
 「胡」ノ次、一字アルヲ消シ左行間小字「人モ」ヲ加ウ。  
 「人モ」ニ字、イマ本行ニ移ス。④ 「ナレ」ハ濃墨筆。  
 「ラ」トニ書改ム。⑤ 「官」ハ濃墨筆補入。⑥ 「祿  
 厚」ノ右側、小字複合註「朝恩イ」トアルヲ消ス。  
 「レ」ハ「之」ノ誤写ならむ。⑦ 祭文は「招」。名義抄「  
 扱」タクトノ動用字ナラン。⑧ 「モト」素、斜線ニ  
 テ消シ、右側小字ニテ「素」ニ改ム。イマ本行ニ移  
 ス。

420 ④ 牡丹芳 牡丹之花匂香ハシキヲ牡丹芳トハ申也。  
 ⑤ 此段ニハ、唐ノ憲宗皇帝ヲ讚<sup>テ</sup>有<sup>ナ</sup>リ。憲宗ノ御時  
 ⑥ ノ人々、公私ノ事ヲ<sup>奇</sup>テ<sup>偏</sup>ニ牡丹ノ花ヲ<sup>詠</sup>ケリ、  
 ⑦ 宿露輕盈<sup>ニ</sup>紫艷<sup>ニ</sup>朝陽照<sup>シ</sup>生<sup>ル</sup>紅光<sup>ニ</sup>、此<sup>ノ</sup>唐車<sup>軟</sup>輿<sup>車</sup>」



421 ⑥ 此ノカモノ廣サ十丈餘、十人ノレ夫ノカラ、同シテ

⑦ 持ッ事ヲ不得。太原毳澀毳縷硬蜀都<sup>(杜)</sup>稱薄錦花冷、

⑧ 此太原ト申ス處ヨリ詔イル毳モハ糸太<sup>(杜)</sup>トトクシテ

ア「<sup>(杜)</sup>シ、蜀都ト申ス所ヨリ詔イルシトハ薄クシテ

⑨ 冷マシ、宣州ノ毳細、糸スチヲ厚ク織レル事ヲ被書

⑩ レタル也。此ノ段ノ意ハ、地ハ温カナル事ヲ不思、

422 1 人ハ寒、事ヲ歎レク。然ルニ貧、民タミ、<sup>(杜)</sup>衣ヲ奪<sup>(杜)</sup>

2 テ地ノ上ニ被ル著<sup>(杜)</sup>事國ノ弊<sup>(杜)</sup>ナリ。サレハ僻<sup>(杜)</sup>ニ彼

3 ノ毳ヲ可被止メ事ニハ非ス。本ノ様ヲレ超テ美麗ヲ

被極事ヲ戒タルナリ。レ

① 紅。縷。毳。文東卷三 天永四年点シ紅縷<sup>(杜)</sup> (文集卷

四嘉種 四年点) (2) 該当字明ナラス。「間」心稍近

キカ。 (3) 原又は「遼」。遼ノ誤写ナラン。 (4) 太

原。毳。澀。毳。縷。蜀都<sup>(杜)</sup>稱薄。錦華。冷。

(文集卷四 天永四年点) (5) 冷。サマシ (6) 親名

法上帖) (7) 行末余白無キ爲「タミ」トアリ。イマ

「ノ」ヲ本行ニ移ス。 (8) 奪。人衣 (文集卷四 天永

四年点) (9) 「ス」イテ何レトモ解シ得。

422 4 杜陵<sup>(杜)</sup> 杜陵ト申ス所ニ翁有ル「ヨ」杜陵<sup>(杜)</sup>ト申

也。

422 5 此段ニハ、杜陵ト申ス處ノ守ヲ誘リテ有ナリ。徳宗御

6 時、<sup>(杜)</sup>杜陵ト申ス處ニ雨ケルハ、青、ナエヒテスシテ

7 黄<sup>(杜)</sup>枯、九<sup>(杜)</sup>月ニ霜早下、粟、申ス者モ青ナ

8 カラシホレ落ケル事有リケリ。其年杜陵、守ミ國

9 2 損亡ヲ御門ニモ不申、<sup>(杜)</sup>秋<sup>(杜)</sup>中ニ年貢ヲ

頻リニ徴ケレ「ハ」、民共其子ヲ賣、桑ヲ典リキノナ

10 ントシテ所當ヲ成シケ。秋ノ中チ可過<sup>(杜)</sup>方、無ケリ。何

11 ナル人カレ申ケム、御門此ヲ聞召テ悉ク可<sup>(杜)</sup>免ス宣

12 旨下サレケレトモ、<sup>(杜)</sup>民共ニ取ラセ行ハサリケリ。

422 ① 十家祖祝ハ九家畢<sup>(杜)</sup>虚<sup>(杜)</sup>レ受吾君<sup>(杜)</sup>鶴カラホル免

恩<sup>(杜)</sup>物カハサル事ナシ。此段、意<sup>(杜)</sup>上ニ知<sup>(杜)</sup>

② マイラセスシテ、國ノ守タル者、民ヲシエタクルコ

トヲ悲タル也。

① 陝西省西安府城杜陵。杜陵<sup>(杜)</sup>豊 (文集卷三 天永

四年点) (2) 本<sup>(杜)</sup>德<sup>(杜)</sup>未<sup>(杜)</sup>孰<sup>(杜)</sup>皆<sup>(杜)</sup>青<sup>(杜)</sup>乾<sup>(杜)</sup> (同上卷

四 16) (3) 〇〇ハ<sup>(杜)</sup>免<sup>(杜)</sup>トアリ。 (4) 十家祖祝<sup>(杜)</sup>九家

虚<sup>(杜)</sup>受吾君<sup>(杜)</sup>免<sup>(杜)</sup>恩<sup>(杜)</sup> (文集同上 17) (5) 鶴

ハ<sup>(杜)</sup>鶴<sup>(杜)</sup>「カウホル」は上の「免」の訓であるべきもの。

422 ③ 繚綾 白、綾之勝レテ奇ヲ繚綾トハ申ナリ。

金女工之勞

422 ④ 此段ニハ、唐、徳宗ヲ諷ルナリ。徳宗御時國ニ様

⑤ シヲ下シテ、伎女カ裝束ヲ織セ給ケリ。織爲寒北

⑥ 秋鷹染レ作江南春水色、此レハコノ線綾ヲ織リテ

⑦ 染ナムト有様マヲ書タルナリ。此裝束一重ネ十

⑧ 兩ノ金ニ當ケルヲ、「汗」セニヌレ粉ニ織レテ

⑨ 再上着、不得。照陽改伎女、況マ又土ニ引テ石

⑩ 借ハ心無カリケリ。織ル時ノ苦勞申レ無限モ。

世、常ノ繰リニ並フル事無トレ申事ナリ。此段ノ

⑪ 意ハ、寛差ヲ戒メタルナリ。

① 念女工之勞也(文身卷四天永四年点17)

② 爲室北の秋鷹行、染作江南春水色(同上18)

③ 名義抄抄粉カクハシノ意、但シ、「粉ネレ」ハ「粉ハラヒ

ノ」ニ通ズルカ。こカ部分に对应する祭典は、「汗

注「殿イ」ハ濃墨ニテ。

④ 此段ニハ事ヲ公ケニ依セテ質キ物ヲ煩ス事ヲ戒

⑤ 加タル。唐、徳宗ノ御時炭賣翁有ケリ。木ヲ

⑥ 殺リテ炭ニレ焼テ、雪ヲ引テ市ノ南ニテ門外ニ炭車

⑦ 置ケテリ。其時黄ナル衣着タル者、出来テ、手ニ

423 ① 賣炭翁 中ニ出テ、炭賣翁賣炭翁トハ申也。

② 此段ニハ事ヲ公ケニ依セテ質キ物ヲ煩ス事ヲ戒

③ 加タル。唐、徳宗ノ御時炭賣翁有ケリ。木ヲ

④ 殺リテ炭ニレ焼テ、雪ヲ引テ市ノ南ニテ門外ニ炭車

⑤ 置ケテリ。其時黄ナル衣着タル者、出来テ、手ニ

423 ⑥ 文拳テ此旨ト申テ不足、直レヲ以テ牛ノ頸ニ打懸

テ、此炭ヲ押買ニケケリ。翁申様、レ衣、難

⑦ 堪身ナレトモ、炭ノ直ノ増ラム事ヲ思テ、其ノ

⑧ 利ノ、邊ヲ悦コトニテアルニ、宛ラヌ直「己以口

⑨ 押ヘ被召事難レ堪ナリ、ト申ケレトモ、上ヨリ召成

⑩ ト申ケレハ、不及カラレ被召ケリト申ス。「心ハ、

⑪ 此翁田ヲモ不作、桑ヲモ不取、帝王ノ普恵

⑫ 漏タルカ如ナル者也。ミ山ノ奥ニ、マカレル卧キナ

⑬ ント焼、出行「ハ」翁カ一年ノ中、大ナル勵ナリ。

⑭ 君ノ御賸ヲ申サハ天下ニ満テリ。君又事ニ付テ人

⑮ 衣給事ナレハ、炭車一兩ヲ不足、直ニテレ

⑯ 不可召。自上、不足、直ニテ可ト買有、非

⑰ 此言ヲ承ハルレハ、人、熊ハサ成ルヘシ。民ノ各ハ皆御

⑱ 門、御身ニ懸、民數ハ併レ、御門御上ハニ積ル事ニ

⑲ 候。況ヤ手ニ文ヲ拳テ宣旨ト申テ、質キ民ノ物ヲ

⑳ 押召事、不可有。此事被留ヘシ。御用有、物ヲ

㉑ 八國ミノ備物ニ打ツケラルヘシト申タルナリ。

① 賣炭翁(文集卷三天永四年点3)

② 此段ニハ事ヲ公ケニ依セテ質キ物ヲ煩ス事ヲ戒

③ 加タル。唐、徳宗ノ御時炭賣翁有ケリ。木ヲ

④ 殺リテ炭ニレ焼テ、雪ヲ引テ市ノ南ニテ門外ニ炭車

⑤ 置ケテリ。其時黄ナル衣着タル者、出来テ、手ニ

⑥ 文拳テ此旨ト申テ不足、直レヲ以テ牛ノ頸ニ打懸

⑦ 難、此炭ヲ押買ニケケリ。翁申様、レ衣、難

⑧ 堪身ナレトモ、炭ノ直ノ増ラム事ヲ思テ、其ノ

⑨ 利ノ、邊ヲ悦コトニテアルニ、宛ラヌ直「己以口

⑩ 押ヘ被召事難レ堪ナリ、ト申ケレトモ、上ヨリ召成

ニ使用・但シ「押」ハ別字。(全)可憐身。上衣。  
 正(單)心(憂)炭(賦) (文集卷四 天永四年点  
 19) (5)「ヲ」ニニ音改ム。(6)源文ハ「汚」。(漏)「ヲ」  
 ン。(7)「ナトハ」トモ解シ得ル。(8)モト「妾」ハ「ヨ」  
 ヲ消シ左ニ「テ」ヲ加フ。イマ右ニ移ス。

403 母別子 新シキカ古(元)キヲ別ツルヲ戒タリ。

- ② 此段ニハ、高キ人母ナムト未御坐人ハ世ニ不御坐ニ
- ④ 事ニテ有トモ、心許ヲ可申シ候。唐ノ代ニ驃騎將
- ⑩ 軍ト申者ノ戎、國ヲ打隨ヘケルニ、御門ヨリ金
- ⑪ 錢二百万ヲ給テ、樂シキ身ト成レテ後、紅樓ノ人ニ
- 414 1 新キ妻ヲ向テ、項年(六) 妻ヲステニケリ。此ノ
- 年來ノ妻兩人ノ子(項)生キ、將軍ノ家ニ留テ出ニケリ。
- 2 一人(始)化テ床ニ懸カケリ、一人ハ妃メテ坐ケリ。
- 3 居(立)キ行ヲモ哭シキテ人々ノ衣ニ取り付ケリ。
- 4 此ノ子共ノ母ヲ(思)ハ様ハ、昔ハ諸共ニ榮(榮)ヒキ、不(圖)榮(後)カナル物ノ思ヘシトハ。
- 5 母ハレ子ニ別レテ哀レヒ、子ハ母ヲ尋テ立「タ」事無
- 6 限リ。又慙功ニ出來「又御恩知重」今ノ人マカレ
- 7 新キ人モ可シ來ル。サレハ此段(意)ハ、榮ヘテ後
- 8 貧シキ時(事)棄(事)テ、漢ノ明帝ノ時、床
- 仲子ト申ケル人、我カ形世、人ニ勝タル人ニテ有レ

424 9 ケリ。又御門ノ御母ニテ湖陽公主ト申ス人御坐シケ  
 10 リ。此人レヲ彼宋仲子ニ相セムト思召テ、御門宋仲  
 11 子ヲ屏風ノ内ニ呼ヒ入テ汝文覺深ク位王高シ。湖  
 12 陽公主ニ相セムト思フハ何ニト有ケレハ、宋仲子  
 13 申ヤウ、位高恩厚ク成レハ徳ヲハ蒙トモ貧(時)妻  
 不可棄(ト)申シケレハ、御門不(力)止給(リ)。

① 母別子(文集卷四 嘉禎四年点) (2) 刺(新)リアラシキカ  
 間(舊)也(文集卷四 天永四年点 20) (3) 「ステ  
 ニケリ」ノ次、二人ハ妃「ノ」四字アルヲ消ス。(4) 書入  
 「始」ハ濃墨。(5) モト「衣」ハ、「ヨ」ヲ消シ、左下ニ  
 「ヨ」ヲ加フ。(6) コノ「ヨ」ハ、主格、目的格ノ混用ナ  
 ラン。「母」主格。(7) 「思」或ハ「思」カ。(8) モト「人」  
 「ヲ」消シ左下ニ「ヨ」ヲ加フ。(9) 「汝」ノ上、更ニ一  
 字「汝」ヲラシキ字アルヲ消ス。

441 陰山道 唐エト胡國ノ境ヲ陰山道ト申也

- ② 此段(二)ハ、唐憲宗皇帝ヲ美メテ候也。此陰山道ト
- ③ 申ス所「ハ胡國ヨリ賣ケル馬ヲ買ケル所」ミテ有ナ
- ④ リ。唐(ハ)將軍ニ進ラセムトテ國々馬買ケルニ、
- ⑤ 鹿(織)短ク切クル線トリ五十「疋」以テ馬一疋ヲ
- 買ケレハ、此ヲ線(用) 胡國ヨリ馬買事ヲ

424 ⑥ 留タリケリ。徒ニ成リケリ。其將軍馬無シテ、存シキリ數

⑦ ケルヲ、咸安公レ主ト申人御門ニ申ケレハ、其後胡

⑧ 國ヨリ賣ケル馬ヲ、憲宗皇帝レ御倉ヨリ、存綾ナム

⑨ トヲ出シテ買セ給テ、其上ニ、國々ノ馬買レ直ヲ

「薄」ク織リ短ク不可切レ様シヲ下シ、美ク成ケトハ、

⑩ 馬多ク出キレニケリ。レ

①「ミマカ」未詳。或ハ「コテ」ト読ミ、所ノ「コ」ヲ消  
残トスベキカ。文意から「ミナ」とも考えらるよう。

②原文は「蕪」。「蕪」(發)ニ「シキリ」ノ訓ナシ。或  
ハ「存」ノ誤字カ。「金」カ。

425 1 時禁分 戎人ヲ警イマシメタリ、エヒスノカタチ

也、面赤色也。レ

2 此段ニハ、唐、徳宗皇帝ヲ美ル候也。徳宗御時、

3 天下静マテ、四方、戎亂事ナカリケレトモ、御門四

4 方、戎、形ヲ造セテ、都、レ中ニ立テ御坐リ。立

給意ハ、此ノ比コロハ此、エヒス亂イラネトモ、レ

5 カナル物ノ四方、圍、ハテニ有テ、隙有リ、打入ラ

6 スルナリ。各レ心不ト可打解、將軍トモニ見セ給ハ

ムカ爲也。レ

7 李夫人 李將軍ト申ケル者、イモウトノ夫人ト

427 成テケルヲ李夫人トハ申也。レ

8 此段ニハ、漢、武帝ト申ケル御門ノ色ヲ重クシ給ケ

9 ルヲ諒ル也。レ漢、武帝ト申ス御門、李夫人ニ後レ

10 テ、其レ形ロ甘泉殿ウツシヨキテ、心ヲソ安

11 メケレ。哀ラ心ノ餘リニ仙述ル芳クト召テ、何カ

12 スヘキト有ケレハ、芳土申様、反魂香ト申レ香ヲ焚

候ヘハ、此、世ヲ去ル人モ其ノ香ニ付テ形ヲ見ル事

①ニテ候也ト申ケレハハ、御門悦ヒテ彼ノ香ヲ焚給

②ケレハ、幻ノ様ニテ見ヘテ、暫クモクシテ 中々肝

③モ碎給事ニ成ニケリ。君又不見レ秦陵一掘、突ラ馬鬼

④路、上ニ念陽貴ヲ、此ハ周、穆王ト申ケル、御門ノ盛

⑤申ケル御門陽貴妃ヲ失イテ、一掘、突ラ氣シ給シ

⑥事ヲ申シタルナリ。サレハ人ノ身ハ「色」口有

⑦ラネハ、別レヨ惜ムモ苦シキ事ナレレハ、只カナル

色ニ不ハ相ア不ト如カ申タルナリ。レ

①「タ」モト「形」ノ上ニ重ネテ、別ノ字ヲ書加ル。

其字不明。②「止」ト通。③原文は「翠」。「焚」

正字ハ後出(428)。「火」木ノ上下順、逆。錯

置力。④又不見秦陵一掘、突ラ馬鬼路上、念ハ揚

妃。(文集卷四 天永四年 念ハ揚字無シ) ⑤モト



「晩キ」キヨヲ消シ、左下ニ「シテ」ヲ書加ラ、イマシテ  
 ヲ右下ニ移ス。(6)人非木石。(又集同上26)

425 ⑧ 陵園妾 陵園宮ニ被レテ 込有レ 姫ヲ 陵園妾ニ申ナリ。

但何(7)セト申事ヲ不(明)セ。

⑨ 此段心、人ミノ 讒言ノ 畏シキ 事ヲ 申タルナリ。此事

⑩ ツマヒラカニ何(レ)ノ代ト不見。中宮 讒言ニ依テ

426 1 或ル一人ノ 姫キ 陵園(宮)ニ被レテ 込ミサキヲ守

2 ラセケリ。三代ノ 御門ノ 御世過マテ被レ込タリ云々。

3 松門 到曉月 徘徊 栢城 蓋日 風蕭蕭 松門 栢城 幽深ク

4 聞聲 聽燕感(光) 陰 此宮ノ 中ニ 戸(トサシ) 難ク 深ク

閉被込ケレハ、月日ノ ユクヘモ不知。タセツキ

5 夕燕 ヲ 見テモ、年ヲ 行タルコトヲ 知ケル事ヲ 書タ

6 ル也。眼ヲ 菊菜 魚陽 淚ヲ 把 梨花 寒食心、又此ノ 菊

7 ノ 花ヲ 看ニモ、昔ノ 魚陽ノ 節ヲ (思)出テ、手ニ 梨

8 花ヲ サヲ 取レニモ、寒食ノ 政ヲ 思出ラレナントシ

9 テ 過ケル事ヲ 書タル也。此段ニハ、陵園宮ニ人ヲ

10 込テ 給サ、守ラセ 給ハ、各日ヲ 送リテ 三年ニ 廻宛

ニハ 歎(モ) 不可有(ト) 書(ル)也。

①「ヲ」意不通。(2)松門、到曉月徘徊、栢城、蓋日、  
 日、風、蕭蕭、松門、栢城、幽閑、深閑、聽、難、深

感光陰。(文集卷四天永四年点27) (3)モト「松風」

「風ヲ消ス。(4)通行本「閉」但シユノ字後出「閉」ト明

カニ相違、閉ニ似ル、或ハ「閉」カ、(5)「聞」ハ別筆補

入。(6)「戸」難クハ「戸」ノ意、(7)「ミ」キ

ハ 樂里 筆、(8)眼ヲ 看ハ 菊菜、魚陽、淚ヲ 把 梨花

寒食心。(文集同上27) (9)通行本「把」。(10)「采文

は「衣」。「取」ノ草書体が「衣」ニ似ル例「黒滑龍」ニ

モアリ。

426 ④ 鹽商婦 鹽ヲアキナフ物ノ 妻ノ 有ケルヲ 鹽商婦ト

ハ申タル也。

② 何ニシテモ、物ノ 樂シキ 驕ヲ 過差ヲフルマフ事

③ ヲ 惡ミテ 有(レ)「唐」憲宗ノ 御時、白居易 西江ト

④ 申スカタニハレテ有(レ)「樂」女有(レ)「翠

⑤ ノ 髮 髮ヒンツラ 高カク アマシテ 金、カンサシカニヤ

キ、白キタフサコマヤカニ(シ)テ、銀ノタマキ汗付キ

⑥ ナントシテユシケニ有レハ、白居易(寫)イテ、

⑦ 何ナル人ソト問セ 給ケレハ、我ハ此鹽燒ク者ノ

⑧ 妻也ト答ケリ。猶シテ返シテ、何ガシテ 幸ヲ 得ケ

⑨ ルソト問ハレケレハ、申ケルヤウ、我カ男レ舟ヲ家

トシ水ヲ 望ミテ、隨テ 風ニ 行キ 隨テ 波ニトマ 毎年

⑩ 鹽ヲ 幸ツカサトツテ 守ミニ 獻ラスル時、少シキヲハ

426 ① 守ニ詣セテ、大ラ、クハレ私ニ入ケルセ。カコルタ  
 ② ノシキ〔身〕成レルセト申ケリ。此レ段心ハ、賤  
 キ者、田モ不作ラ桑〔毛〕不取ラシテ、國、物ヲ貧ホ  
 ③ リテ過ヲハ、素食ト申〔毛〕、國ヲ滅ス益人ト申タル  
 ④ ナリ。素ト申スハ徒〔毛〕ハミト申セ。サシモ過差  
 ナル事惡シト申事也。レ

①「コトハリテ」ハ本文ト同筆。 ②原文は「縁」。 ③「縁」  
 ミツラ、モト、リ（觀名仏下本36） 縁、縁ハ（文貞集  
 卷四天永四年品28） 縁、縁（文貞集卷四嘉禎四年品  
 ③）「ヒ縁」ハ濃軍筆。 ④「モト」蓋作申ス事也人ト  
 アリ、作「モト」セ「マテヲ消ス。

427 杏爲梁。カラモ、ヲ爲梁桂ヲ柱ナントニシテ家〔毛〕  
 ツクリケルヲ杏爲梁トハ申也。レ

- 2 此段ニハ、臣下共ノ美麗ヲ盡シテ造ルコトヲ家ヲ警
- 3 タル〔毛〕。李開府、家ニハ五ヲ瑩キ金ヲ鏤ハメシ
- 4 カトモ、〔家〕未、造成サソノ身失セニキ。盧將
- 5 軍、家ハ白カネノカヘレカキヲ移シ、五ノ木尻光ヲ
- 6 輝カシシカトモ、今年〔毛〕又御門〔毛〕レヲ召シテ
- 殊コト人ニ給ヒキ。又其子朝ニ仕ハラ侍ト給ハラス。
- 7 馬嶋カ家ヲハ徳宗其子家ヲ瑩テ子孫ニ傳ト〔毛〕事ヲ〔毛〕

427 門ノ外ノ大路ヲ人ニ聞スルコト無カレ、手ヲ打テ大  
 4ニ笑ヒヒテテ〔毛〕、只吾カ質ナラム必ス祖ノ譲リ無  
 10トモ美ヨキ家ニモ□。サレハ大字ノ御時、總徴大  
 11臣、家作テ居ト人レトモ、今憲宗ノ御時、總徴カ臣  
 12代ノ孫〔毛〕事ヲ給〔毛〕ナリ。レ

①「コト」ハ「コト」ヲ消ス。 ②「大路」の後、「行」の  
 「コト」ヲ消ス。 ③「モト」ヲ「譲」トシテ「コト」ヲ消ス  
 ソノ左、「リ」ニ改ム。イマ、「リ」ヲ右寄ニ改ム。 ④「ギ  
 ハ濃軍筆。 ⑤或ハ□□トニ字分ニスベキカ、〔毛〕  
 字「ハ」家ノ意。 ⑥「居」トシ「ト」も読得るが、「ト」  
 は本資料では、本文と關係の無い書入ル部分（427B）  
 にしか用いられず、すべて「ト」である。「殊ト人」  
 の宛字なりむか。

427 ① 井底引銀瓶。井底ニ銀ノツルヘヲ引クヲ  
 トハ申ナリ。銀ノツルヘニ糸ヲ引クヲ

- ① 逃テ罷トスルナム、事ヲ警
  - ② 此段ニハ、人ノ娘ノ祖ノ免ユルシ不テ一男ノ本ハ
  - ③ 逃テ罷トスルナム、事ヲ警
- キニタトハタルナリ。レ
- 石、上ニ置テ、瑩ミカク事ノアヤウ

④宵 契ハ松ノ蔭ニ憑ルモ、晚ノ語ハ差マクスカ

⑤原ニ裏ウラ返ル事ナルヲ、愚カニ少ヲサシテ、女ナ

ムトハ、男コノ契ヲ實ト過シテ、祖ニモ不知シテ男

⑥ノ本ニハ迷テ罷カル者ヲ、銀ノツルヘニ糸ステケテ付

⑦テ井ノ底ニ引キ、五ノ劍ヲ石上ニ置テ燈ク事ノア

⑧ヤウキニタトヘタルナリ。此ニハ大ニ有マシキ事也。

⑨嬖媚タル云々、祖モ惡ミテオトツレス。レ娘メモ恥

ハケテカキタヘ、又其後子男ノ心新テタマリ其妻

⑩モ子共モ空ク成又レハ、寫下ニシテ祖ノ本ハ

1 返リナハ、親シキユカリノ人々何カ負テ相

2 申タル也。但モ詩ニ申ス物ニ申タルハ、梅七落

3 々始ル時ヲ盛リトシ、女ハ年加ハ、リテ廿ニナル

ヲ以テ盛リト申タルナリ。此故ニ、人ノ娘メノ廿

4 ニアレマルマテ不達置タルヲハ無心事ニ申タル

5 ナリ。サレハ、唐王ノ女ノ廿ヨリ中ニ祖ノ免ルシ

6 無シテ人ノ本ハ罷ラハ奔レ女ト名ケテ、ウタテシキ

7 事ニ申ス也。廿ニアマリ又レハ、何事ヲモ被

ル、免レ也。

①井底引銀瓶 (文集卷三 天永四年点々) ②嬖媚  
③兩山蟻 ④宛轉 ⑤雙蛾 ⑥遠山色 (文集卷  
四 天永四年点々) ⑦又レアルヲ消ス。

「子共モ共」ノ「共」ヲ消ス。 ⑤「可カ」 ⑥「被カ」

428 8 官牛 多ノ牛ヲ催シテ車ヲ懸ルヲ官牛ト申也。

9 此段ニハ、唐ノ憲宗ノ御時攝政ヲ諺タル、彼ノ攝政

10 馬ノ足ノ織レム事ヲ思テ、五門ノ堀ツミト申ス

11 所ニ砂ヲ車ニ入テ運ケル程ニ、幾ノ牛頸ヒ爛タ

12 ンレニケル事ヲ諺タルナリ。心ハ、馬ノ足ノヨコ

①レムヲサシモ可、痛、多ノ牛ヲソコナハムコトヲ無

由ノ事ナリ。其上ニ、又此人政亂リニシテ人ノ歎ヲ

②不知レケリ。政モ直ヲナラハ、牛ノ頸ハ爛タモル

③歎クヘギニアラスレト申ス也。

①「原」ハ「復」。 ②「振」カ。但シ名義抄、字類  
抄共ニ「ツツ」ノ訓無シ。大字典ヨリコノ訓ヲ載。  
③「運」ハ「ハコ」、濃墨筆。 ④「コハク」ハ細墨筆、コ  
ノ筆、本字本ニモ極メテ稀。 ⑤「モト」頸ヲ、「心」  
ヲ消シ左ニ「ヨ」ヲ加ウ。イマ右寄ニス。 ⑥「モト」心、  
「ノ」ニ加筆シテ「ハ」ニ改ム。

429 紫毫筆

⑤ 此段ニハ、彼紫毫カ筆顛カラ又筆也。空キ車ヲ不ト

428 ⑥「可書」申タルナリ。宣州ト申所ヨリ年貢トシテ此  
 ⑦ノ筆ヲハ進ラ「スル也。此筆ヲ書事極テ不輒。打任  
 ⑧タル事不可書」。此筆ヲ以テ、帝王ノ御世ノ有様、  
 ⑨臣下ノ拳動書キ付テ、「若御政ノ亂レテ」臣諉イワ  
 ⑩メヲ入、臣下ノ奉行横ナラハ、「不憚」君ニモ可  
 429 1 奏ス申タル也。此段ノ意ハ、只此筆ニ依ヘテ「君ノ  
 勅宣」不直、又臣下ノ筆ニモ偽「イッハリ」書事ヲ申  
 2 シ知シメンカ爲ナリ。ト

①「書申」所ヨリノ十二字、行半バヨリ書始ム（  
 同大）字。イマ本行ニ改ム。②屢々使用ノ「シ」  
 （書）ト稍異ルモ同字トミル。③「イッハリ」細異  
 筆。前項「官年」注⑤ノ筆ト一筆ナラン。

429 3 隨提柳 隋ノ國ト申ス國ニ柳重被殖ケル  
 ヲ隨提柳トハ申セシ

4 此段ニハ、帝王位タル人ハ不遊ハ事ナレハ、國  
 5ノ王トシテ政ヲ治シメ御坐サム人ハ、アソハサ又事  
 6ナレトモ心許ラ申ナリ。此段ニハ、隋ノ煬帝ト  
 7申ス御門ノ國ヲ滅シ失ヘリシ事ヲ哀シタルナリ。  
 隋ノ煬帝、米河ト申ス河ノ岸ニ柳ヲ殖テ、千三百  
 8里ノ程ニ翠影ヲ機ヘテ、鑲玉キナムトニ金ヲ

429 9 鐘、舟ヲ千層ト浮ヘテ遊樂ミ給ケリ。此ハ、  
 10 官ノ上ノ人鐘シキ共ニ繩ニトリスカリ、ヤサシキ  
 11 女房五ノトハヤニ遊ヒナムトシケル事ヲ書、タルナ  
 429 ①リ。管絃ヲ事シ、舞ヲ宗トセラレケルハ、「歌」コ  
 工浪ノ舞、伎ノ女ノ黛、柳ノ糸ニ融カヨヒ亂  
 ②レナムトシテ、興増シ、勇増シテ、遊ヒ戲フ  
 ③レ給ケル程ニ、都コハ返リ「給ケル事ナカリケレハ、  
 ④禁中モ皆荒レ、世中ノ政ヲ忘レ給レケレハ、國モ皆  
 ⑤ナ亂レニケリ。カ、ル程ニ、大原ノ李淵ト申シ人、  
 御門ヲ失イマイラヒムト思心付ニケリ。ソノ子ニ大原  
 ⑥ト申ス人、軍ヲ起シテ隋ノ煬帝ノ臣下共失テ、御  
 ⑦門ヲ押シ込テ、我父ヲ位ニ居ニケリ。唐ノ高祖ト申  
 ⑧スハ此也。此段ニハ、煬帝ノ國ヲ滅セシ事ヲ哀シタ  
 ⑨ルカ故ニ、國王タル人ハ不遊ハ事也。ト

①「申ナリ」三字、余白ニ別行。イマ本行ニ改ム。  
 ②書入ハ濃墨筆。③「機」ハ淡墨ノ上濃墨筆ヲ  
 以テ重又。④「書入ハ濃墨筆」。⑤「護」錦ノ綴。  
 青城、御女、道、紅、樓、（文集卷四、天永四年、点36）  
 ⑥「五ノトハヤ」は、注⑤ノ「紅樓」に対応するもので  
 あり、「トハリ」の誤字と考へられる。⑦「事」ノ  
 次「出」之「トアリ。上ノ「本」ヲ消ス。⑧「歌」ノ左



ト、文中ト、下ヲ消シ、五ニテリヲ加フ。イマノヲ右  
寄ニ改ム。

431 1 古塚狐 フルキ塚狐ヲミミ申タル也。①

2 此段ニハ、姫ナムトノ謔言ニ付テ、賢人ナムトヲ矢

3 給事不ロレ可有申タルナリ。般ノ紂王ト申御門御

4 坐マシケリ。②始己ト申ス妃ノ謔言ヲ信シテ、多ノ

5 人ヲ失ヒテ後ニハ、我御子ニ比テト申ケル王子ヲ殺

6 害シ給ヒケリ。カナル程ニ、人皆ラレトミ退テ、西

7 伯显ト申ス人ニカヲ合セテ、御門ヲ失ヒニケリ。

又周ノ幽王ト申ケル御門ノ御時、褒如姫申ケル

8 妃在ケリ。此妃ノ咲エ嘲無ケリ。御門無類一思召

9 ケル様ニ嘲ハセム事ヲ夕ばかりて、とふひと申ス

10 火ヲ揚カレ、ケ給ニケリ。トフヒト申スモノハ、都

11 ニサハク事ノ有時ニ揚ケル事有レハ、諸將軍飛火

12 ニフト六キテ、兵ヲ引レ將ヲ禁中ニ詣リテ有ケレ

13 トモ、別、事ヲウケレバ、白ケテ返リケルヲ、

① 后、見テ始テ嘲ラヒ給ケリ。此ヲ嘲セムレカタメニ、

飛火ヲ揚事アマタ度ヒニ成ヌ。カナル程ニ、西

② 方、レ戎ス俄ニ都ニ打入ケルニ、飛火ヲ揚テ有ケレ

③ 此又后ヲ嘲セムカタメノ飛火ナルラムト申テ、

④ 將軍一人モ不語レサリケレハ、御門無甲斐、俄ニ

⑤ 打レ給ニケリ。申ス心ハ、レ狐ノ女ノ舐ヲカフル、  
⑥ 槍ヲ人ニ迷ハス。況ヤ、實ノ女ノ人ヲ迷事遙ニ  
⑦ 可過。此又、御門ノ色ヲ僅クシ給故也。國ヲ  
治メ給ハム人、色ヲ不可「好」給ニ申タルナリ。①

① 古塚狐 (文庫卷三 天永四年 志 4) ② 褒如姫之  
色 (同上 卷 40) ③ モト乃ル様ニ「様」ヲ消ス。  
④ 西伯昌 ⑤ 「如」ノ次申「アル」ヲ消ス。「如」ノ次  
⑥ 股字カ。⑦ 「程」ノ志。前注③ニ準スベシ。

⑧ モト「諸」濃墨筆ニテ「諸」ト改メ、左下ノ「テ」  
ヲ消ス。⑨ モト「タ」ニ、「上」ノ上濃墨筆ニテ「ニ」ニ改ム。  
⑩ 「カ」ニ「カ」ニ改ム。

432 ⑧ 黒潭龍 江南淵ト申淵ノ底ニ龍宮有ト申傳タルヲ

① 此段ニハ、江南ノ守ニテ有ケル者ヲ惡タルナリ。國

2 アリ。雨ヲイ「タ」シ曰ヲ照スコト、此神龍ノスル所

3 也。又國ノ榮衰ル「事」此ノ神龍ノツカサトル者也。

4 須ク、此神龍ヲ奉テ「祭」國ノ豊カナ事ヲ請フヘシト

5 申テ、家ニ「取」テ殺シテ「酒」ヲ作りテ、四季ヲ向

6 ハテ、此神龍祭ケリ。酒ヲ「社」前ノ草ニ灑キ、

432 肉ヲヲハ淵ノ傍ノ石ニ取棄サントレハ、林ノ鼠スミ

山ノ狐醉テ、神龍更ニ受クル事無シ。國ノ榮ヘ亡レ

8 事、更ニ神龍ノスル所ニ非。而ニ、神龍ノ有<sup>レ</sup>無<sup>ク</sup>ヲ

9 未<sup>シテ</sup>知<sup>レ</sup>此ヲ祭シケレハ偏ニ國ノ弊ナリ。而ヲ、江

10 南ノ守ミ、此ノ祭ノ時ニ得物ノ大キ事ヲ資木

ハテ、此祭ヲ結構セサスル<sup>レ</sup>事ヲ惡シト申也。

① 黒澤龍 (文集卷四嘉祿四年点) 本節全文B第

② 詩題ト本文トノ間ニ書入アリ。「南無阿弥陀佛ニ

此はミロクノあはせ給候へく候シ。ニ本棒ヲ引テ

消ス。本文ト一筆。③ ハカカ。類例は次の通り

咲<sup>ク</sup>嘯<sup>ス</sup> (918) 熊<sup>ノ</sup> (423) 苦<sup>シ</sup> (463) 子<sup>ノ</sup>モト<sup>ノ</sup>衰

ナリ<sup>レ</sup>、ナリヲ消シ左ニ「ル」ヲ加シ、イマ<sup>レ</sup>此<sup>レ</sup>右寄ニ改ム。

④ 祭文は「云」。取<sup>レ</sup>ノ草書体「衣」ト紛ラハシキ例多。

⑤ モト<sup>ノ</sup>祭<sup>ヲ</sup>、コトヲ消シ、左ニ「シケレハ」ト改ム、イ

マ<sup>レ</sup>シケレハ<sup>レ</sup>右寄ニ改ム。

可度ト申<sup>テ</sup>タルナリ。

② 此段ニハ、人ケ心ノコソ六シク難量事ヲ申也。日蝕

③ 月蝕ニナントヲモ檢カハ、天變ナムトヲモ占ナヒ當

④ ル也。天ノ事<sup>ヲ</sup>糾<sup>シ</sup>、地ナントヲナコムル事、地

432 ⑤ 事ヲ量リ知ルニアラスレヤ。思人ノ心ニ置キテハ、

⑥ 枕ヲ竝ハ胸ヲ乍合<sup>セ</sup>レ不知事<sup>レ</sup>也。昔楚ノ懷王、御時

⑦ キ、御ヲホハ無類<sup>ト</sup>一姫御坐シ<sup>レ</sup>ケリ。有ル人怨ミ

⑧ 思テ、妃ニ相テ儀カリ申様、御門ハ<sup>レ</sup>汝カ鼻ヲ

⑨ セ給也。視エ參<sup>ル</sup>時ハ鼻ヲ可<sup>ク</sup>掩<sup>ル</sup>云上、此夫

⑩ 人又御門ニ申様、妃ハ君身、臭ク御坐スカ難<sup>ク</sup>コトヲ

忍<sup>シ</sup>申セト申ケレハ、御門無過<sup>ク</sup>一妃退<sup>ケ</sup>テ、計ト申

⑪ タル<sup>レ</sup>夫人ヲ寵愛セサセ給ケリ。又尹<sup>ヨ</sup>吉甫ト申ス

⑫ 人有ケリ。其子ニ伯弁ト申者有ケリ。伯弁ノ外母

433 1 尹吉甫ニ<sup>レ</sup>申様ハ、吾<sup>レ</sup>汝<sup>ノ</sup>妾<sup>ト</sup>歟<sup>カ</sup>故ニ、汝<sup>ノ</sup>子<sup>ノ</sup>伯

2 弁<sup>ノ</sup>常ニ心ヲ依スル<sup>レ</sup>セト申ケレハ、尹吉甫申様、

3 伯弁ハ心ニ直シキ者也。此<sup>レ</sup>事難<sup>シ</sup>ト用申<sup>テ</sup>ケレハ、

4 伯弁ヨスヘテ汝トヲ具<sup>シ</sup>テ伺カニ<sup>レ</sup>見ヨ、其氣色顯

5 レナムト申ケレハ、人無キ所ニ兩人ヲ置<sup>テ</sup>レ尹吉甫

トヲ具<sup>シ</sup>テ及ソキケレハ、伯弁走依リテ外母ノ衣頸<sup>ニ</sup>

6 ニ取付キケレハ、母ナケサリ。尹吉甫カ本ヘ詣<sup>テ</sup>キ

7 テ<sup>レ</sup>ケリ。尹吉甫賢ト思テ、伯奇ヲ追<sup>テ</sup>ヨヒ失ステニ

8 ケリ。伯<sup>レ</sup>奇山ニ交リテサマヨヒケルホトニ、周宣

9 王ト申ス御門、狩<sup>ニ</sup>出<sup>テ</sup>野中ニシテ伯奇ヲ見付

10 テ、何<sup>ニ</sup>ト問ハセ給ハレ申<sup>レ</sup>様、吾外母ノ衣ノ頸ニ

11 大ナル蜂<sup>ノ</sup>有シカハ、母ヲサ<sup>ム</sup>ム事ヲ思<sup>レ</sup>テ、急キ

12 取候<sup>レ</sup>に。た、何なる事にか有けん、父ニ被<sup>レ</sup>衣

433 12 候也 申けれハ、御門直せ給けるほこに、外母ノ傍  
 13 テ蜂ヲ殺テ衣ノ頸ニ付キラル氣色ヲミ言有ケレハ、伯  
 14 奔カ急<sup>(急)</sup>依リテ蜂ヲ取ケルヲ、外母ニ取付、見ケレニ  
 ① 此ハ<sup>(急)</sup>春秋紛話ト申見<sup>(急)</sup>タリ。このたんにハ、  
 ② かゝるためし<sup>(急)</sup>をひきて、人にこゝろヲゆるすへか  
 ③ らなる事ヲ申た<sup>(急)</sup>るなり。

① 天<sup>(急)</sup>可<sup>(急)</sup>度<sup>(急)</sup>。(文集卷三 天永四年点々)。本節全文B  
 筆。② 伯奇。文中、「奇<sup>(急)</sup>ト併用。③ 急<sup>(急)</sup>ヲ急<sup>(急)</sup>  
 ニ書キ改ム。④ フソキカ、名義抄「透ソツマリ、  
 閨連アルカ、⑤ 急<sup>(急)</sup>ヲ以テ「急<sup>(急)</sup>ニ充ツルハココノ  
 ミ。⑥ フソ、仮名、或ハ「急<sup>(急)</sup>」ノ誤写カ。⑦ 春秋後  
 語カ。

- 433 ④ 秦吉了 鸚鵡ト申鳥ヲハ<sup>(急)</sup>キ<sup>(急)</sup>ト申。  
 ⑤ このたんにハ、たとへをとりてく<sup>(急)</sup>のかみのたみを  
 ⑥ し<sup>(急)</sup>えたくる事ヲぞしりたるなり。とりの中にて、  
 ⑦ 鳳<sup>(急)</sup>ヲ帝王ニ譬<sup>(急)</sup>ヘ、山鳥トツルヲ大臣ニたと<sup>(急)</sup>ス、  
 ⑧ 鸚鵡<sup>(急)</sup>ト辨官ナムトニ譬<sup>(急)</sup>ヘ、鳥鳥ヲ國ノかみにたと<sup>(急)</sup>ス、  
 ⑨ 燕<sup>(急)</sup>ト鷄<sup>(急)</sup>ヲ民百姓ニたと<sup>(急)</sup>ヘて候なり。燕鷄なんどノ  
 ⑩ 卵<sup>(急)</sup>ト<sup>(急)</sup>ツル、空ヨリトヒカラストヒ來  
 ⑪ テ、<sup>(急)</sup>ツレカミサケテさりぬ。これを、

434 1 くのかみのたみをしえたしけるにたとえて候な  
 2 リ。ほうくわう深、山ニ込居テ更<sup>(急)</sup>ニ此ヲ不知、又  
 3 鷄山鳥なんとハ志高<sup>(急)</sup>カ、ル事にい<sup>(急)</sup>ろはぬ事  
 4 なり。これくのかみのたみを滅スヲ帝<sup>(急)</sup>王知セ給  
 5 はず。又大臣なんとの、くのかみの有様ヲ帝王  
 6 なんとにも申さぬにたと<sup>(急)</sup>えたるなり。この<sup>(急)</sup>中にあ  
 うむと申すと<sup>(急)</sup>りハ、人の語、<sup>(急)</sup>トカク<sup>(急)</sup>トナキ  
 7 ヲ學<sup>(急)</sup>テ<sup>(急)</sup>鳥也。燕鷄ナムトカ鷄鳥ナムトノシエタク  
 8 ル<sup>(急)</sup>事<sup>(急)</sup>ヲ鳳凰ニ申セト被書たるなり。申心ハ、諸  
 9 の民<sup>(急)</sup>を國ノ守タル物<sup>(急)</sup>ノ、ほろほす事<sup>(急)</sup>ヲあはれみ  
 10 事<sup>(急)</sup>ナ<sup>(急)</sup>リ。きみのしろしめさねハ<sup>(急)</sup>のいましの無  
 11 し。只辨官<sup>(急)</sup>たりん人、よき事をもゆるき事をも  
 12 かみの事をもし<sup>(急)</sup>しもの事をも申ス鳥からすと申タル  
 13 なり。へい<sup>(急)</sup>にしへの野中のしみつぬるけれと本の  
 14 こゝろをしる人ぞくむ<sup>(急)</sup>。

① 本節全文B筆。② フソ片仮名。③ 鷄<sup>(急)</sup>トア  
 ルヲ鷄<sup>(急)</sup>ノミ消ス。イマ、ツルヲ本行ニ移ス。④ フソ  
 片仮名。⑤ フソ平仮名。⑥ 行末余白ナキ鳥カ  
 モト「鷄<sup>(急)</sup>トアリ、イマ、ヨラ右下ニ移ス。⑦ 片  
 仮名「鷄<sup>(急)</sup>」ニ字重複。イマ、一字ヲ  
 除。⑧ 片仮名「鷄<sup>(急)</sup>」ニ字重複。⑨ フソ片  
 仮名「鷄<sup>(急)</sup>」ニ字重複。⑩ フソ片  
 仮名「鷄<sup>(急)</sup>」ニ字重複。⑪ フソ片  
 仮名「鷄<sup>(急)</sup>」ニ字重複。



Uハ内ハ本文トハ無關係ノ書入レ。

434 ① 鴉九劍 此ハ張鴉九ト申ス人ノ劍ヲ作りテ候ケル

ヲハハトハ申タルナリ。

- ② 張鴉九ト申者(鴉九劍) 吳山ト申ス山ニテ 劍ヲ作りタリ
- ③ ケリ。彼ノ劍キ金ヲ削玉ヲ切ケリ。空ニムケムレ
- ④ 八星(星) ヲカサレ、深キ深雲モナントモ敵ニケリ。
- ⑤ 此段ニハ、吉キ人吉 諍諍背背事ヲ申タルナリ。惡
- ⑥ キ人多クシテ朝ニ滿満シヌレハ、美キ人モ皆世ヲ棄
- テ、山林ニ交ル事有。カナル時ニハ、政政王王亂亂テ民民
- ⑦ モ哀ミケリ。賢王御時賢王御時 賢キ人ヲ用用、傳傳王王ノ時
- ⑧ ニハ偽偽レル人必ス榮榮事ナリ。國國モ滅滅ヒ民民モ煩煩。
- ⑨ 又君君モ賢賢チレトモ、臣臣ノ心直カラスシテ、美キ事
- ⑩ ヲ消シ惡惡事ヲ顯顯シテ、賢賢人ヲ埋埋 帝王ノ普
- 435 ①、雨露雨露ノ恩恩ニ漏漏ス事事モ有ナリ。ユレヲ、ハルノ
- 2 ヒアタカニシテ草木ノ若葉若葉ハノ生生モ出出ツル心、
- ユキケノ雲雲ヲ覆覆テトケキ日日ノ光光リヲ隱隱スニ譬譬ル
- 3 也。只此ノ劍ニテ玉玉ヨキリ、鐘鐘ヲ切リテモ無由無由。日
- 4 ノ蔭蔭隱隱ス邊邊雲雲ヲ切切技技ナハ春春日日ヲモイタシ、草木
- 5 ヲ生生エ出出ヘシト申タルナリ。申心ハ、國國ノ大將
- 6 軍軍ヲラム人ハ、美美キ人ヲ埋埋ミ、惡惡キ人ヲ勸勸、政
- 7 ヲ亂亂、國國モ滅滅サハ者者ヲ可可失失也トト申申ナリ。

↓ 鴉九劍(文庫卷四嘉神四年点) ② 勸ノ設  
字ナラン。

435 採詩官 唐ノ習トシテ、御門ニ申サント思事ヲハ

詩ニ作テ、申事共ヲ取繼取繼、登前登前王亂王亂之所

由由口ケルヲ採詩官トハ申ナリ。

- 1 此段ニモ、心カタマシキ臣下無無量量民民ヲ冤冤事事
- 10 ヲ哀哀タルナリ。申心ハ、昔ハ採詩官ト申ス官サ
- 11 ヲオカレテ、臣臣カノ申ス事事モ、民民ノ申ス事事ヲモ
- 12 人人ヲ不不詮詮取繼取繼レハ、國中國中ノ專明專明有ケリ。
- 13 今ハ、此官此官不置不置シテ送送成成ヌレハ、下ノ心上
- 14 ニ難難通通怨怨ヲ含含多シ。又キミノ御夕御夕メニ
- モ此官此官被置被置タラハ、美キ事ニテアルナリ。其、
- ① 故ハ、御政御政ノ惡惡ヲハ不憚不憚申サハ人ノ心モ可行可行、
- ② 怨怨ヲ含含ム多シ衆出來出來ハ、君君ヲ背ク人モ有又
- ③ ハシ。サレハ周厲周厲王王被殺被殺、秦二世秦二世皇皇ノ臣臣不
- ④ 被失被失シモカカル官官不置不置故ナリト、爲シ
- ⑤ ヲ引タルナリ。カ、ル故ニ、昔昔ノ周周成王成王ノ御御時時
- ハ、諫鼓諫鼓ト申テ鼓被懸鼓被懸タリケリ。君君ニ可申可申事事ノ
- ⑥ 有有時時此此ツ、ミヲ打ケレハ間召ケリ。同
- ⑦ 時時又又謗謗本本云云彼彼レホレ被立被立タリケリ。有有怨怨者者
- ⑧ 賤賤ク有有ナムトノ民民詰詰リテ此此ノ本本ニ有ケレハ、

435 ④ 具サニ召被レ問ケレハ、愁ヲ殘ス者」ハ無カリケリ。

⑩ 此段ノ意ハ、君ノ床ハ高君門ハ深ケレハ、國ノ「守ハ無憚カル所」民ヲ寃<sup>タケ</sup>、國ヲ滅ス事ハ淺猿シキ事也。

⑪ 如ク本、採詩官ヲ被置タラマシカハ、サノミ民煩事⑫ 非シト申レタルナリ。

〔1〕 鑿前王亂亡之所由也（支那史卷四 天永四年条付）

〔2〕 モトト人ヲエリテ不詮レ、エリレヲ消ス。〔3〕 愁ヲ含ム人多シ<sup>合テマシ</sup>、<sup>合テマシ</sup>の「人多シ」は行ならん。〔4〕 原又は

「星」。「星ハ星」ノ意。〔5〕 此の部分は「矢ハ被シモ」の意で、「不」は行ならん。〔6〕 「カレカレ」股字カ。

〔7〕 「石」ノ前ニ「コ」アルヲ消ス。

436 1 新樂府注卷下 (花押)

正嘉元<sup>嘉元</sup>年七月廿日

於 相州鎌倉<sup>鎌倉</sup>佐々木<sup>佐々木</sup>自谷<sup>自谷</sup>書了

(以下、本文と関係なき文章あり、これ省略す)



透ヒナントシケル 421 10

あたたかなり(暖)

アタムカニシテ 435 1

暖カナル 443 1

温カナル 421 10

あたひ(直)

直 423 5 7 8 10 24 24 24 24 24 24

あたらし(新)

新シキ 406 8

新キ 423 10 424 6

新キ 404 4

新キ 404 4

新(連体法)

新シキカ 407 1

新シキカ 423 7

あたる(當) ↓ あひあ

る

宛ラヌ 423 8

當ケルヲ 422 7

あつ(當) ↓ うらなひあ

つ・めぐりあつ

宛ニケリ 430 13

あつかる(預)

預ラム 417 8

預カドト 420 9

あつし(熱)

漏 アツシテ 408 11

あつし(厚)

厚ク 421 9 424 12

厚ク 420 10

アツキ 419 9

あつまりゐる(集居)

集リ居テ 418 8

あつむ(集)

集ムムヨリハ 430 10

集メテ 405 4

集メテ 411 12

聚メテ 423 12

あな(穴)

穴 アナ 420 6

あながちなり(強)

懲 ナリケレハ 403 8

あは(粟)

粟 422 7

あはす(合)

相セムト 424 10 11

合セテ 431 6

乍合セ

相ス 428 1 432 5

あはれ(哀) ↓ もののあ

はれ

あはれなり(哀)

哀ナル 407 8

あはれび(哀) ↓ おむあ

はれび

あはれぶ(哀)

哀シヒ 424 5

哀給 423 1

あはれむ(哀)

哀タルナリ 429 6

あはれみ事 434 9

あひあたる(相當)

相宛タレリ 403 4

あひだ(間)

間タ 409 4

間 409 4

間 409 4

間 409 4

間 409 4

あひつぐ(相繼) 406 6

相繼(中止法)

あひならぶ(相竝)

相竝テ 417 10

あひ(合) ↓ よりあふ

不相事

不ニハ相 405 11

相テ 412 7 432 7

あへて(敢)

敢テ 410 2

あます(餘)

アマシテ 426 4

あまた(許多) ↓ ひとあ

また

アマタ 415 5

衆 413 13

あまたたひ(許多度)

アマタ度ヒ 431 1

あまねし(普)

普キ 423 11

普キ 423 11

普キ 423 11

普キ 423 11

あま(餘) ↓ じふちや



有<sup>ナラ</sup> 419 ⑩

有<sup>ニハ</sup>非<sup>ラシ</sup> 423 ②

不<sup>アル</sup>有<sup>カラス</sup> 413 ⑧

不可<sup>有</sup> 421 10

不可<sup>有</sup> 423 ⑤

不可<sup>有</sup> 431 3

不可<sup>有</sup> 417 ①

可有<sup>憚</sup> 418 4

可有<sup>憚</sup> 406 ⑥

有<sup>マシキ</sup> 405 ⑬ 413 ⑩ 427 ⑧

有<sup>ル</sup> 409 ④

有<sup>トモ</sup> 422 4

有<sup>レハ</sup> 405 ⑩ 411 8

有<sup>レハ</sup> 415 5 419 ⑩ 431 11

あり(補助動詞)

有<sup>ニハ</sup>非<sup>ラシ</sup> 423 ②

有<sup>ニハ</sup>非<sup>ラシ</sup> 423 ②

有<sup>ニハ</sup>非<sup>ラシ</sup> 423 ②

有<sup>ニハ</sup>非<sup>ラシ</sup> 423 ②

有<sup>ニハ</sup>非<sup>ラシ</sup> 423 ②

有<sup>ニハ</sup>非<sup>ラシ</sup> 423 ②

有<sup>ニハ</sup>非<sup>ラシ</sup> 423 ②

有<sup>ニハ</sup>非<sup>ラシ</sup> 423 ②

有<sup>ニハ</sup>非<sup>ラシ</sup> 423 ②

有<sup>ニハ</sup>非<sup>ラシ</sup> 423 ②

有<sup>ニハ</sup>非<sup>ラシ</sup> 423 ②

量<sup>リ</sup>知<sup>ル</sup> 422 ④

不<sup>レ</sup>單<sup>ニ</sup> 409 2

石<sup>ニ</sup>木<sup>ノ</sup>有<sup>エ</sup> 425 ⑥

堪<sup>ム</sup>有<sup>ラ</sup> 413 2

堀<sup>セ</sup>有<sup>ケ</sup> 411 1

勝<sup>タル</sup>有<sup>ケ</sup> 424 8

明<sup>カ</sup>有<sup>ケ</sup> 435 12

江<sup>南</sup>守<sup>ニ</sup>有<sup>ケ</sup> 431 ①

年<sup>ニ</sup>十<sup>四</sup>有<sup>ケ</sup> 408 ⑩

語<sup>テ</sup>有<sup>ケ</sup> 418 13

語<sup>リ</sup>有<sup>ケ</sup> 431 2

揚<sup>テ</sup>有<sup>ケ</sup> 431 ②

進<sup>テ</sup>有<sup>ケ</sup> 416 5

直<sup>ニ</sup>有<sup>ケ</sup> 430 ⑥

氣<sup>色</sup>有<sup>ケ</sup> 433 13

何<sup>なる</sup>事<sup>ニ</sup>有<sup>ケ</sup> 433 11

惡<sup>シ</sup>有<sup>リ</sup> 426 ②

美<sup>キ</sup>事<sup>ニ</sup>有<sup>リ</sup> 435 14

誇<sup>リ</sup>有<sup>ル</sup> 418 9

不<sup>相</sup>事<sup>ニ</sup>有<sup>リ</sup> 405 ⑫

誇<sup>リ</sup>有<sup>リ</sup> 422 5

置<sup>セ</sup>有<sup>リ</sup> 418 11

迷<sup>語</sup>有<sup>リ</sup> 418 12

讚<sup>テ</sup>有<sup>リ</sup> 420 ⑤

所<sup>ノ</sup>事<sup>ニ</sup>有<sup>リ</sup> 424 ③

出<sup>キ</sup>有<sup>リ</sup> 418 8

賤<sup>ク</sup>有<sup>ル</sup> 435 ⑦

悅<sup>コト</sup>有<sup>ル</sup> 423 8

歎<sup>コト</sup>不可<sup>有</sup> 426 10

ア<sup>マ</sup>チ有<sup>リ</sup> 410 ⑧

難<sup>有</sup> 408 ⑧

生<sup>ヒ</sup>繁<sup>シ</sup>有<sup>ル</sup> 430 1

不<sup>御</sup>坐<sup>事</sup>有<sup>リ</sup> 423 ④

不<sup>遊</sup>事<sup>ニ</sup>有<sup>リ</sup> 430 3

仕<sup>ツ</sup>有<sup>リ</sup> 420 6

ユ<sup>シ</sup>ケ有<sup>レ</sup> 426 ⑥

ヲ<sup>ハ</sup>レ有<sup>リ</sup> 426 ③

有<sup>リ</sup>がたし(有難)

數<sup>有</sup> 408 ⑦

有<sup>リ</sup>さま(有様)

有<sup>様</sup> 414 ⑨ 416 ⑤ 430 12

有<sup>様</sup> 422 ⑥

有<sup>様</sup> 408 6

有<sup>様</sup> 415 413 ⑥ 428 ⑧ 434 4

ある(連体詞)

有<sup>ル</sup> 407 5 432 ⑦

或<sup>ル</sup> 419 12 425 ⑩

ある(荒)

有<sup>ル</sup> 429 ③

ある(或)

或<sup>ハ</sup> 403 6 411 4 419 ⑥

あるなし(有無)

有<sup>ル</sup>無<sup>シ</sup> 422 8

あを(青)

青<sup>ナ</sup>カラ 422 7

あをし(青)

ア<sup>ヲ</sup>キ 417 ①

青<sup>キ</sup> 417 ②

青<sup>キ</sup> 417 ②

青<sup>キ</sup> 417 ②

青<sup>キ</sup> 417 ②

青<sup>キ</sup> 417 ②

安<sup>祿</sup>山 408 3 8 12 409 7

安<sup>祿</sup>山 408 3 8 12 409 7

安<sup>祿</sup>山 408 3 8 12 409 7

安<sup>祿</sup>山 408 3 8 12 409 7

安<sup>祿</sup>山 408 3 8 12 409 7

安<sup>祿</sup>山 408 3 8 12 409 7

安<sup>祿</sup>山 408 3 8 12 409 7

安<sup>祿</sup>山 408 3 8 12 409 7

い

いうわう(幽王)

幽王

いかか(何)

イカ

何カ

いかでか(何)

何カ

いかなる(何)

何ナル

何なる

いかに(何)

何ニ

何ニ

何

いきどほる(發射)

衛ヲ肝ト

いく(生) (上ニ段)

生テ

生テ

生、ナカラ

いく(生) (下ニ段)

生イケテ

いくさ(軍)

軍

軍

軍

いくばく(幾)

幾々無シテ

いくほど(幾程)

幾程

いけ(池)

池

いさみ(勇)

イサミ

勇

勇

いさめ(諺)

諺イサメ

いし(石)

石

412 ②

404 ⑩

403 6

415 ④

418 ⑦

406 ⑩

411 1

429 ⑥

406 ①

406 ⑩

411 3 5

411 ②

415 ②

415 7

428 ④

417 ①

417 ②

406 ③ ⑤ ⑦

417 ①

417 ②

417 ②

420 8

422 ⑨

430 7

432 6

427 ①

427 ⑦

421 10

421 ⑩

433 11

433 14

405 ⑬

403 ④

403 ⑩

435 4

432 1

435 4

424 ⑧

424 ⑥

424 ⑥

424 ⑤

422 ③

不痛

痛メ給タル

痛

可キカ痛

いたる(至)

至ル

至レル

いち(市)

いちきく(一擲)

いちにち(一日)

一日

いちねん(一年)

一年

いちひき(一疋)

一疋

いちりやう(一兩)

一兩

いつ(何時)

何ナタ

いつ(出) ↓ おもひいつ

いつ(出) ↓ おもひいつ

408 ⑥

417 1

421 11

428 12

405 ⑩

430 9

423 1 4

425 ⑤

416 ⑩

419 12

423 13

424 ⑤

424 ⑤

424 ⑤

424 ⑤

424 ⑤

424 ⑤

424 ⑤

424 ⑤

424 ⑤

424 ⑤

たづぬいづ・はしりい  
 つ・もえいづ・ちきい  
 でゆく  
 不シテ出  
 出給  
 出テ、  
 出テ、  
 出テ、  
 出ニケリ 410 ⑫ 415 ⑤ 424 1  
 可出 403 ⑬  
 いづく(何處)  
 何ツカニ 418 6  
 いづ(一斗)  
 五 413 ① ② ⑤  
 一斗 410 ①  
 いづはり(偽)  
 偽アヤマリ 429 1  
 偽 409 ⑩ 410 4  
 いづはりまうす  
 偽申スヲ 409 ⑩  
 いづはる(偽)

ハツハリテ  
 偽レル  
 いづみ(泉)  
 泉  
 いづ水(何)  
 イツレ  
 何ツ  
 いづく(出来)  
 出来ナハ 435 ②  
 出来ナク 413 ①  
 出来ケレハ 410 ⑤  
 出来ハカ 410 ⑩  
 出来タリ 416 3  
 出キテ 418 8  
 出キニケリ 404 7 406 1  
 出来口 424 6 424 ④  
 いと(糸)  
 糸 421 ① ⑦ ⑨ 429 ①  
 いとけ(糸毛)  
 糸毛 421 1  
 いとすぢ(線)

糸スチ 407 ⑥  
 糸スチ 427 ①  
 糸スチ 421 ①  
 糸スチ  
 いとふ(狀)  
 狀ハセ給也 432 ⑧  
 いとま(暇)  
 暇 403 ②  
 いなくき(船莖)  
 イナキ 421 9  
 いにしへ(古)  
 いにしへ 417 7 424 13  
 古  
 いのち(命)  
 イノチ 409 ⑥  
 命チ 409 2  
 命 403 7 ⑫ 404 ⑩ 405 ③ ④ ⑥  
 いのり(祈) ↓おむいの  
 祈リ 406 3  
 いは(石) ↓いし  
 いはむや(況)  
 況ヤ 422 ① 423 ④ 431 ⑤

泥 419 14 430 ⑧  
 いふ(云)  
 云レ給ヘシ 415 8  
 云ヒ 432 ⑧  
 云フ(連体法) 412 ⑦  
 云(連体法) 419 ⑩ 435 ⑥  
 云(連体法) 427 7  
 いへ(家)  
 家 413 5 418 6 424 1 426 ⑦  
 家 427 1 2 3 4 7 7 9 10  
 家 407 11 418 5 421 10 432 4  
 いま(今)  
 今 411 ⑩ 413 ⑦ 417 7 420 3  
 今 424 6 427 11 435 12  
 いましむ(戒)  
 戒メタルナリ 422 ⑩ 422 3 423 ⑦  
 戒タリ 425 1  
 戒イマシメタリ 405 5  
 戒メタルナリ 422 ⑩



戒ナリタル 423 2  
 戒タルナリ 425 ⑬  
 警言タルナリ 427 ⑤  
 警言タルナリ 427 2  
 いましめ(戒) 424 10  
 イましめ 406 9  
 戒メ 427 3  
 未止 415 6  
 未スミテ造成 423 ⑩  
 未御坐 427 3  
 いみじ 403 3  
 美シ 424 ①  
 いむか(汴河) ↓べんか 424 ②  
 いむさんだう(陰山道) 425 7  
 陰山道 424 ①  
 陰山道 424 ②  
 いもつと(妹) 425 7  
 イモウト 425 7  
 いやし(賤) 423 2  
 賤キ 426 ⑫  
 賤ク 425 ⑦

いよいよ(彌) 410 ④  
 彌ヨ 418 ②  
 彌 419 ⑤  
 入りこもる(入込) 404 ③  
 入込リ 409 8  
 入込モリ給ケリ 408 ③  
 入込リ給ケリ 407 1  
 入込給ケリ 420 11  
 入込給ヌ 419 ④  
 入込ル(連体法) 418 10  
 入りはじむ(入初) 411 ⑩  
 入初ヨリ 411 ⑩  
 いる(入) (四段) ↓う 411 ⑩  
 ちいる・かへりいる 416 1  
 みだれいる 420 6  
 入ケレハ 420 3  
 入テ 420 3  
 入りニキ 411 ⑦  
 不可入 411 ⑩  
 可入ヨシ 411 ⑦  
 いる(入) (下ニ) ↓ぎ 411 ⑦

きいる・まうしいる 428 10  
 よびいる 426 ⑩  
 入(中止法) 428 10  
 入ケルセ 426 ⑩  
 入給サリシ 428 10  
 入レテ 428 10  
 入テ 428 10  
 いるかせなり(忽) 409 ⑦  
 「忽」ナム 409 ⑦  
 いろ(色) 407 2  
 色 409 ⑩  
 いろくづ(鱗) 425 8  
 鱗ツツ 425 8  
 いろこ(袴) 411 4  
 いろはぬ 411 4  
 いさ(魚) 411 4  
 「魚」 411 4  
 いん(殷) 434 2  
 一般 420 8  
 一般 420 9  
 一般 420 10  
 一般 431 3  
 いんぎんへい(引銀瓶) 420 9

↓せいてい(いんぎんへ) 429 9  
 い 430 ④  
 う(得) ↓さそひう・と 430 ④  
 りう・まうしう・もと 430 ④  
 めう 430 ④  
 持ツ事ヲ不得 429 7  
 着ユト不得 429 7  
 得ケルソ 426 ⑧  
 得給フ 422 ⑧  
 得テ 426 ⑧  
 得マシキ 422 ⑧  
 うう(殖) 405 ③  
 被タリ殖ケルヨ 405 ③  
 殖テ 405 ③  
 うがフ(穿) 429 3  
 穿テ 429 3  
 穿ツ(連体法) 429 7  
 うかぶ(孝) 430 ④  
 孝ヘテ 430 ④

浮トシテム

445

失給

431 2

失ニケリ給

419 8

うきくも(浮雲云)

434 ④

失ヒテ

431 4

失(二)ケリ口

410 ⑩

浮雲

434 ④

失イテ

408 13 409 1 425 ⑤

うすし(薄)

424 ④

うきよ(夏世)

435 4

失テ

404 ④ 421 ⑥

〔薄〕

424 ④

ウキ世

403 ⑦

失ヒニケリ

431 6

薄クシテ

421 ⑧

うく(受)

432 7

失也

410 ⑥

うたへ歌) ↓ かみうた

429 ①

受クル

420 4

失ハ

408 12

うたがひなし(疑無)

407 ①

うけたまはる(承)

423 ②

可ニ失セ

435 6

無疑(連用法)

409 3

承リテ

405 4

可ニ失フ

414 ②

うたてし

428 6

承(二)モ(二)の結び(419)

423 ②

失ハリ

429 6

ウタテシキ

428 6

承ハル(連体法)

423 ②

失ハリシ

429 6

うたふ(歌) ↓ まひうた

429 3

承ハル也

405 4

失ハル

403 ⑥ 405 3

ひぼじむ

420 14

うし(牛)

420 14 423 6 428 8 11 12 ②

失ハ(命令法)

410 ⑧

歌ケレハ

420 ②

うしなふ(失) ↓ くらひ

405 2

失ヌ

407 ⑥ 403 ③

ウタヒナントシテ

418 ⑧

失ハヌ也

405 2

失セ

407 ⑥

うち(内)

422 10

爲(二)失(二)ハ(二)カ(二)カ(二)國(二)フ

409 9

失セニキ

403 ③

中

423 13 426 3 428 5 433 ⑥

不テ被失ハ

435 ③

失(給)サレハ

403 ③

中

403 ⑩ 406 1 ③ 407 ⑤ 422 9

失ケレハ

409 7

うち(給)サレハ

407 ⑥

うち(内)

423 13 426 3 428 5 433 ⑥

打隨ハリケリ

416 3

うちしたかふ(打隨)

415 ③

打隨ハケルニ

423 ⑩

うちしたかふ(打隨)

415 ③

打隨ハナム

408 ⑤

うちしたかふ(打隨)

415 ③

打隨テ

414 9

うちしたかふ(打隨)

415 ③

うちしたかふ(打隨)

414 9

うちしたかふ(打隨)

415 ③

打隨ハ難(連体法)

414 5

うちしたかふ(打隨)

415 ③

打隨ハリケリ

416 3

うちしたかふ(打隨)

415 ③

うちつく(打付) 423  
 打ッケラルヘシ ⑥  
 うちとく(打解) 425  
 不ト可打解<sup>トク</sup> 6  
 うちとる(打取) 418  
 打取ル、 ⑤  
 うちはなつ(打放) 430  
 打放ケレ ②  
 うちまかす(打任) 416  
 打任タル ⑥  
 428 ⑦  
 うちまゐる(打詣) 408  
 打々「詣」ラム 11  
 うつ(打) 414  
 不打ッケ 6  
 打「レ」給ケレリ 431  
 435 ④  
 打ケレハ ⑥  
 打候 406  
 ③  
 打テ 430  
 ④  
 420 ②  
 427 8  
 打ニケリ 430  
 ③  
 うつしおく(移置) 425  
 ウツシヲキテ 10  
 うつす(移)

移シ 427  
 移シテ 5  
 うつむ(埋) 430  
 埋マセ給ケリ 12  
 埋ミ 403  
 9  
 埋ミ 435  
 6  
 埋ミテ 434  
 ⑩  
 理ミナムトシテ 403  
 9  
 ラッもる(埋) 430  
 ①  
 埋レヌ  
 うてな(臺) 409  
 ⑩  
 臺ナ 409  
 ⑩  
 臺 409  
 ⑧  
 うとし(疎) 427  
 「ラニト」ニクナリニシ ⑩  
 うとむ(疎) 431  
 5  
 ウトミ  
 うながす(催) 410  
 7  
 催シテ 11  
 うばふ(奪) 422  
 1  
 奪ヒテ  
 うへ(上) ↓おむうへ

そのラヘに 406  
 上へ ⑧  
 上 405  
 ⑤  
 411 1  
 420 8  
 422 1  
 127 ①  
 ⑦  
 うま(馬) 418  
 ⑩  
 419 2  
 9 12  
 14 420  
 12  
 馬 424  
 ③  
 ④  
 ⑤  
 ⑥  
 ⑦  
 ⑧  
 ⑨  
 うまる(生) 413  
 1  
 生タル  
 うみ(海) 405  
 7  
 ②  
 ⑤  
 412 ①  
 430 12  
 海 412  
 ①  
 うむ(生) 424  
 1  
 生テ  
 生ヌル 412  
 9  
 生ム(連体法) 412  
 ⑥  
 生ヨリ 412  
 10  
 うめ(梅) 428  
 2  
 梅  
 うり(占) 420  
 6  
 占ラ  
 うりがへる(衰返)

衰ララ返ル(連体法) 427  
 ④  
 うりなひあつ(占當) 432  
 ③  
 占ナヒ當ルセ  
 うらみ(恨) 419  
 ⑥  
 恨  
 うらみおもふ(怨思) 432  
 ⑦  
 怨ミ思テ  
 うらやむ(妬) 409  
 ④  
 うラヤミ  
 うる(賣) 424  
 ③  
 ⑦  
 賣ケル  
 売(中止法) 422  
 9  
 売ケレトモ 427  
 11  
 売リテ 411  
 4  
 403 11  
 □「ラ」ル(連体法) 410  
 ①  
 買(連体法) 424  
 ⑤  
 賣ル(連体法) 423  
 3  
 賣(連体法) 423  
 1  
 うるはし(直) 414  
 ②  
 正ルハシキ(連体法)

貞(ウレ)ハシ  
直(ハシ)キ

うれふ(愁)

愁へ給

可シ愁フ

うれへ(愁)

愁へ

愁

うろ(雨露)

雨露

うろつかる(飢疲)

飢(疲)

らんらん(云々)

云々

え

えらじ(要事)

要事

えびす(戎) ↓ ことえび

すども

433 1

406 10

418 ④

418 ④

418 ④

415 4

435 13 ① ⑦ ⑧

434 ⑩

410 ④

411 ⑤ 413 ⑥ 414 ⑤ 416 ⑤

417 8 422 ① 426 ② 427 ⑦

エヒス 441 ⑤ 444 3 415 ①

戎ス 418 12 431 ②

戎 406 5 6 8 413 ⑦ 418 ⑩

狄ス ⑤ 423 ④ 425 3 3 435 ③

狄 411 ⑨ ⑩ ⑫ 416 2 4 5

蠻ス 413 7 414 1 6 6 9

蠻 413 7 414 1 6 6 9

えびすのくに(蠻國) ↓

このくに

エヒスノ國 406 1 408 ⑦

蠻スノ國 411 ③ 414 10 417 9

えびすびと(戎人) ↓

じん

戎人 425 1

胡人 419 ⑧

えむしう(鹽洲)

鹽洲(洲)

411 ⑧

鹽洲 441 ③

えむしやうぶ(鹽商婦)

鹽商婦

鹽商婦

之もの(得物)

得物 432 10

えらびぬく(揀抽)

えらびぬく(揀抽)

えらぶ(詮)

不詮ハ

不詮ハ

えんしろう(燕子楼)

燕子楼

えんのくに(燕國)

燕國

おきて(掟)

おきて(掟)

ヲキテ

おきな(翁)

翁ナ

翁 408 ④ 415 12 422 4 423 1

おきなひと(翁人)

翁人

おきのる(貫)

典(キ)ノナントシテ

おく(奥)

奥 423 11

おく(置) ↓ うつしおく

のこしおく

不リシ置

不置シテ

置セテ

被置(タ)ラハ

被置(タ)ラマシカハ

オカレテ

置キ給ケリ

置タルヲハ

置キテハ

置テ

おくる(送)

遺ラカ



おはす(御) (補助動詞)

大ナル 423 13 430 10 433 10

スへ御ハシテ 413 5

おび(帯) 415 ⑥

帯 415 ⑥

おひしげる(生繁) 415 ⑥

生ヒ繁シケリテ 430 1

おひすつ(追棄) 433 7

追ヲヒ失ステニケリ 433 7

おふ(生) 409 ①

生テ 409 ①

おふ(負) 410 ④

ヲイテ 410 ④

おふ(追) 426 ③

ヲハシテ 426 ③

追レテ 418 12

逐テ 418 ⑦

おぼ之(覺) ↓おむおぼ之

おぼかた(大方) 419 ⑦

ヲホカタ 419 ⑦

大方 405 ⑩

大方々 405 ⑩

おほきなり(大) 427 8

大ニ 427 8

思シ食ス(連体法) 416 ⑧

おほす(仰) 407 ⑥

仰セ(中止法) 407 ⑥

おぼす(思) 410 ①

思シケリ 407 ①

思様ケル 407 ③

思ヲホシテ 408 ④

思シテ 405 5 407 11 ⑦

思テ 407 ④

おほせ(仰) 417 13 ⑩

仰 417 13 ⑩

おほせくだす(仰下) 421 11

仰下ケル 421 11

おほせつく(仰付) 430 6

仰セ付ケテ 430 6

おほち(大路) 427 8

大路 427 8

おほふ(覆) 432 ⑧

可<sup>レ</sup>掩 432 ⑧

覆テ 435 2

おほやけ(公) 423 2

公ケ 423 2

公 417 ⑩

おむあはれび(御哀) 412

御哀ト 412

おむいのり(御祈) 409 ⑫ 410 3

御祈 409 ⑫ 410 3

おむうへ(御上) 423 ④

御上 423 ④

おむおぼえ(御覺) 432 ⑥

御ヲホヘ 432 ⑥

おむかへりみ(御顧) 409 ⑥

御顧<sup>カガミ</sup> 409 ⑥

おむくら(御倉) 403 8 424 ⑧

御倉 403 8 424 ⑧

おむけじき(御氣色) 409 ⑬

御氣色 409 ⑬

おむころ(御心) 408 13

御心 404 ⑦ 405 3 408 10 414 8

御意 408 13

おむこと(御事) 417 ⑤

御事 417 ⑤

おむたくはへ(御貯) 423 13

御貯 423 13

おもたの(御爲)

御夕メ 435 13

御爲 409 ⑩ ⑪

おもとき(御時)

御時キ 432 ⑥

御時 407 ⑧ 411 ⑦ 412 ⑩ 413 ⑨

414 5 ⑥ 415 ③ ⑫ 417 10 ②

420 ⑤ 421 ③ 422 5 ④ 423 3

425 2 426 ② 427 10 ⑪ 428 9

431 7 434 ⑦ 435 ④

〔御〕時

おもはは(御母) 417 3

御母 424 9

おもまつりごと(御政)

御政 403 14 412 ⑩ 413 11 428 ④ 435 ①

おもみ(御身)

御身 423 ③

おもゆめ(御夢)

御夢 403 ①

おもよろこび(御喜)

御喜ヒ 409 ⑬

おもじ(重)

重ク 425 8 429 3 431 ⑥

重ク御在ケレハ 404 2

重キ 403 ⑫

おもしろし(面白)

面白ク(連用法) 407 ⑩

おもて(面)

面 425 1

おもひ(思)

思 403 ⑪

おもひいたす(思出)

〔思〕出テ 426 7

おもひいづ(思出)

思出ラレ 426 8

おもひなずらふ(思准)

思出テ 416 ⑧

おもひ(思)

おもひ(思) ↓ うらみお 403 ⑦

も心はちおもふ 421 ⑩

不思議 416 ②

思ケル様 412 ①

〔思〕ケル様ハ 424 3

思テ 403 ⑩ 409 4 412 ③ 423 7

思詣スル 428 10 433 7 10

念イ(終止法) 422 ③

思フハ 424 11

思フ(連体法) 424 4

思ハ(連体法) 409 ①

思(連体法) 415 ⑨

おもんじをしむ(重惜) 427 ⑤ 432 ⑤ 435 8

重惜(ヲ) 416 ③

おや(祖) 403 12 ⑥ 412 11 427 9 ⑤

祖 ⑧ ⑩ 428 5

おやこ(親子) 427 ②

祖子ロ 412 ②

おゆ(老) 419 ⑦

老朽ヌルニ 419 ⑦

およぶ(及) 419 ⑦

不及カラ 423 9

不シテ及カラ 424 13

及ヒケリ 421 8

可キ及 415 1

及(連体法) 414 7

おる(織) 422 ⑤

織セ給ケリ 421 ④

織セテ 421 ④

被ル織ラ 421 ①

織リ 424 ⑦ ⑧

織リテ 421 ③ ④

可織様ヲメ 421 ④

織ル(連体法) 422 ⑨

織ル 421 ⑨

おろかなり(愚) 427 ④

愚カニ 406 ⑩

愚シテ 417 ⑤

ヲ口カ□リ 403 9

おろす(下) 403 11

下シテ

おろそかなり(疎) 403 11





書ケルナリ 421 6  
 カキタルナリ 421 2 3  
 カキタル也 416 9  
 書、タルナリ 429 11  
 書タルナリ 408 9 414 9  
 書タルナリ 422 17  
 書タル也 426 5 8  
 書(之)ル(也) 426 10  
 書テ 411 5  
 不ト可カラ書 428 5  
 不可書 428 17  
 書(連体法) 428 7 429 1  
 かく(懸) ↓ラウチかく 435 5  
 被懸タリケリ 430 11  
 懸テ 419 3 430 11  
 懸ルヲ 428 8  
 かく(樂) 404 6 406 1 3 6 6 7  
 8 413 414 5 8 10  
 415 6 12  
 かくき(樂伎) 415 7 9  
 樂伎 415 7 9

かくす(隱) 435 3  
 隱ス(連体法) 435 2  
 隠スニ 420 8  
 かくて 429 8  
 カクテ 420 8  
 かくにん(樂人) 414 7  
 樂人 406 5 5 3 10 414 7  
 かくにんども(樂人共) 414 9  
 樂人共 426 7  
 かくのごとし(如此) 420 4  
 猶シテ 415 10  
 かくはし(番) 415 10  
 香ハシキヲ 415 10  
 かくぶ(樂舞) 415 10  
 (樂)舞 415 10  
 かくる(隱) 415 10  
 藏レ 415 10  
 蔭カレ給テ 407 7  
 かウ(蔭) 427 3 435 3  
 蔭ケ 429 8  
 影 429 8  
 かける(翔) ↓とびかけ 429 8

翔カルト 405 3  
 かさなる(重) 424 6  
 重ナラハ 424 6  
 かさぬ(重) ↓つくりか 424 6  
 さぬ 424 6  
 かさぬ(重) ↓ひとかさ 424 6  
 ぬ 424 6  
 かしこ(彼處) 408 11  
 彼ユ 408 11  
 かしこし(賢) 419 5  
 賢コキ 404 4  
 賢コ、 419 5  
 賢キ 434 7  
 賢ハ、 434 7  
 賢(數) 419 10 434 10  
 數ス 419 10 434 10  
 數 419 10 434 10  
 かせ(風) 407 2 416 6 421 7 428 7  
 風 407 2 416 6 421 7 428 7  
 かた(方) 411 1 426 3  
 カタ 411 1 426 3

カタ 411 1 426 3  
 かたなる(象) 423 12 425 9  
 相 423 12 425 9  
 形 424 8 425 3  
 形 407 2 417 5 6 419 2  
 カタチ 425 1  
 かたち(形) 425 1  
 まちみがたし 425 1  
 たし、はかりがたし、 425 1  
 かし(難) ↓ラウチした 426 4  
 かへがたし、きほひが 426 4  
 たし、しのびがたし、 426 4  
 しりがたし、つうじが 426 4  
 河内 410 10  
 かたし(園) 410 10  
 難ク 410 10  
 カタナ(刀) 430 11  
 カタトリ 430 11

刀 430 8

かたはら(傍)

傍ラ 417 ⑧ 432 6

傍 413 5 430 ⑩ 433 12

かたぶく(傾)

可傾一事 407 2

かたまし(軒)

カタマシキ 435 9

かたむ(固)

[固]カクモ [固]カクモ [固]カクモ 418 ①

かたむず(固)

固ラ 411 ⑩

かつら(桂)

桂 427 1

かこり(縁)

縁トリ 424 ④

かなし(哀)

縁リ 422 ⑩ 424 ⑤

哀(連体法)

かなしび(哀) ↓おむか 403 ⑤

なしび

哀上 416 8

かなしぶ(哀) ↓なきか

なしぶ

哀フ(連体法) 418 ⑤ 425 10

哀シフニ 415 6

かなしむ(哀) ↓なきか

なしむ

哀ミケリ 434 ⑦

哀候ケルヲハ 403 11

哀ミタル 429 ⑧ 435 9

悲タルセ 432 ②

哀ナシムテ 408 ③

かなふ(叶)

不極 405 ④

不叶シテ 405 ④

叶ハヌ 409 ⑧

叶マシキ 405 ②

かなむ(河南)

河南 410 8 9 11

かならず(心)

心ス 403 ④ 405 ⑧ 410 ⑬

かぬ(兼) ↓そしりかぬ

かぬ(鐘)

鐘 435 3

かの(彼)

彼ノ 411 1 5 9 412 5 5

彼ノ 413 10 416 ⑦ 418 ② ⑧

彼ノ 420 1 422 2 425 ① 428 9

彼ノ 430 ① 434 ② 435 ⑥

彼ノ 404 ⑤ 421 ② 424 10 428 ⑤

皮ハ 414 4

皮 445 ⑤ ⑥ 420 7

かは(河)

河 409 1 1 ⑦ 429 7

かはね(骸)

骸ハネ 403 8

かはる(變)

變(変) 419 11

かひこ(買) ↓おさへがひ

かひこ(卵)

卵 433 ⑩

かひつく(飼付)

飼付ハ 412 ⑨

かひなし(甲斐無)

無甲斐 431 ④

無甲斐 411 ⑬

無甲斐 418 ④

かひなつく(飼懐)

飼ケツ 413 3

かひもとむ(買求)

買求メナントシテ 412 10

かひ(易)

易ケレハ 410 ①

カフル 431 ⑤

かふ(買)

買セ給ラ 424 ⑧

買ケル 423 6

買ケル 424 ③

買ケルニ 424 ④

買ケレハ 424 ⑤

買ナントシテ 410 ②

可ト買 423 ②

買(連体法) 424 ⑧



鳥 433 ⑥ 434 7

からもも (杏子) 427 1

カラモ、 433 8

かり (狩) 411 4

狩 433 8

かる (苧) 411 4

苧リテ 411 4

かる (枯) ↓きばみかる 408 ⑧

かれ (彼) 408 ⑧

彼 408 ⑧

かる (ろし) (輕々) 406 9 407 ⑩

輕々シキ 406 9 407 ⑩

かん (苮漢) 430 ⑩

潤底松 419 ④

かんていのまつ (潤底松) 419 ④

潤底ノ松 419 ④

き (木) ↓くさき・小し 423 3 435 ⑦ ⑧

水 423 3 435 ⑦ ⑧

き (黄) 423 4

黄 423 4

きう (九) 403 2

九 403 2

きうぐう (舊宮) 407 ⑤

舊宮 407 ⑤

きうせんり (九千里) 430 6

九千里 430 6

菊 426 6

きく (聞) 415 12

聞カヨリノ 415 12

きく (侍ヘシト) 426 4

キ、侍ヘシト 426 4

聞ク (連体法) 419 8

聞モ 407 3

きこしめす (聞召) 435 ⑥

聞召ケリ 435 ⑥

聞召テ 422 11

きこゆ (聞) 411 ⑧

キコヘケレハ 411 ⑧

姫 425 ④ ⑤ 431 2

きたる (北) 411 ③ ⑤

きたる (來) ↓おとろへ 411 ③ ⑤

きたる・とびきたる 415 8

きたる (來) ↓おとろへ 415 8

きたる (來) ↓おとろへ 415 8

きたる (來) ↓おとろへ 415 8

きたる (來) ↓おとろへ 415 8

きたる (來) ↓おとろへ 415 8

きたる (來) ↓おとろへ 415 8

きたる (來) ↓おとろへ 415 8

きたる (來) ↓おとろへ 415 8

きたる (來) ↓おとろへ 415 8

「姫」 432 ⑥

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 429 7

岸 42



くさき(草木)

草木 435 1 4

くさし(臭)

臭ク 御坐スカ 432 ⑦

くさわけ(草別)

草別ワケ 418 4

ぐす(具)

具シテ 413 4 444 ② ⑦ 415 ⑤

具テ 433 3 5 44 ①

くすり(薬)

薬 405 ③

くだく(推)

碎給 425 ②

推ク(連体法) 409 12 ⑦

推カ故ニ 409 11

くだす(下) ↓おほせく

たす 412 ⑤

下サレケリ 412 ⑤

下サレケレトモ 412 11

下シテ 422 ⑤

下シテ 424 ⑦

くだる(下)

下リテ 412 5

くつ(履)

鳥 415 ⑦

くつ(朽)

朽ヌルニ 419 ①

くつがへす(覆)

覆カ(シ)テ 433 ⑩

覆カ(ス) 409 12

覆ス(連体法) 409 ⑦

くに(國) ↓えびすのく

に・えんのくに・この 409 ⑦

くに・ずいのくに 433 ⑤ ⑪ 434 3 4

くに 433 ⑤ ⑪ 434 3 4

國ニ 419 8

國 404 5 ③ ⑧ 405 3 ⑫ ⑬

406 3 ① ④ ⑪ 407 2 2

408 ⑥ ⑥ 409 6 6 410 4

10 10 ⑤ ⑤ 411 1 1

10 10 ⑤ ⑤ 411 1 1

415 6 ① 417 1 9 418 ⑤

8 10 11 13 ① ⑥ 417 7

9 11 14 ① 420 ② 421 8 ②

② ③ 422 1 8 ② 423 ⑩

425 5 ⑫ ⑬ 429 3 4 6

④ ⑧ ⑧ 430 2 431 ⑥ ⑨

432 2 4 7 9 433 ⑧ 434 7

⑥ 435 5 6 ④ ⑩

くにぐに(國々)

國國 421 10

國々 408 10 ⑩ 410 11 421 11

422 ④ 423 ⑥ 424 ④ ⑧

くにぢう(國中)

國中 435 12

くは(桑)

桑 422 9 423 10 426 ⑫

くは(桑子)

桑子 421 9

くは(加)

加ハ(リ)テ 428 2

くは(加)

加ハ(ケ)レハ 406 6

加ラ(レ)スハ 411 ①

416 5

428 11

423 6 428 ② 433 5 10 13

420 7

416 5

420 7

420 7

416 5

420 7

420 7

420 7

420 7

420 7

420 7

420 7

420 7

420 7

420 7

420 7

420 7

420 7

420 7

420 7

420 7

420 10 424 11 12 429 4  
 6 ⑦ 430 ① ② ⑤  
 くるし(苦) 425 ⑥  
 苦シキ  
 くるま(車) ↓ちから  
 くるま  
 車マ 421 1  
 車 409 11 12 ⑦ 419 2  
 428 8 10  
 くれなゐ(紅)  
 紅 421 ①  
 くらがね(鐵)  
 鐵 430 6 ⑤  
 くろし(黒)  
 黒キ 432 1  
 くわいわう(懷王)  
 懷王 432 ⑥  
 くわうごう(皇后) ↓  
 けんけんくわうごう  
 くわうちう(蝗虫)  
 蝗虫 410 7 10 11 13 ①  
 ① ② ⑤ ⑥ ⑩ ⑪

⑫  
 [蝗「虫」]  
 くわうてい(皇帝) ↓け  
 410 9  
 んそうくわうてい・が  
 んそうくわうてい・た  
 いそうくわうてい・と  
 くそうくわうてい  
 くわけん(花原)  
 花原 406 ③ ⑦  
 くわけんけい(花原馨)  
 花原馨 406 ③ ⑤  
 くわさ(過差)  
 過差 426 ②  
 寛差 422 ①  
 過差  
 くわさなり(過差)  
 過差ナル 426 ④  
 くわん(官)  
 官 420 6  
 官官  
 官官  
 くわんぎう(官牛)  
 官牛 428 8  
 官牛  
 官牛 428 8  
 くわんかん(管絃)  
 管絃 428 8

管絃 429 11  
 くわんごう(桓公)  
 桓公 420 14  
 くわんぎよ(卍女)  
 卍女 405 ⑦ ⑨  
 卍女  
 くんごう(勲功)  
 勲功 414 ③  
 勲功  
 勲功  
 け  
 け(卦)  
 け(下)  
 下  
 けい(磬)  
 磬 406 ② ③ ⑤ ④  
 がいしやうらい(霓裳羽衣)  
 霓「裳」羽衣 408 3  
 けがる(械)  
 械レム 428 10

械レテ 422 ⑧  
 けしき(氣色) ↓おむけし  
 き  
 氣色 409 ⑧ 416 2 433 4 13  
 けす(消)  
 消シ  
 けだもの(獸)  
 畜「物」  
 けつこうす(結構)  
 結構セサスル 432 10  
 けつしよく(月蝕)  
 月蝕 432 ②  
 けつせき(碣石)  
 「碣」石 409 11  
 けづる(削)  
 けはし(嶮)  
 けはし  
 けハシ  
 「ケ」「ハ」シキ  
 け心(今日)  
 今日 403 ④ 409 ⑤  
 けもの(獸)  
 けもの(獸)

ケモノ 412 ④

けん (賢)

420 5 6 12

けん (絃)

絃 413 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

けんけんくわうてい (元憲皇后)

407 9

けんこ (諫鼓)

435 ⑤

けんじん (賢人)

賢人 417 11 419 ⑧ 420 2 431 2

けんじんども (賢人共)

賢人トモ 407 1

けんそう (憲宗)

憲宗 403 2 416 ④ 420 ⑤

けんそう (玄宗)

玄宗 403 2 406 4 ④ 425 ④

けんそうくわうてい (憲宗皇帝)

404 6

けんそうくわうてい (憲宗皇帝)

404 6

憲宗皇帝 416 ⑦ 420 ⑤

424 ② ⑦

けんそうくわうてい (玄宗皇帝)

玄宗皇帝 406 2 407 6 8

⑪ 408 1 ⑤ ⑨ 410 8

418 9

玄口口口 406 ⑦

げんてい (元帝)

元帝 410 2

けんなり (賢)

賢ナラム 427 9

賢ナル 420 14 ②

けんナレトモ

賢ナレトモ 434 ⑧

けんわう (賢王)

賢王 415 8 419 9 424 ⑦

賢王 415 9

こ

こ (子) ↓ おむこ・おや

こ・みこ・やしなひこ

子 403 11 404 ⑥ 412 9 9

10 10 11 414 ⑦ 415 ③ 422 9

424 1 5 5 427 6 7 7

429 ⑤ 432 ⑫ 433 1

こう (功)

功 414 ③

こうし (公私)

公私 420 ⑥

こうせんたむ (紅線毯)

紅線毯 421 ④

紅線毯 421 ①

こうど (后土)

后土 406 3

こうまご (子孫)

子孫 412 ⑤

こうろう (紅樓)

紅樓 423 ⑩

かがす (焦)

焦 (中止法) 423 12

かがね (金)

金 403 9 11 413 4 417 11

421 7 422 ⑦ 426 ④ 427 3

三三

429 8 434 ③

ごきょうさん (呉興山)

呉興山 411 6

ごく (獄)

獄 403 ⑬ 404 1

こくたむりよう (黒潭龍)

黒潭龍 431 ⑧

こくわう (國王)

國王 405 3

ごげん (五絃)

五絃 413 ①

ごげんだん (五絃彈)

五絃彈 413 ①

ごご (此處)

五絃彈 413 ⑤ ⑥ ⑧ ⑨

ごご (此處)

斯 411 10

ごご (爰)

爰 = 408 ⑦

ごころ (心) ↓ おむこ

ろふたごころ 40 1





③ 424 4 5 7 ⑤ 425 3  
 ② ⑥ ⑧ ⑨ ⑩  
 426 5 8 ② ⑭ ⑮ 427 7  
 ① ③ ④ ⑦ ⑧ 428 4 6  
 7 10 11 ① ⑤ ⑦ ⑩  
 429 1 4 5 6 11 11 ③  
 ⑧ ⑨ 430 3 4 5 ⑥  
 431 2 8 9 10 11 12  
 ① ⑥ 432 3 4 7 8 10  
 11 ① ② ③ ④ ⑤  
 433 3 10 11 ② ⑥ 434 2  
 3 8 9 9 11 11 12  
 ⑤ ⑥ ⑧ ⑨ ⑪ 435 8 9  
 11 11 12 14 ⑤ ⑩ ⑪ ⑫

(事)  
 (琴) ↓しちのこ  
 406 7 413 ③ ⑤  
 (母) ↓としごと・  
 なつごと・みかどごと  
 ・よごと  
 ことえびす (異狄)  
 殊ト狄 416 8

ことえびすども (異狄共)  
 殊ト狄ス共 416 6  
 ことごと ↓ことえびす  
 ことごとく (悉)  
 悉ク 403 ⑭ 419 5 422 11 430 ⑥  
 419 13  
 ① 悉  
 (悉) ① 口 口  
 (悉) ① 口 口  
 (ことごとく) (故)  
 故サラ 403 ⑤  
 ことし (今年)  
 今年ハシ 427 5  
 今年 403 ⑬ 410 ⑦  
 ことども (事共)  
 事共 430 2 435 8  
 事ハ共 406 ③  
 ことなる (異)  
 殊 (連体法) 415 ①  
 ことに (殊)  
 殊ニ 408 2 409 ⑤ 412 ③ 418 13  
 殊ニ 415 ⑧ 419 ②

殊ニ 415 3  
 ことのほかに (事外)  
 事ノ外カニ 419 1  
 ことば (言) ↓みことば  
 言ハ 417 ⑦  
 言 423 ②  
 語ハ 434 6  
 語 427 ④  
 ことひと (異人)  
 殊ト人 427 6  
 居ト人 427 10  
 ことども (子共)  
 子共 413 5 7 414 1 6 ②  
 415 ⑤ 424 3 427 ⑩  
 ことわざ (事態)  
 事態 (能) 404 ②  
 ことわり (理)  
 コトハリ 426 ③  
 事ハリ 408 11  
 理ハリ 419 7  
 この (此)  
 コノ 407 ③ 413 6 422 ⑥

此  
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿  
 409 1 8 12 ⑨ 410 4 4  
 ① 407 6 10 ⑪ 408 ⑤ ⑧  
 ⑩ 405 5 ⑬ 406 2 ④ ④ ⑧  
 403 5 6 ① 404 5 ③ ⑦  
 435 3 ⑥ ⑧  
 428 ⑥ 430 8 432 3 7  
 424 1 3 425 4 4 12  
 408 ⑬ 413 7 421 ⑤ ⑩  
 433 ① 435 ⑤ 434 3 5 10  
 此ノ  
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① 433 2 434 ④ 435 9 12 14  
 432 2 3 5 10 ② ④  
 430 2 3 4 2 8 ②

斯 斯 斯 斯  
 405 8 403 7 413 8

このくに (胡國) ↓ えび  
 404 7 415 ⑨ 416 1

胡 國 3 6 7  
 406 ⑪

胡國 415 ① ② ④ ④ ⑤  
 407 ⑪

このむ (好)  
 好ミ 給シテ  
 不可 (好) 給  
 好テ 431 ⑩  
 408 2

このゆゑに (此故)  
 此ノ故ニ 428 3  
 408 2

こびす (戀)  
 戀シケル 416 6

こふ (戀)

戀ル (連体法) 416 8  
 こふ (請) 432 4  
 請ヘン  
 こほ (菰蒲) 411 4  
 薦蒲  
 こほり (永) 413 6  
 氷  
 こま (駒) 419 14  
 駒  
 こまご (子孫) 427 7  
 子孫  
 子孫 412 ⑤  
 子孫 412 ⑤  
 子孫 412 ⑤  
 こまやかなり (濃) 426 ⑤  
 コマヤカニ (シテ)  
 こむ (込) ↓ あさへこむ 426 ⑤  
 不ハス 込  
 被込 (タリ) 426 2  
 被込 (有ル) 425 ②  
 被込 426 ①  
 被込 407 5  
 龍 (龍) タル (テ) リ 413 13

込メテ 407 ⑤  
 込テ 426 9 430 12  
 こもりみる (込居) 403 ⑩  
 込モリ居テ 434 1  
 込居テ 421 9  
 こもる (込) ↓ いりこも  
 る  
 込モリ (中止法) 428 10  
 こもん (五門) 421 9  
 五門  
 こやうこうしゆ (湖陽公室) 424 9 11  
 湖陽公室  
 こゆ (超) 422 3  
 超テ  
 ごよう (御用) 423 ⑤  
 御用  
 ごらむす (御覽) 420 7  
 御覽シテ 420 ①  
 御覽シテ 403 ②  
 御覽スル (連体法) 407 ③  
 これ (此) 435 1  
 コレ

ハコ)レ 427 5  
 これ 433 ⑩ 434 3  
 此レ 420 ⑦ 422 ⑥ 426 6  
 此 403 ⑪ 407 ③ ⑩ 408 4  
 6 13 ② ② ⑧ 412 3  
 413 7 ⑥ 414 7 416 9  
 420 ⑧ 421 6 ⑨ 422 11  
 423 5 424 ⑤ 425 ③ 426 3  
 427 ⑦ 429 9 ⑦ 430 9 431 13  
 ② ⑤ 432 9 433 14 434 2 ①  
 406 4 410 ⑦ 413 12 13  
 是  
 これら (此等) 405 ⑦ 408 ① 420 4  
 此等  
 ころ (比) ↓ さきつころ 405 ⑦ 408 ① 420 4  
 としころ なごころ 425 4  
 比 ヌロ  
 比六 408 2  
 比 403 ④  
 ころす (殺) 435 ③  
 被殺  
 殺シテ 432 4  
 殺テ 433 13

ころも(衣) 422 1 423 5 7 424 3

衣 422 1 423 5 7 424 3

ころ(聲) ↓ひとこえ 423 5 10 13

コエ 429 ①

音ハ 406 8 ① 446 4

〔音〕ハ 407 2 446 2

聲 407 2 446 2

ごをん(御恩) 441 ⑬

御恩 441 ⑬

ごをえち(御恩知) 424 6

御恩知 424 6

こんめいこく(昆明國) 441 1 1

昆明國 441 1 1

こんめいしゆんすいばむ (昆明春水滿) 441 1

昆明春水滿 441 1

こんめいち(昆明池) 411 3

昆明池 411 3

さい(接頭辭) ↓たかさ 413 6

ひろさ 413 6

さ(然) 413 6

サ 408 ①

左サ 419 ④

さい(犀) 412 ⑩ 413 3 10

犀 412 ⑩ 413 3 10

〔犀〕 413 12

さいかく(才學) 424 11

才學 424 11

さいし(妻子) 446 7

妻子 446 7

さいしくわん(採詩官) 435 8 10 ⑩

採詩官 435 8 10 ⑩

さいしども(妻子共) 415 ④

妻子共 415 ④

さいども(犀共) 413 6

犀トモ 413 6

さいはひ(幸) 426 ⑧

幸 426 ⑧

さいみやうじ(西明寺) 432 7

西明寺 432 7

西明寺 441 3 4

さいりよく(敗力) 416 ③

敗力 416 ③

さうばうばう(草茫々) 430 1 1

草茫々 430 1 1

さかえ(榮) 420 2

榮へ 420 2

さがし(嚴) 411 ⑤

嚴 411 ⑤

サカシク 409 12

嚴サカシク 409 12

さかひ(境) 410 ⑩

サカヒ 410 ⑩

境 410 ⑩

境ト 424 ①

境 424 ①

さかゆ(榮) 424 4

榮 424 4

サカへ(中止法) 406 6

榮へ(中止法) 406 6

榮(連用法) 432 2

榮(連用法) 432 2

榮へ(連用法) 432 7

榮へ(連用法) 432 7

榮へテ 424 4 7

榮 434 ⑤

さかり(盛) 428 2 3

盛り 428 2 3

さき(前) 405 ① 409 3 412 ⑩ 413 8

前 405 ① 409 3 412 ⑩ 413 8

さきだつ(前立) 419 14

前立(テ) 419 14

さきつころ(昔) 414 8

昔 414 8

さく(咲) 421 9

開サク(連体法) 421 9

開ヨリ 421 7

さぐ(下) ↓つかみさぐ 410 ⑥

さくもつ(作物) 410 ⑥

作物 410 ⑥

さけ(酒) 432 5 5

酒 432 5 5

さしづす(指圖) 411 ⑧

指圖シテ 411 ⑧

さしも 426 ④ 428 12

サシモ 426 ④ 428 12

サシモ 426 ④ 428 12

サシモ 426 ④ 428 12

〔サシ〕

さす(刺) 433 10  
 サムム 433 10  
 さす(鎖) 430 8  
 サ、サリケレトモ 430 8  
 さす(坐) 424 2  
 坐ケリ 424 2  
 させる(然) (連体詞) 44 3  
 指セル 44 3  
 指(セル) 413 8  
 さそひう(誘得) 414 11  
 サソイエス(シテ) 414 11  
 さそふ(誘) 414 7  
 サソイテ 414 7  
 將サクイテ 414 8  
 さつかいす(殺害) 431 5  
 殺害シ給ヒケリ 431 5  
 さて 404 1 404 4  
 サテ 404 1 404 4  
 さと(里) 412 9 426 9 430 9  
 里 412 9 426 9 430 9  
 さながら 404 1  
 サナカウ 404 1

さぬへ(早苗) 424 9  
 サナヘ 424 9  
 五苗 424 9  
 さのみ 410 4 413 8  
 サノミ 405 1 410 4 413 8  
 さばく(駱駝) 418 6 435 11  
 サバク(連体法) 431 10  
 サハク(連体法) 431 10  
 さびはつ(寂果) 419 7  
 サビハテニケリ 419 7  
 さぶらふ(候) (動詞) 411 7  
 候ハス 411 7  
 候ケルヲ 403 9 403 13  
 候ケルヲモ 403 9 403 13  
 候シ 413 3  
 候ヲ 403 4 406 8  
 候ニケリ 407 5  
 候(終止法) 410 10 411 7  
 候(連体法) 413 5 413 5  
 候ナリ 406 3  
 候ナル 411 3  
 候ヲ 403 3 411 3

さぶらふ(候) (補助動詞) 414 2  
 昇シテ語りテ候ハ、 414 2  
 軍ヲ給候ハ、 408 6  
 食シク候ハム 415 10  
 ハ、ヲトヘ 415 10  
 ヲトヘ來候はむにハ 413 6  
 死候キ 413 11  
 被成候ハ、 413 4  
 タヒ候ケリ 403 10  
 返夕ヒ候ケリ 403 12  
 不止候ケリ 403 6  
 被用候ケリ 406 7  
 奏シ(候)ケリ 414 8  
 語りテ候イケル 414 5  
 背キ候ケル 403 7  
 出キテ候ケル 404 7  
 詠リ候ケル 406 9  
 鬼候ケル 407 3  
 被作ラ候ケル 416 5  
 申候ル 415 3  
 返語りテ候ケル 404 3  
 諍候ケル 419 10

散テ候ケルヲ 403 8  
 用ラレ候ケルヲ 406 6  
 作リテ候ケルヲ 434 10  
 カサミ 403 11  
 衰候ケルヲハ 403 11  
 治テ候ケレハ 403 14  
 秋ニ成候ケレハ 404 1  
 ナラヒニテ候ケレハ 412 9  
 取候しに 433 11  
 被テ作一候シヲ 406 3  
 語りテ候シヲ 414 1  
 マカリ候ナム 403 2  
 病ニ臥候ニケリ 403 1  
 返リ入候ニケリ 404 2  
 乱候ケリ 406 1  
 癡タレ候ニケレハ 406 6  
 打隨テ候コト 414 10  
 泣衣ヒ給ケルニ候。 403 4  
 逐サセムカ爲也ケルニ候。 403 12  
 返語りテ候ケルニ候 404 3  
 様タメシ有專ニ候 406 8

誇リ候ナルニ候 407 4  
 ヤサシク候 409 ③  
 不可成候 411 ①  
 哭候 412 11  
 常事ニ候 413 9  
 五絃彈ト申テ候 413 ⑤  
 セサヒ給事ニ候 414 4  
 打隨ハ難事ニ候 414 5  
 具テ詣リ候 414 ①  
 申越候 414 ⑪  
 作テ候 416 ③  
 滅シ候 419 11  
 積ル事ニ候 423 ④  
 誹候ナルニ候 407 3  
 恩テ候ヘシ 403 ⑩  
 可申候 423 ④  
 埋ミナムトシテ候者 403 10  
 出キテ候樂 406 1  
 打候者 406 ③  
 將サクイテ候故也 414 8  
 誇リテ候ナリ 409 ⑩

タトヘテ候ナリ 433 ④  
 たどめて候ナリ 434 1  
 申候也 403 4  
 ホメテ候也 403 6  
 日テ候也 403 ⑤  
 誇リテ候也 404 ⑤  
 ⑤ 410 9 411 ⑤ 414 ⑥ 418 ①  
 讚マイラセテ候也 404 ⑧  
 誇リテ候也 405 ①  
 讚テ候也 407 8 417 1  
 下申候也 409 ①  
 煩ス事ニ候也 410 ④  
 書テ候也 411 5  
 生テ候也 413 10  
 誹語ラセ候也 413 12  
 誇リ候也 413 ③  
 被書候也 413 ⑥  
 惡ク「ハミ」テ候也 414 ④  
 可事ニ然ル候也 414 ⑩  
 被書候也 415 ⑬  
 美テ候也 416 ④  
 美メテ候也 424 ②

美「ハメ」候也 425 2  
 見ル事ニテ候也 425 ①  
 被テ棄候也 433 12  
 ト申候ハ 403 13  
 被用是ラ事「三」候テ 406 4  
 詣セ候ヘハ 412 10  
 開サクコトニテ候ヘハ 421 10  
 焚タキ候ヘハ 425 12  
 競ヘヒ難キ事ニテ「候」 410 ③  
 さへづる「嘯」 410 ③  
 嘯リ「中止法」 414 6  
 さほき「坐部伎」 414 6  
 坐部伎 406 3  
 坐部「伎」 406 5  
 さまざま「様々」 406 5  
 様々 403 10 411 ④ 411 11  
 さまよふ「彷徨」 430 ④ 432 10  
 サマヨヒケル 433 8  
 さむげん「讒言」 433 8

讒言 425 ⑨ ⑩ 431 2 4  
 さむさ「寒」 431 2 4  
 寒 433 2  
 さむし「寒」 433 2  
 寒キ 421 ⑩  
 寒「連体法」 413 2  
 さむじふごにん「三十五人」 413 2  
 人 413 2  
 三十五人 414 ⑦  
 さむじやく「三尺」 414 ⑦  
 三尺 412 6  
 さむじやくしすん「三尺四寸」 412 6  
 四寸 412 6  
 三尺四寸 412 3 12  
 さむせん「三千」 412 3 12  
 三千 403 ①  
 さむせんにん「三千人」 403 ①  
 三千人 405 ④  
 さむせんよにん「三千餘人」 405 ④  
 人 405 ④  
 三千餘人 403 ⑩  
 さむせんり「三千里」 403 ⑩

三千里 411  
 きむだいの(三代) 407  
 三代 426  
 きむぢう(三重) 430  
 三重 430  
 さむにん(三人) 409  
 三人 409  
 さむねん(三年) 426  
 三年 426  
 さむびやく(三百) 410  
 三百 410  
 さむびやくきうじふにん(三百九十人) 403  
 三百九十人 403  
 さむびやくり(三百里) 430  
 三百里 430  
 さも 411  
 サモ 411  
 さくらに(更) 411  
 更= 411  
 416 5 419 5 432 7 8  
 403 ⑥ 410 ④ 411 ④  
 434 1

さりけるほどに(然) 408  
 サリケル程ニ 408  
 さりけれども(然) 419  
 サリケレトモ 419  
 さりければ(然) 431  
 サリケレハ 431  
 さる(去) ↓ なげさる 410  
 去テ 410  
 さりぬ 433  
 去ヌル 425  
 されば(然) 425  
 サレハ 410  
 ④ 420 13 422 2 424 6  
 425 ⑤ 427 10 428 4 430 ⑪  
 435 ②  
 434 ⑥  
 414 ⑪  
 411 ⑩  
 417 7 419 11  
 410 ⑩  
 433 ⑪  
 425 12  
 410 ⑩  
 431 ④  
 410 ⑩  
 433 ⑪  
 425 12

詩 435  
 しう(周) 410  
 周 418  
 ④ 425 ③ 431 7 433 8 435 ② 419 2 420 5  
 しえい(子嬰) 430  
 子嬰 ② ③  
 しかう(四皓) 410  
 四皓 410  
 しがう(紫毫) 428  
 紫毫 ①  
 しがうひつ(紫毫筆) 428  
 紫毫筆 ④  
 しかしながら(併) 419  
 併ヲ ③  
 しかり(然) 414  
 可然カル ⑩  
 可然ル ⑧  
 407 11 411 2 415 1  
 しかるに(而) 418  
 而ルニ ⑧ 420 10  
 432 8

然ルニ 422  
 然ルニ 421  
 然 415  
 しかるを(而) 432  
 而ヲ ④ 409 ③ 414 5 415 10 432 9  
 而(可) 414  
 しかれども(然) 408  
 然トモ 9  
 しき(四季) 432  
 四季 5  
 しきりに(類) 424  
 類リニ ⑥ 410 2 422 9  
 類リニ 410  
 類リニ 422  
 し(如) 425  
 不如 ⑦ 430 ⑩  
 不如(方) 425  
 始皇 420  
 し(始皇) 430  
 始皇 ② 405 8 420 2 430 1  
 3 4 13 ④  
 しげる(繁) ↓ おひしげ  
 る

しし(師子)

師子 418 8 13 ② ⑧

しじふねん(四十年)

四十年 415 ④

しじふろくにち(四十六日)

四十六日 430 ③

ししむら(肉)

肉 432 6

じしゃく(磁石)

磁石 430 7

じす(辭)

辭シ(中止法) 419 ⑥

じせいしゃう(時勢粒)

時勢粒 425 1

しそん(子孫)

したがふ(隨) ④ 四段

從(ハカレテ)

隨イテ

隨テ 426 ② ⑨

隨(連体法) 415 3 419 13

したがふ(隨) ④ 下ニ段

しうちしたかふ(うち)

したがへかたし

隨(ハ)給

隨テ 430 4 5

隨(連体法)

したく(支度)

支度 430 9

したし(親)

親シキ 428 1

しち(七)

七 403 2 3

しち(琵琶)

しちとくのまひ(七徳舞)

七徳ノ之舞 403 3

七徳舞 403 3

しちのこと(琵琶)

瑟ノ琴 413 ⑩ ⑥

瑟琴 413 ⑦

しちべう(七廟)

七廟 419 6

しづかなり(靜)

靜ナリケルヲ

靜ナル 404 6

靜ナルヘキ 418 ⑥

しづまる(靜)

靜ツマテ 404 4

しづむ(沉)

沉テ 425 2

しまんだい(司天臺)

司天臺 407 10

しとね(茵)

シトネ 409 ⑧ 410 5

しぬ(死)

死ナム 409 3 413 7 430 3

死ニケレハ

死ケレハ 430 13

死ケレハ

死候キ 409 5 413 7

死タラム

死タラム 413 11 413 7

死タルム

しのぐ(陵)

シノカンカ 408 ④

しのびがたし(忍難)

難コトヲ 忍ビ 432 ⑩

しほう(四方)

四方 414 3 417 4 425 3 3 5

しばう(子房)

子房 420 1

しばりく(暫)

暫ク 416 ⑫ 425 ③

しぼる(縛)

しぼる(縛) 416 ⑫ 425 ③

しひん(四濱)

四濱 496 ⑤

じふ(十)

じふいち(十一)

十一 403 2

しふじつ(終日)

終日 403 2

じふちやう(十丈)

十丈 421 2

じふぢやうあまり(十丈)

十丈 409 ⑩



餘) 十文餘 421 ③  
 じふにん(十人) 409 1 421 ⑤  
 十人 409 1 421 ⑤  
 じふまんき(十萬騎) 418 ⑦  
 十萬騎 418 ⑦  
 じふろく(十六) 407 5  
 十六 407 5  
 しへたぐ(空冠) 418 ⑤  
 シエタケラレテ 435 ⑩  
 空冠タケ 435 ⑩  
 しえたけけるに 433 ⑪  
 シエタクル 422 ② 434 7  
 しえたくる 433 ⑤  
 シエクル 435 9  
 空冠 435 9  
 じへん(時變) 40 2  
 時變 40 2  
 しほ(鹽) 426 ① ⑦ ⑨  
 鹽 426 ① ⑦ ⑨  
 しほむ(萼) 421 6  
 萼(未然形) 421 6  
 しみづ(清水) 421 6

しみづ ④34 ⑬  
 じむかぶきん(尋問勤) 414 5  
 尋問勤 414 5  
 しんざん(深山) 419 ⑤  
 深山 419 ⑤  
 しむしやう(參商) 409 ③  
 參商 409 ③  
 しも(下) 434 12  
 しも 434 12  
 しも(霜) 435 13  
 霜 435 13  
 じやう(止) 403 4 ①  
 上 403 4 ①  
 じやうえむしう(城鹽洲) 411 ③ ②  
 城鹽洲 411 ③ ②  
 じやうぐわち(正月) 415 ⑥  
 正月 415 ⑥  
 しやうぐん(將軍) ↓だ  
 しやうぐん(將軍) ↓だ  
 いしやうぐん(ほうし)  
 しやうぐん(ほうし)  
 やうぐん(りしやうぐ)

ん(りよしやうぐん) 411 ③ ④ ⑧ ① ⑬ ④4 2  
 將軍 411 ③ ④ ⑧ ① ⑬ ④4 2  
 2 6 8 9 416 1 3  
 418 9 11 12 13 ① ⑤  
 424 1 ③ ⑤ 431 ③  
 しやうぐんども(將軍共) 425 6  
 將軍トモ 425 6  
 しやうざん(嶺山) 419 ⑩ 420 3 4  
 嶺山 419 ⑩ 420 3 4  
 じやうざん(常山) 409 11 11  
 常山 409 11 11  
 しやうしよかう(尙書號) 407 ①  
 尙書號 407 ①  
 しやうぞく(裝束) 415 ⑦ 422 ⑤ ⑦  
 裝束 415 ⑦ 422 ⑤ ⑦  
 じやうやうきう(上陽宮) 407 ④  
 上陽宮 407 ④  
 じやうやうはくはつ(上陽白髮) 407 5  
 上陽白髮 407 5  
 じやうやうはくはつじん

(上陽白髮人) 407 5  
 上陽白髮人 407 5  
 じやうりんるん(上林苑) 410 ⑤ 413 3  
 上林苑 410 ⑤ 413 3  
 しやぜん(社前) 432 5  
 社前 432 5  
 しやとう(社頭) 419 6  
 社頭 419 6  
 しゆうじつ(終日) ↓し  
 じゆうじつ(終日) ↓し  
 ふじつ  
 しゆくそう(肅宗) 403 2  
 肅宗 403 2  
 じゆんさい(馴犀) 412 ①  
 馴犀 412 ①  
 じゆんさい(馴犀) 412 ①  
 馴犀 412 ①  
 しゆんどうこう(春秋後語) 433 ①  
 春秋後語 433 ①  
 春秋後語 433 ①  
 じゆんさい(馴犀) 412 ①  
 馴犀 412 ①  
 しよくさん(蜀山) 407 1  
 蜀山 407 1

しよくと(蜀都)

蜀都

421 ㉓

しよしやうぐん

諸將軍

411

しよたう(所當)

所當

422 10

じよなんた(舒難陀)

舒難陀

44 ㉑ ㉒

じよぶく(徐福)

徐福

405 ㉔

しらく(白)

白ケテ

421 13

しらけ(白毛)

白毛

407 5

しらす(知)

不知

415 ㉕

不知

不知シテ

427 ㉖

知らセ給ハサリケレハ

知セ給はず

434 4

しうべ(調)

調へ

406 8

調

しりがたし(知難)

難知事

405 7

しりぞく(退)

退テ

431 6

しりぞく(退)

退ケテ

432 19

しる(知) ↓ はかりしる

・まうししる

不知ケリ

428 1

不知

不知故

408 6

不知

不知

426 4

不知

不知シテ

434 2

不知

未知

407 10

未知

知らレマイラセスシテ

知らレ参セスシテ

知らレマイラセ又

422 1

419 5

420 13

知り(中止法)

知ケル

471 1

シリダマハサリケルヲ

知リ給シ

426 5

知給シ

しる

408 11

しろ(城)

城

417 10

しろかね(銀)

白カネ

407 8

銀カネ

銀

412 1

しろじ(白)

白キ

430 5 ㉑

しろしめす(知)

白

411 9

しろしめさねハ

しろしめす(知)

426 5

しをる(暮)

シホレ(連用法)

422 7

じをんじ(慈恩寺)

信シテ

431 4

慈恩寺

しん(臣)

421 4

臣 418 ㉔ 428 ㉔ 434 ㉔ 435 ㉔

しん(秦)

秦 405 8 ㉔ 420 2 ㉔ 430 1 3

しんか(臣下)

臣カ

419 10

臣下

臣下

419 10

しんか(神歌) ↓ かみう

しんかども(臣下共)

臣下共 427 2 429 6

しんがふちう(新樂府注)

新樂府注 403 1 416 ㉔ 436 1

しんきつれう(秦吉了)

秦吉了 423 4

しんず(信)

信シテ 431 4

しんず(秦吉了)

しんず(信)

しんほう(新豊)

新豊 408 ④

しんほうのせつひをう

新豊折臂翁

新豊折臂翁 408 ④

新豊折(臂)翁 408 ④

じんりよう(神龍)

神龍 432 2 3 3 5 7 8 8

す

す↓けつこうす・さしづ

す・さつがいです・ちや

うあいです・ちゆうす

ほしいまます

セサセケレハ 415 ①

セム(ハ) 418 4

セラレケレハ 417 11

セラレタル 417 11

セラルル 413 9

セシ 408 1 417 9 430 4

セシカトモ 430 ⑥

シ 419 ⑫ 426 ⑨ 428 2 429 11

シケル 407 ⑩ 408 9 429 10

シケレハ 432 9

シ(ケ)レハ 432 6

シ緒ケルヲ 425 8

シ繪 431 ⑥

シタルセ 419 ⑫

シテ 403 10 410 ② 412 10

418 4 9 414 5 417 ③

418 ④ 422 10 426 8 ⑥ ⑦

430 5 12 ⑤ ⑥ 435 8 ②

ス 420 10

スハカラス 417 5

スハキ 425 11

スレ 407 2 422 ⑦ 427 ②

スルナリ 432 2 8 425 5

スルハ 417 7

スルヲ 410 ⑨

スレ(「コン」の結び) 417 5

すい(隋)

すい(隋)

隋 404 ⑥ 419 6 7 ⑦

すいでいりう(隋提柳)

隋提柳 429 3

隋提柳 429 3

すいのくに(隋國)

隋ノ國 429 3

すう(居)

居ラレケル 418 2

スベ御ハシテ 413 5

スヘテ 433 3

居ニケリ 429 ⑩

すかす(賺)

スカシテ 414 ②

スカ(ハシ)テ 414 11

すがた(姿)

形ヲ 425 12

姿ヲ 433 1

姿 415 5

姿 415 3 4

躰ヲ 418 ⑩

躰 431 ⑤

すがはら(菅原)

スカ原 427 ④

すがる(継) ↓とりすか

る 429 3

すぐ(過)

過サリケリ 412 3

不過ナリ 412 12

過ケル 426 9

過マケル 426 1

過タリケリ 410 8

過タル 423 8

可過(ガ)方 431 ④

可過タル 422 10

すくなし(少)

少ナクシテ 412 6

すぐる(勝)

勝タル 407 ② 421 3

勝レテ 418 ③ 424 8

勝カ故ニ 416 ③

すこし(少)

少シキヲハ 426 ⑩

す(過)

過ヲハ 426 ⑬

すぎまじ(冷)

冷シカラム 416 ⑩

冷シカリケレハ 416 ⑥

冷マシ 421 ⑨

すすかす(煤)

ス、カシテ 423 12

すすむ(進)

進ム(連体法) 407 ④

すすむ(勸)

勸(中止法) 435 6

勸給ヘル 421 11

すたる(上廢)

廢タレ候ニケレハ 406 6

タレテ 417 6

すぢ(筋) ↓いとすぢ

すつ(棄) ↓おひすつ

とりすつ

被テ棄候也 433 11

棄(中止法) 413 ④

棄シヲ 406 2

ステ、 410 ⑩

棄テ、 404 7 ① ④ 434 ⑤

奇テ、 420 ⑥

棄テ 406 ④

棄テ 413 ⑦

棄テ 406 10

棄ツル 424 7

すでに(已) 403 ① 411 8

已ニ 421 8

すなご(砂)

砂 428 10

すなほなり(直)

不直ヨ、 429 1

直ナラネハ 419 ①

直ヨナラハハ 428 ②

直スナヨニ 403 5

直ニ 430 ⑧

直テ 430 ⑩

すひとる(吸取)

スイトラヒケリ 430 8

すべからく(須)

須ク... 432 3

すみ(炭) 423 1 3 3 6 7

炭 423 1 3 3 6 7

すみか(樽)

樽 433 ⑩

すむ(住)

住 430 9

住給ケレハ 416 ⑦

住ヘキ 418 6

接口(連体法) 418 3

すむ(澄)

澄 429 ①

すゝこくこう(鄰國公)

鄰國公 404 ⑥

すゑ(末)

末 405 3 407 2 416 ①

すゑずゑ(末々)

末々 412 ⑥

廿

廿

せい(姓)

姓 412 ⑦

せい(勢方) 412 6

體セイ

せい(齊)

齊 420 14

せいかう(西江)

西江 426 ③

せいぎ(盛姫)

盛姫 417 3 425 ④

せいし(制止)

制止 411 ①

せいせき(青石)

青石 417 ①

せいてい(成帝)

成帝 410 2

せいてい(靜帝)

靜帝 404 ⑤ ⑧

せいまいいんきん(井底引銀筋)

井底引銀筋 427 ①

井底引銀筋

せい(井底引銀筋)

せい(井底引銀筋) 427 ①

せい(井底引銀筋)

せい(井底引銀筋)

せい(井底引銀筋)

西方 418 10 11  
 せいはいくしやう(西伯昆) 418 8 11 13 ① ② ⑦  
 西伯昆 431 6  
 せいらやう(西涼) 418 8 11 13 ① ② ⑦  
 西涼 418 8  
 せいらやうぎ(西涼伎) 418 8  
 西涼伎 418 8  
 せいわう(成王) 435 ④  
 成王 435 ④  
 せいわうぼ(西王母) 449 3  
 西王母 449 3  
 せうと(弟) 408 13  
 弟 408 13  
 せうやうてん(照陽殿) 422 ⑧  
 照陽殿 422 ⑧  
 せうわう(昭王) 420 ③  
 昭王 420 ③  
 せき(關) 420 ⑦  
 關 420 ⑦  
 せきしやく(赤色) 425 1  
 赤色 425 1

せきばく(石木) 425 ⑥  
 石木 425 ⑥  
 せつ(節) ↓ちようやう 409 7  
 のせつ 409 7  
 せつどし(節度使) 410 ①  
 節度使 410 ①  
 せつひをう(折臂翁) 408 ⑩  
 折臂翁 408 ⑩  
 せに(錢) 410 ①  
 錢 410 ①  
 せはし(少) 428 9 9  
 少セハク 428 9 9  
 せふしやう(攝政) 441 1  
 攝政 441 1  
 せみ(蟬) 416 1  
 セ「ミ」(「ミ」は禿) 416 1  
 せむ(責) 411 1  
 責×ラレケルニ 411 1  
 責カ 416 1  
 徴セメニ 416 1  
 責ムヘキ 411 1  
 せめ(責) 411 1  
 責ムヘキ 411 1

せん(仙) 405 ⑩ ⑪  
 仙 405 ⑩ ⑪  
 せん(遷) 419 13  
 遷 419 13  
 せんくわん(千官) 429 7  
 千官 429 7  
 せんさむびやくり(千三百里) 421 ② ③ ④ ⑥  
 宣州 421 ② ③ ④ ⑥  
 せんじ(宣旨) 422 11  
 宣旨 422 11  
 せんじ(宣旨) 425 10  
 仙述 425 10  
 せんぢよ(仙女) 449 3  
 仙女 449 3  
 せん(仙) 447 ⑩  
 仙人 447 ⑩  
 せんまん(千万) 405 ⑦  
 千万 405 ⑦

せんまんき(千万騎) 416 ⑨  
 千万騎 416 ⑨  
 せんまんそう(千万艘) 429 8  
 千万艘 429 8  
 せんり(千里) 410 418 ⑤ 419 12 14  
 千里 410 418 ⑤ 419 12 14  
 せんりやう(千兩) 422 ⑦  
 千兩 422 ⑦  
 せんわう(宣王) 435 8  
 宣王 435 8  
 せんわう(前王) 435 8  
 前王 435 8  
 せん(素) 435 8  
 素 435 8  
 せん(楚) 430 ③ ④ ⑤ ⑥  
 楚 430 ③ ④ ⑤ ⑥  
 せんす(奏) 444 ⑧  
 奏ヲ(候)ケリ 444 ⑧  
 三三五

可奏ス 428 ⑥

そうちうし (宋仲子)

宋仲子 424 8 10 12

そこ (底)

底 419 ④ ⑥ 427 ① ① ⑥

431 ⑧ 432 1

そこなふ (損)

ソコナハム 428 12

そこばく (幾)

幾 409 4 428 11

そさん (素飡)

素飡 426 ⑬

そしり (誦)

ソシリ 409 9

そしりかぬ (誦兼)

誦り兼 444 2

そしる (誦)

誦り 407 7 434 ④

誦り候ケル

誦り候ナル

誦り候也

そしりたるなり 433 ⑥

誦ルナリ 408 ④ 414 ④ 419 ④ 418 ④ 428 ④ 430 ④ 434 ④

誦タル 424 7 428 9

誦ケル (ナリ)

誦リテ 407 7 418 2 9 422 5

誦リテ候也 405 ①

誦リテ候也 404 ④ 406 2

誦リテ候ナリ 409 ⑩ ④ 411 ④ 414 ④ 418 ④

誦語ナリケル 408 1

誦語ナリケル 412 ①

誦語ナリ 413 11

誦ルナリ 422 ④

誦ル也 425 8

誦レル 418 2

そそく (灑)

灑 432 6

そたつ (育)

ソタツル 433 ①

そで (袖) ↓ふたそで

そと (外)

外 411 7 417 9 427 8

外 411 6

外 411 6

そなほる (備)

備レリ 416 ⑧

そなへもの (備物)

備物 423 ⑥

その (其)

ソノ 427 4 429 ⑤

其ノ 404 ① 405 ③ 412 ⑤ 429 ⑤

其 403 ① 404 1 405 ⑦ 407 ①

其 408 13 ⑩ 409 2 410 10

其 411 1 ④ ④ ④ ④ ④ ④ ④ ④

其 7 12 ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦

其 418 12 ① 2 4 416 1 ③

其 423 4 ④ ④ ④ ④ ④ ④ ④ ④

其 427 6 ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦

其 432 ⑬ ⑬ ⑬ ⑬ ⑬ ⑬ ⑬ ⑬

其 (其) 403 12 407 5 411 7 8

其のうへに (其上)

其上 424 ⑧ 428 ①

其 413 ④ ④ ④ ④ ④ ④ ④ ④

其 407 5 410 7 412 ⑧ 413 8 418 ①

其 407 5 410 7 412 ⑧ 413 8 418 ①

其 407 5 410 7 412 ⑧ 413 8 418 ①

そまき (杣木)

杣木 418 2

そむ (梁)

梁ケハル 407 7

梁ナルト 422 ⑥

そむく (背) (四段)

背キ候ケル 403 7

背ニケレ 430 ⑦

背ムク (連体法) 430 ④

背ケ (連体法) 430 ① ① ① ① ① ① ① ①

背ケリ 430 ②

そむく (背) (下二段)

背ケム 434 ④

そら (空)

ソラ 419 4

空 405 ③ 409 ④ 419 2 433 ⑩

そらごと (虚言)

ソラゴト 417 ④

それ (其)

其 407 5 410 7 412 ⑧ 413 8 418 ①

其 407 5 410 7 412 ⑧ 413 8 418 ①

其 407 5 410 7 412 ⑧ 413 8 418 ①

調ソロエテ 411 2

そんばう(損亡)

損亡 422 8

た

た(田)

田 423 10 426 12

だいかうろ(大行路)

大行路 409 11

だいく(第九)

第九

たいげん(大原)

大原 424 11 429 14

たいじ(大寺)

大寺 414 4

たいしやうぐん(大將軍)

大將軍 435 5

だいじん(大臣)

大臣 414 9 10 419 5 420 1

427 10 433 7 434 4

たいそう(太宗)

太宗 410 4 429 5

太宗 403 5 405 1

太宗 404 10 427 10

たいそう(代宗)

代宗 403 2 415 3

たいそうくわうてい(太宗皇帝)

太宗皇帝 417 7

たいべう(大廟)

大廟 417 3

たいべうのまつり(大廟祭)

大廟ノ祭 404 10 406 6

たつ(唐)

唐 403 3 5 404 6 406 2 4

たつ(唐) 407 6 410 12 412 4 414 10

たつ(唐) 418 9 10 420 5 422 4

たつ(唐) 416 3 417 3 419 3

たつ(唐) 413 2 415 2 417 2

たつ(唐) 411 3 413 3 415 3

たつ(唐) 411 3 413 3 415 3

たつ(唐) 411 3 413 3 415 3

たつ(唐) 411 3 413 3 415 3

高キ 423 3 424 2 425 2

高キ 426 3 428 9 429 7 435 8

だうしう(道州)

道州 412 3 413 5

だうしうみん(道州民)

道州民 412 3

道州民 412 3

たうちやう(湯帳)

湯帳 420 5

たうど(唐土)

唐土 401 1 414 10 419 7

たかさ(高)

高サ 424 10 428 5

高サ 409 10 410 4

たかし(高)

高カ(高) 410 4

高カ(高) 426 4

高カ(高) 430 7

高カ(高) 424 12

高カ(高) 435 1

高カ(高) 414 11

高カ(高) 434 2 424 11

高キ 423 3

高キ 420 10

たがふ(違)

不違 416 4

たがやす(耕)

耕ス(連体法) 415 2

たから(賤)

賤 416 10 417 11 430 4 12

たく(焚)

焚候ヘハ 425 12

焚給ケレハ 425 1

たくはふ(貯)

貯 416 11

たくはへ(貯) ↓おほむ

貯 421 10

貯 430 13

たぐひなし(無類)

タクヒ無ク 407 10

無類(連用法) 431 8

無類(連体法) 416 9 432 6

無類(連体法) 416 9 432 6

無類(連体法) 416 9 432 6

無類 (連体法)

414 ④

たくみ (エ)

419 ①

エミ

たけ (長)

412 3

長ケ

長

たける (長)

412 7

タケヌル

403 ⑥

たしかなり (慥)

405 ⑩

慥カニ

たすけ (助)

406 3

たすける (助)

419 10

助ケ進 (ラシヒ)

た (只)

タ、

た、

只

但

428 ⑩

415 ⑥

430 ⑨

425 ⑤

434 ⑩

428 1

410 ⑧

417 ⑦

411 ⑬

425 ⑦

434 10

427 9

435 3

411 ①

413 12

415 7

433 11

426 4

徒

たたく (扱)

426 ⑭

扱 (扱)

た (扱)

430 14

直タ、シカラサリシカ

直カラスシテ

直シカラヌ

直シキ

タタシキニアラス

直セ給けるほとに

直シ

た (扱)

432 ④

た (扱)

423 12

タ、スミケルヲ

421 6

た (扱)

430 11

た (扱)

428 11

爛タ、レニケル

爛トモ

たち (扱)

大刀

430 8

大刀

たち (館)

420 ①

館

た (館)

430 5

辰

た (立) (下ニ段)

403 ④

被立タリケリ

立テ御坐ケリ

立給

立テ、

立テ (連用法)

立テモ

た (断)

410 5

可断

た (断)

405 2

た (断)

431 7

た (断)

427 11

尋ラレケル

尋ネテ

た (断)

424 5

尋

た (断)

407 ⑦

尋出テ

た (断)

407 ①

尋出シテ

た (断)

407 ⑧

進ラセケルヲ

進セタリケリ

進ケレハ

進テ有ケレハ

た (断)

た (断)

416 5

た (断)

412 ⑫

た (断)

417 4

た (断)

412 ⑩

た (断)

417 4

た (断)

412 ⑩

た (断)

417 4

た (断)

417 4

た (断)

417 4



たとへ(譬言) 433 ⑤  
 たとへ 433 ⑤  
 たなばた(七夕) 409 ④  
 七夕 409 ④  
 たに(谷) 419 ④  
 谷 419 ④  
 淵 419 ④  
 たのし(樂) 426 ⑩  
 タノシキ 426 ⑩  
 樂シキ 426 ⑩  
 たのしげなり(樂) 426 ⑩  
 樂シケナル 426 ⑩  
 たのしむ↓あそびたのしむ 426 ⑩  
 たのむ(憑) (四段) 427 ⑤  
 憑ミテ 427 ⑤  
 たのむ(憑) (下二段) 427 ③  
 憑ムレ 427 ③  
 たばかり(謀) 431 ⑨  
 タハカリケレハ 431 ⑨  
 タばかりテ 431 ⑨  
 儀カリ申 432 ⑦  
 たばたかに↓たまさかに 432 ⑦

たはぶる(戯) ↓あそび 411 ⑩  
 たはぶる 411 ⑩  
 戯ル、 411 ⑩  
 たび(度) ↓あまたたび 413 ⑥  
 ももたび 413 ⑥  
 たふ(堪) 413 ⑥  
 不堪シテ 413 ⑥  
 堪ヌニ 413 ⑥  
 たふ(給) 413 ⑥  
 タヒケリ 413 ⑥  
 タヒ候ケリ 413 ⑥  
 タヒテ 413 ⑥  
 タフヘキナリ 413 ⑥  
 たぶさ(鬢) 413 ⑥  
 タフナ 413 ⑥  
 たへがたし(堪難) 413 ⑥  
 難キ 413 ⑥  
 難堪 413 ⑥  
 難堪禱 413 ⑥  
 たま(玉) 417 ③  
 玉 417 ③  
 たまき(鑲) 434 ③  
 タマキ 434 ③  
 426 ⑤

鑲玉キ 429 ⑧  
 たまさかに(遊) 429 ⑧  
 タハタカニ 429 ⑧  
 たまども(玉共) 429 ⑧  
 玉共 429 ⑧  
 たまの(玉) 429 ⑧  
 玉ノ 429 ⑧  
 たまはる(給) 429 ⑧  
 給ハラス 429 ⑧  
 官ヲ給ラム 429 ⑧  
 暇給リテ 429 ⑧  
 給テ 429 ⑧  
 たまふ(給) (本動詞) 429 ⑧  
 給ケリト 429 ⑧  
 給候は、 429 ⑧  
 給ヒキ 429 ⑧  
 給ヘカラス 429 ⑧  
 賜モ 429 ⑧  
 たまふ(給) (補助動詞) 429 ⑧  
 シリタマハサリケルラ 429 ⑧  
 成セ給ケリ 429 ⑧

知ラセ給ハサリケレ 414 ⑨  
 ハ 414 ⑨  
 入給サリシ事 414 ⑨  
 知セ給ハス 414 ⑨  
 守ラセ給ハ 414 ⑨  
 見セ給ハムカ爲世 414 ⑨  
 治メ給ハム人 414 ⑨  
 返ヘリ給ヒキ 414 ⑨  
 持給ヒケリ 414 ⑨  
 殺害シ給ヒケリ 414 ⑨  
 理マセ給ケリ 414 ⑨  
 泣明リセ給ケリ 414 ⑨  
 翫給ケ(リ) 414 ⑨  
 入込モリ給ケリ 414 ⑨  
 舞セ給ケリ 414 ⑨  
 舞セ給ケリ 414 ⑨  
 入込給ケリ 414 ⑨  
 入込給ケリ 414 ⑨  
 置キ給ケリ 414 ⑨  
 翫給ケリ 414 ⑨  
 成セ給ケリ 414 ⑨



民共モ 412 7

民共 411 3 422 9 12

たの(爲) ↓おむたのめ 431 ① ③

タメ 403 ⑫ 408 ⑭ 409 ⑰ ⑬ ⑪ ↓

爲 412 ④ ⑥ 415 ③ 416 ⑪ ① ① ①

425 8 429 2

ためし(様)

タメシ 416 9

たのし 433 ①

爲シ 413 9 420 ③ 435 ④

様タメシ 406 8 421 ④

様シ 422 ④ 424 ①

たもつ(持)

持タム 422 2 424 ①

持給ヒゲリ 430 ④ 430 ⑥

たやすし(輒)

不輒。 428 ⑦

不容易、 416 ⑧

輒ク 428 ⑤ 414 ③

たゆ(絶) ↓かきたゆ 421 2

不堪 409 ④

断へ又 423 ①

たる(足) 423 5 423 ②

不足 423 ①

不足 423 ②

だん(段)

たん 433 ① ⑤

段 403 5 404 5 ③ ① 405 8

爲シ ⑫ 406 2 ④ 407 6 ⑪ 408 ⑤

409 8 12 ④ 410 4 8 ⑫

411 2 8 ④ ⑪ 412 4 ⑩

413 8 ② 414 2 9 ⑥ ① ②

416 ④ ⑫ 417 3 ① ② ④ ⑨

418 9 419 1 ⑤ 420 ⑤

⑫ 418 9 419 1 ⑤ 420 ⑤

⑩ 423 2 ⑧ ⑩ 424 7 ②

425 2 8 ④ 426 9 ⑫ 427 2

② 428 9 ⑤ ⑩ 429 4 6

⑦ 430 2 3 431 2 ⑦ 432

② 434 ④ 435 9 ①

たんしや(炭車)

炭車 423 4 12 ①

ち

ち(地)

ち 408 ⑥

地 418 5 421 ⑩ 422 1 432 ④

ちうぐう(中宮)

中宮 425 ⑩

ちうす(注)

注シケル 416 9

ちうせつ(忠節)

忠節 417 ⑦

ちうゆう(紂王)

紂王 420 9 431 3

紂王 420 9 431 3

ちかし(近)

近 411 2

近(連体法)

近 411 3

近 404 ④ 411 ①

ちから(力)

力 421 ⑥ 423 9 424 13

力 410 ② 431 6

ちからぐるま(力車)

力車 417 ②

ちぎり(契)

契 409 ④ 427 ③ ⑤

ちち(父)

父 429 ⑦ 433 11

ちやうあいす(寵愛)

寵愛セサセ給ケリ 432 ①

ちやうあきう(張鷟)

張鷟丸 434 ① ②

ちやうきん(張瑾)

張瑾 403 ③

ちやうり(長吏)

長吏 410 8 11 12

ちようやうのせつ(重陽)

重陽ノ節 426 7

ちよくせい(勅宣)

勅宣

勅宣 429 1

ぢよこらう(女工)

女工 422 ③

ちりばむ(鑄)

鑄ハメシカトモ 427 3

鑄ハメタル

ちる(散)

散ラム 421 7

散テ

ちんりう(陳留)

陳留 410 ⑩



ついかぎ(築築)

ツイカキ 430 6

ついたち(一日)

一日 415 ④

つらじがたし(通難)

難<sup>シカハ</sup>通<sup>シ</sup> 435 13

つか(墓)

墓<sup>ツカ</sup> 417 ⑧

塚 431 1

つかさ(官)

ツカサ 410 5

司サ 407 ⑨

官ツカサ 435 12 ③

官サ 435 10

官 414 ① 424 9 435 14

つかせどる(司)

ツカサトラセ 405 1

事<sup>ツカサ</sup>トトリテ 408 ⑤

事<sup>ツカサ</sup>サトル 426 ⑩

つかはす(遣)

ツカサトル(連休法) 432 3

遣<sup>ツカサ</sup>ケレハ 414 6

遣ハシテ 405 ⑨

つかふ(仕)

ツカヘテ 419 ⑧

仕<sup>ツカヘテ</sup>ヘテ 427 6

仕<sup>ツカヘテ</sup> 420 9

仕<sup>ツカヘテ</sup>ハヌ 419 ⑥

仕<sup>ツカヘテ</sup>ハヌ 403 7

仕<sup>ツカヘテ</sup>ハヌセテ 417 ⑦

仕<sup>ツカヘテ</sup>(連休法) 417 ①

つかまつる(仕)

仕ラム 417 ⑩

仕<sup>ツカヘテ</sup> 420 6

つかみさぐ(掘下)

ツカミサケテ 433 ⑩

つかる(痕) ↓ うゑつか

る 433 ⑩

つき(月)

月 421 5

つきに(次)

次ニ 414 7

つきひ(月日)

月日 426 4 430 11

つきをり(付居)

付キヲル 433 13

つく(付) ≡ 四段 ↓ と

リつく 431 2

付テ 416 ⑩ 425 12

付ニケリ 415 ⑦ 429 ⑤

つく(付) ≡ 下ニ段 ↓

うちつく・おほせつく

かきつく・かひつく・

こころつく・まうしつ

く・みつく

付ケ 417 ⑧

付ケレトモ 430 ②

付<sup>ツ</sup>リ 412 ⑦

付テ 407 ⑥ 417 ⑧ 423 ① 427 ⑩

付モ 407 2 407 12

つく(盡)

盡ナント 408 1

ツキ 430 ⑤

ツキテ 430 10

つく(繼) ↓ あひつく

とりつく

つくす(盡)

盡シテ 427 2

盡(連体法) 416 ⑩ 421 10  
 盡マテニ 407 ⑦  
 盡セトモ 416 ⑩  
 つくのふ(償) 410 ④  
 ツクノハントテ  
 つくりかさぬ(作重) 418 5  
 作り重ネテ  
 つくりなす(造成) 427 4  
 未<sup>タ</sup>造成<sup>サ</sup>  
 つくる(作) 426 ⑫  
 不作<sup>フ</sup>  
 不作<sup>フ</sup>  
 作セテ 403 9  
 造セテ 425 3  
 作ラムト 418 2  
 被<sup>テ</sup>ラ給ケル 416 ⑤  
 被<sup>テ</sup>作候シヨ 406 ③  
 造リケリ 430 9  
 ツクリケル 427 1  
 作りタリケリ 434 ②  
 作タルヨ 413 ②  
 作りテ 432 5 434 ①

作テ 404 4 413 5 ⑤ 416 ③  
 作テハ 427 10 435 8  
 造マリ口口 406 ⑥  
 造ル(連体法) 418 3  
 つくろふ(治) 427 2  
 ツク□ウテ 417 6  
 つたふ(傳) ↓まうしフ  
 たふ 412 ⑥  
 傳へ 427 7  
 傳ト 412 ⑥  
 つち(土) 422 ①  
 土 415 2  
 つちく礼(壤) 422 ①  
 壤<sup>レ</sup>ツナク 415 2  
 つ↓ひとり<sup>フ</sup> 418 3  
 つふしむ(慎) 428 10  
 慎ム(連体法) 418 3  
 つつみ(提) 418 3  
 塚<sup>ツ</sup>ツミ 428 10  
 つつみ(鼓) 435 ⑥  
 ツツミ 435 ⑥

鼓 435 ⑤  
 つね(常) 413 9 422 ⑩  
 常 413 9 422 ⑩  
 つねに(常) 413 9 422 ⑩  
 常ニ 411 ⑤ ⑩ 418 10 433 1  
 常<sup>レ</sup> 411 ③  
 つの(角) 420 15  
 角 420 15  
 つば(柄) 420 ①  
 柄<sup>ツ</sup>ハ 420 ①  
 つばさ(翅) 409 ①  
 翅<sup>サ</sup> 409 ①  
 つばめ(燕) 426 5 434 7  
 燕メ 426 5 434 7  
 燕 433 ⑧  
 つばもの(兵) 430 ④  
 兵 431 11  
 兵 431 11  
 つひえ(費) 411 ①  
 費へ 411 ①  
 費 408 ⑥ 416 ⑥ 417 1  
 弊<sup>ツ</sup>イへ 405 ⑬

弊 421 8 11 ② 422 1 432 9  
 つひに(終) 412 10  
 終イニ 412 10  
 つぶさに(具) 435 ⑧  
 具サニ 435 ⑧  
 つま(妻) 424 13  
 妻<sup>マ</sup> 424 13  
 妻 415 ⑤ 423 ⑩ ⑪ 424 1 7  
 つまひらかなり(詳) 426 ① ⑦ 427 ①  
 ツマヒラカニ 425 ①  
 つもる(積) 419 6  
 積モリケレハ 419 6  
 積ニケレトモ 405 ⑥  
 積ル(連体法) 423 ④  
 つら(面) ↓びん<sup>フ</sup> 423 ④  
 つる(鶴) 433 ⑦  
 ツル 434 2  
 鶴 434 2  
 つる(連) ↓のり<sup>フ</sup> 420 8  
 つる(釣) 420 8  
 釣<sup>リ</sup>ケ 420 8

つるぎ(劍)

劍キ 427 ① ⑦ 434 ① ② 435 3 434 ③

つるべ(瓶)

ツルへ

427 ① ① ⑥

て

て(寺)

寺 423 5 ④ 426 7 427 8

ていり(出入)

出入 430 7

ていわう(帝王)

帝王 409 ⑤ 423 10 428 ⑥ 429 4 430 2 433 ⑦ 434 3 5 ⑩

ている(帝位)

帝位 430 ①

てうかう(趙嵩)

趙嵩 430 ② ②

てうへき(趙壁)

趙壁 413 ② ④

てうをん(朝恩)

「朝」恩

てう(寺) 418 1 2 4 4 6 420 9

寺 418 1 2 4 4 6

てうす(照)

照ス(連体法) 432 2

てん(天)

天 409 ⑧ 410 ⑨ ⑬ 418 1

てんか(天下)

天下 432 ① ③ 408 12 423 13 425 2 430 4 ⑥ ⑧

てんかたく(天可度)

天可度 432 ① ①

てんさい(天災)

天災 410 ③ ⑦ ⑬

てんし(天子)

天子 416 ③

てんち(天地)

天地 430 12

てんへん(天變)

天變 409 ④ ⑫ ⑬ 432 ③

てんもん(天文道)

天文道 414 ④ ⑤ 412 1 4 ⑤ ⑤ 413 411 1 414 ⑥ ⑩ ⑫ ⑬ 416

天文道

「天」文道 409 ⑩ 409 ⑧

と

とうぐう(東宮)

東宮 419 ⑩

どうなん(童男)

童男 405 ⑥ ⑧

とが(咎)

トカ 410 ⑧ 417 ⑥

とが(咎)

とが(咎) 403 ⑩ 423 ③ ⑥

とが(咎)

とが(咎) 409 ② ⑫ ⑩

とが(咎)

とき(時) ↓ おむとき

とき(時) ↓ おむとき 434 6

とき(時) ↓ おむとき 404 ⑩ 405 ② 406 4 ① 407

とき(時) ↓ おむとき 10 408 ④ ⑤ ⑩ 409 ①

とき(時) ↓ おむとき ② ⑬ 410 2 8 ⑤ ⑤ 411 1

とき(時) ↓ おむとき 414 2 ⑪ 415 4 5 10 413 411 1 414 ⑥ ⑩ ⑫ ⑬ 416

三四

とく(徳)

とく(徳) 1 ⑤ 417 9 418 9 10

とく(徳)

とく(徳) 11 12 ④ 419 10 11 9 12

とく(徳)

とく(徳) 13 ⑩ 420 1 2 5 11 422

とく(徳)

とく(徳) 9 ⑨ 423 4 424 7 8 13

とく(徳)

とく(徳) 426 ⑩ 428 2 430 4 9

とく(徳)

とく(徳) 13 431 10 432 9 ③ 434

とく(徳)

とく(徳) ⑥ ⑦ 435 ⑥ ⑥

とく(徳)

とく(徳) 406 ⑦

とく(徳)

とく(徳) 徳 403 3 414 7 417 ④ ④ 424 12

とく(徳)

とく(徳) とく(解) ↓ うちとく

とく(徳) とく(遂) ↓ うちとく

とく(徳) 遂サセムカ 403 ⑫

とく(徳)

とく(徳) とく(石礪)

とく(徳) ト、ミカ、タル 417 2

とく(徳) とく(徳宗) ↓

とく(徳) 徳宗 403 2 411 ④ ⑦ ⑩ ⑪ 412

徳字 412 ⑩  
 徳宗(徳) 421 ③  
 とくそうくわうてい(徳) 421 ③  
 宗皇帝) 422 5 6  
 徳宗皇帝 417 ⑬ 418 ⑨ 425 ②  
 徳宗(皇) 407 ⑦ ⑧ 417 ③  
 徳字(皇) 444 ②  
 ところ(所) ↓あきどこ  
 3・ふたところ 435 ⑩  
 所 406 ③ ⑤ 408 ④ 410 ⑩ 411 ⑩  
 7 8 ③ 412 3 5 ⑧ ⑧ 413 ⑧  
 1 2 417 4 418 ⑦ 421 ⑧  
 422 4 424 ② ③ 428 ⑩ ⑥  
 432 2 8 433 4 435 8  
 420 ⑦ 421 ⑦ 422 5 6  
 とざし(肩)  
 戸トサシ 426 3  
 肩トサシ 407 ④ 430 ⑥  
 年 403 ⑥ 405 ⑥ 407 ⑤ 408 ⑩  
 とし(年) ↓あくるとし

419 ⑥ 422 ⑧ 426 ⑤ 428 ②  
 とし(疾) 419 ⑥  
 早ト 422 ⑦  
 としごと(年毎) 426 ④  
 毎一年 426 ④  
 としごころ(年来) 424 ① 423 ⑩  
 項年六 424 ① 423 ⑩  
 年来 424 ①  
 としとし(年々) 421 ③  
 年々 411 ⑩  
 歳トシ 412 ⑧  
 とせい(土成) 430 ⑤  
 「土」成イ 430 ⑤  
 とかこむ(閉込) 426 ④  
 閉被込ケレハ 426 ④  
 とむむ(留) ↓かきとど 426 ④  
 む 426 ④  
 被留ヘシ 423 ⑤  
 留タリケリ 424 ⑥  
 留テ 424 ①  
 留ヘシ 412 ④  
 とばや(古屋) ↓とぼり 412 ④  
 とぼり(帳) 421 ⑩  
 トハヤ(又) 421 ⑩  
 とび(六鳥) 433 ⑩  
 トヒ 433 ⑩  
 意 434 ⑦  
 とびかける(飛翔) 419 ④  
 トヒカケリ(連体法) 419 ④  
 飛ト翔ル(連体法) 409 ②  
 とびきたる(飛來) 433 ⑩  
 トヒ來テ 433 ⑩  
 とびら(扉) 430 ⑦  
 扉トヒラ 430 ⑦  
 とふ(問) ↓めしとふ 433 ①  
 問ハセ給ケレハ 433 ①  
 問セ給ケレハ 426 ⑦  
 問ハレケレハ 426 ⑤  
 問ケレハ 412 ⑦  
 とぶ(飛) 419 ②  
 飛フ(連体法) 419 ②  
 とぶひ(飛火) 431 ⑩  
 トフヒ 431 ⑩

とふひ 431 ⑨  
 飛火 431 ③  
 とほし(遠) 431 ① ②  
 遠ヲク 415 ①  
 遠キ 404 ⑦ 415 ⑥ ⑩  
 遠ハ 411 ②  
 遠ヲ 404 ④  
 遠ヲモ 411 ②  
 とほし(之) 415 ⑨  
 之シク 415 ⑨  
 とまや(古屋) ↓とぼり 426 ④  
 とまる(泊) 426 ④  
 トマル。 426 ④  
 とも(共) ←接尾辞ニ ↓ 426 ④  
 えびすども・かくにん 426 ④  
 ども・けんじんども・ 426 ④  
 ことえびすども・こと 426 ④  
 ども・こども・さいど 426 ④  
 も・さいしども・しや 426 ④  
 うぐんども・しんかど 426 ④

も・たまごも・たみご  
 も・にしぎごも・ひと  
 ぶも・ものごも・ゆう  
 じごも  
 ともつな(纜)  
 共モ纏  
 ともに(共)↓もろごも  
 に  
 とうふ(捕)  
 捕トラヘテ  
 捕ヘテ  
 とり(鳥)↓ひなどり  
 やまどり  
 とり  
 鳥  
 とりあきなふ(取商)  
 取商イ  
 とりう(取得)  
 取り得又  
 とりすがる(取継)  
 トリスカリ  
 とりすつ(取棄)

取棄サント「レ」ハ  
 とりつく(取付)  
 取り付ケリ  
 取付キケレハ  
 取付。  
 とりつく(取継)  
 取継(中止法)  
 取継ケレハ  
 とりどり(取々)  
 取く  
 とる(取)↓うちとる  
 取ラシメ給ヘシ  
 取ラシ給ヘシ  
 不取ラシテ  
 不シテ取  
 取ラセ  
 ト「レ」セケリ  
 トラセシ  
 取セテ  
 取ラスル  
 被テ取  
 被取

432 6  
 424 3  
 433 6  
 433 14  
 435 8  
 435 11  
 421 5  
 411 9  
 411 10  
 426 12  
 423 10  
 422 12  
 410 12  
 410 9  
 410 13  
 410 7  
 415 4  
 416 4

取りケリ  
 取ケルヲ  
 取候しに  
 とりて  
 取テ  
 「取」テ  
 取(連体法)  
 取ニモ  
 取レヨリシ  
 取レトモ  
 とりよう(杜陵)  
 杜陵  
 杜陵  
 とりようそう(杜陵)  
 杜陵  
 杜陵  
 杜陵  
 とりわけ(取分)  
 取別ケ  
 な  
 なか(中)↓のなかよ  
 のなか

430 4  
 433 14  
 433 11  
 433 5  
 404 5  
 410 5  
 406 3  
 411 8  
 426 7  
 418 2  
 410 3  
 422 8  
 422 4  
 422 4  
 421 3

中カ  
 中  
 中  
 中比  
 中比  
 中比  
 ながし(長)  
 長(連体法)  
 ながす(流)  
 流レ又  
 流シ給シ  
 ながなか(中々)  
 中々  
 ながは(半)  
 半  
 ながる(流)  
 流ルヲ  
 なぎ(囀)  
 囀ナキ  
 なきあかす(泣明)  
 泣明サセ給ケリ  
 なきかなし(泣悲)

416 5  
 419 3  
 430 6  
 425 4  
 413 7  
 413 4  
 421 6  
 416 6  
 425 5  
 416 6  
 425 2  
 413 4  
 415 1  
 434 6  
 403 3



泣哀ニ給ケレニ 403 ①  
 なまかなしむ(泣悲) 413 8  
 泣歎ケレニ 403 ④  
 泣哀<sup>ナキ</sup>給ケレハ 403 ④  
 なまくりす(泣喜) 425 ④  
 泣キ晩シテ 412 ⑤  
 なまよるこぶ(泣喜) 424 2  
 泣キ 412 11  
 泣(中止法) 424 5  
 泣候 412 11  
 泣キテ 424 2  
 泣<sup>ナ</sup>ケ 424 2  
 泣(連体法) 412 ⑤  
 なま<sup>ナ</sup>さむ(慰) 424 5  
 ナクサメムト 407 11  
 なゆき(歎) 403 ⑥ 415 4  
 歎、 407 10 408 ⑤ 409 6 9 412  
 歎 415 5 6 7 8 ② 419  
 7 423 ③ 426 16 428 ①

歎<sup>ナ</sup> 403 ⑦  
 歎ケルヲ 424 ⑥  
 歎キ給ヘキ 415 10  
 歎、タルナリ 421 ②  
 歎ク。 421 ⑩  
 歎クヘキニ 428 ②  
 歎(連体法) 412 ②  
 なゆさる(投去) 433 6  
 ナケサリキ 432 ④  
 なごむ(和) 416 9  
 ナコムル 426 7  
 なさけ(情) 416 9  
 情<sup>ナケ</sup> 426 7  
 なし(梨) 416 9  
 [梨] 426 7  
 なし(無)↓あるなし 426 7  
 うたがひなし・かきり 426 7  
 なし・かひなし・ここ 426 7  
 ろなし・たくひなし 426 7  
 はかりなし・ほどなし 426 7  
 またなし 426 7  
 無ラムニハ 430 ⑩

ナカリケリ 408 4  
 無カリケリ 419 8 ② 422  
 10 ① 435 ④  
 無リケリ 410 3  
 無ケリ 431 8  
 ナカリケレトモ 429 ③ 425 3  
 ナカリケレハ 431 12  
 ナカリケレハ 429 ③  
 ナカリケレハ 431 12  
 無リケリ 410 3  
 無ナハ 420 13  
 ナク 410 3 417 ⑦  
 ナク 403 ⑩  
 無ク 403 7 410 11  
 无クシテ 425 ②  
 無ウシテ 406 ① 411 ④  
 406 ⑩ 424 ⑥ 428 5  
 ナクテ 403 11  
 ナクハ 411 10  
 無クハ 415 7  
 無トモ 427 9  
 ナシ 411 8 418 6 422 ①  
 無シ 406 9 432 7

無シ 434 10  
 無(終止法) 416 ⑩ 422 ⑩  
 ナキ 430 ⑫ 418 ⑥  
 無キ 406 ⑧ 409 ③ 433 4  
 無、 417 ⑥  
 無(連体法) 418 6 420 9  
 432 ⑩  
 無キニ 418 ④  
 無ハケレ 430 ④  
 無レハ 418 8  
 無カレ 422 ⑩ 427 8  
 なす(成)↓フくりなす 418 6  
 成サンニハ 413 ⑦ 413 ④  
 被成サ 413 ⑦ 413 ④  
 被成候、 413 ④  
 成(中止法) 405 ⑬ 427 1  
 爲(中止法) 422 ⑩ 405 ①  
 成<sup>ナ</sup> 409 9  
 成給ケル 405 ①  
 成テ 411 ②  
 ナシナムト 411 ②

成ス。 419 ⑧  
 なずらふ(准) ↓おもひ  
 なずらふ  
 なつ(夏) 410 7 413 1  
 夏  
 なづ(撫) 412 ①  
 撫テ御坐ス  
 なづく(名付) 428 6  
 名ケテ  
 名テ 406 3  
 なづく(懐) ↓かひなづ  
 なづく  
 なつごと(夏々毎) 416 ⑥  
 毎ニ夏々  
 ななだび(七度) 428 2  
 七  
 ななめに(斜) 418 5  
 斜ナメニ  
 なに(何) 425 ⑧  
 何  
 なは(繩) 414 4  
 繩

なははし(繩橋) 409 2  
 繩橋  
 なへ(苗) 422 6  
 ナエ  
 苗 410 11  
 田苗 410 7  
 なほ(猶) 411 ⑩  
 ナヲ  
 猶ヲ 418 12  
 猶ヲ 411 ⑩  
 なほす(直) 410 3  
 「ナ」ラサル、  
 なみ(波) 426 ④  
 波  
 浪 429 ①  
 なみだ(涙) 425 ⑤  
 涙  
 なむぢ(汝) 433 1  
 汝 410 ⑥ 424 11 432 ⑧  
 なむばん(南蠻) 414 1 11  
 南蠻 408 ⑦ 412 ④ 414 1 11

ならび(習) 412 9  
 ナラヒ  
 例 413 9  
 習 435 8  
 學ヒ 427 ③  
 學 412 8  
 ならふ(學) 411 1  
 學ラハセテ  
 ならぶ(並) (面段) ↓あひ 411 1  
 ならふ  
 並フ(連体法) 408 4  
 ならふ(並) (下二段) 432 ⑤  
 並ヘ  
 並フル 422 ⑩  
 なりはつ(成果) 416 2  
 成ハテニケレハ  
 なる(成) 414 9  
 成セ給ケリ  
 不可成セ給 414 10  
 成ラム 414 ⑩  
 成リケリ 418 1  
 成リケリ(止法) 409 10  
 ナリケリ

成リケリ 424 ⑥  
 成ケレハ 415 ⑫  
 成候ケレハ 424 ④  
 成給ヒナム 404 1  
 成タレ 408 14  
 ナリテ 405 4  
 成リテ 419 10  
 成テ 412 5 418 1 423 ⑩  
 成ニケレハ 416 4  
 ナリニシ 427 ⑨  
 成ヌ 409 ⑤ 410 6  
 成ヌレハ 403 ⑬ 427 ⑫  
 成ルト(ソ) 419 9  
 不可成候 411 ①  
 可成ル仙ト 405 ⑩  
 可成 406 3  
 成ル(連体法) 420 4  
 成マテニ 407 5

ナルラ 428 3  
成レハ 424 12  
成レル也 426 11  
446 4

に

にぎる(拳)  
拳テ 423 5 4

にく(逃)  
逃ナムト 415 8  
逃ニケニケリ 415 9

にく心(惡)  
惡タルナリ 431 1  
惡ミテ 426 2  
惡ッヘミテ 444 4

にげうす(逃失)  
逃ケ不ニシテ失 404 2  
にげまうてく(逃語)  
逃語ッテ 418 12

にし(西)  
西 411 3 3 418 4 7 431 1

にしき(錦)  
錦 421 7  
錦取 429 9  
錦シキ

にじふご(廿五)  
廿五 413 4 7 9

にじふし(二十四)  
二十四 448 10

にじふにち(廿日)  
廿日 421 8

にじふまん(二十万人)  
にじふまん(二十万人) 408 8

にせいくわう(二世皇)  
二世皇 430 1 435 3  
につしよく(日蝕)  
日蝕 432 2

には(庭)  
庭 403 7 421 1  
にはかなり(俄)  
俄ニ 431 2 4

にはとり(鷄)  
鷄 433 1 1 434 7

にひやくまん(二百万)  
にひやくまん(二百万)

にほひ(旬)  
旬 420 4

にようばう(女房)  
女房 429 10

にる(似)  
似ヲム 407 10

にわうご(二王後)  
二王後 404 6 6  
にわうご(二王後) 418 9

にきりぬく  
ぬく(抜) ↓ えらびぬく  
ぬく(抜) ↓ えらびぬく

ぬ

ぬし(主)  
主 48 6

ぬすびと(盗人)  
盗人 426 13

ぬる(磨)  
ヌレ 422 8

ぬるし(温)  
ぬるけれど (434 13)

ね

ね(音)  
音 406 7 413 10 10 406 7

ねいせきし(寧戚子)  
寧戚子 420 13

ねいわう(倭王)  
ねいわう(倭王)

ねがふ(願)  
願ヒキ 424 4

ねずみ(鼠)  
鼠スミ 432 7

ねんぐ(年貢)  
年貢 410 13 411 10 412 8 11

の

のうげふ(農業)

農業 424 11

のがる(挑)

逃テ 427 ② ⑥

遁レテ

遁レムカ

遁ト

のこしおく(残置)

残コシ 被置ケルナリ 405 5

のこす(残)

残ス(連体法) 435 ⑧

のす(乗)

乗セテ 420 12

乗テ 405 ⑤

乗セナントシテ

のぞく(覗)

及ソキケレハ 433 5

のぞむ(望)

望ム也 414 ⑪

のち(後)

後チ 424 4 427 ⑨

後 403 ③ 404 ⑥ 405 ⑦ 407 ① 411 ⑦

⑩ 413 ③ ④ 418 ⑩ 423 ⑩

424 ⑦ ⑦ 430 ① 431 4

のどけし(長閑)

ノトケキ 435 2

のなか(野中)

野中 437 9 ④ 434 13 ⑤

のぶ(延)

ノヒスシテ 412 12

のぼる(登)

登リ給ケリ 418 1

のむ(呑)

ノミ給ケレハ 410 ③

のやま(野山)

野山 403 8

のりつる(乗連)

乗リツレテ 419 3

のる(乗)

乗リ 418 1

乗給ヘケリ

乗テ 419 14

は

ばいたんをう(賣炭翁)

賣炭翁 423 1 1

はうし(芳士)

芳士 425 10 11

はうせい(房星)

房星 419 8

はうぼく(誇木)

誇木 435 ⑥

はか(墓)

墓ハカ 430 ④

墓 403 9 430 10 ⑩

はからふ(計)

ハカラヒテ 419 ③

はかり(量)

量リ 405 7

はかりがたし(量難)

難量事 432 ②

はかりごと(計)

計コト 419 ⑪

計ト 432 ⑩

はかりしる(量知)

量リ知ルニアラス 432 ④

はかりなし(量無)

無ク量 435 9

はかる(計)

不リキ 囉ラ 424 4

計セハヤ 419 ⑩

計リ 407 2

計リ(納)ケレハ 410 13

ハカリツヘキカ 432 ①

はくき(伯奇)

伯奇 432 ⑫ ⑬ 433 1 2 3

伯奇 5 13

はくきよい(白居易)

白居易 416 ④ 426 ③ ⑤

はくじうじん(縛戎人)

縛戎人 415 ①

縛戎人 415 ①

縛戎人 415 ①

はくはつ(白髪)

うやうはくはつ 415 ①

うやうはくはつ 415 ①

はくらくてん(白楽天)

白楽天 414 ⑨ 415 11 416 8

はくれんきやう(百練鏡)

百練鏡

417 2 4

はげます(勵)

ハゲマサム

417 ⑩

はげみ(勵)

勵ミ

423 13

はこぶ(運)

運コケレ

428 11

はし(橋)

橋

444 430 ⑤

はじむ(始) ↓ いりはじ

む・おちはじむ・まひ

うたひはじむ

ハしめられけれ(ハ)

初給ヲ

初給ヲ

始テ

はじめ(始)

始テ

はしら(柱)

406 ⑦ 411 13

柱

はしりいづ(走出)

走出テ

はしりよる(走寄)

走依リテ

はたち(廿)

廿

はたる(徴)

徴ケレハハ

はち(八)

ハ

はち(蜂)

蜂

はち(恥)

恥

はがおもふ(辱思)

辱ハチ思給ヘキヲ

はちぶいづしや(八十)

一車

八十一車

はらしゆんと(八駿圖)

八駿圖

八駿圖

はちひき(八疋)

八疋

ばちやう(馬暢)

馬暢

はつ(果) ↓ さびはつ

なりはつ

はつ(恥)

恥ハチテ

はつか(廿日) ↓ にじふ

にち

はて(果)

ハテ

はな(花)

花

はな(鼻)

鼻

はなつ(放) ↓ うちはなつ

はなはだし(甚)

甚シカリシカトモ

はなぶさ(英)

花フサ

はは(母) ↓ おむはは

母

はばかり(憚)

憚

はばかり(憚)

不憚

不憚

憚カル

はぶきよく(法曲)

法曲

法曲

はべり(侍)(動詞)

侍シカ

はべり(侍)(補助動詞)

き侍ヘシ

はみ(食)

ハミ

はやうかう(都陽坑)



ひとあまた 407 11  
 ひとかきね (一重) 425 ②  
 一「上重ネ 422 ⑦  
 ひとつ (一) 406 9 410 ③ ⑤ ⑦ 413 ④  
 一人 409 410 ③ ⑤ ⑦ 413 ④  
 ひとども (人共) 419 ⑤ ⑥  
 人共 419 ⑤ ⑥  
 ひとびと (人々) 403 8 ④ 406 ① ⑧ 408 2  
 人々 10 409 5 411 1 412 7

ひとへ (單衣) 414 ① 416 ③ 420 ⑤ 421 1 424 3 425 ④ 428 1  
 ひとへに (偏) 423 7  
 偏ハニ 422 2  
 偏ヘニ 408 ②  
 偏ニ 413 ⑦ ⑧ 417 ⑥ 420 ⑥  
 ひとめ (人目) 432 9  
 人目 403 ⑧  
 ひとり (一人) 410 ⑧  
 一人 411 ③ 416 ⑧ 421 1 2  
 ひとりづつ (一人) 425 ⑩ 431 ③  
 ひとり 416 ⑩  
 一人ツ 404 ④  
 ひなどり (翠鳥) 433 ⑩  
 翠鳥 (ヒナトリ) 433 ⑩  
 ひねもす (終日) 418 ③  
 終日ス

ひびき (響音) 406 ④ 407 3  
 響音  
 ひぶん (碑文) 417 ③  
 碑文  
 ひま (隙) 425 5  
 隙 (ヒマ)  
 ひむがし (東) 405 ②  
 東  
 ひやうぶ (屏風) 424 10  
 屏風  
 ひやくし (百司) 416 ④  
 百司  
 ひやくしやう (百姓) 433 ④  
 百姓  
 ひやくしやく (百尺) 410 4  
 百尺  
 ひやくせんじん (百千人) 416 ④  
 百千人  
 ひやくだい (百代) 417 10  
 百代  
 ひやくよにん (百餘人) 407 ②  
 百餘人

ひらく (開) 418 ③ 430 ⑦  
 開キ  
 開テ  
 ひる (晝) 415 ⑩  
 晝ル  
 ひれい (美麗) 421 ④ 422 3 427 2  
 美麗  
 ひろさ (廣) 408 ⑩ 421 ⑤  
 廣サ  
 廣  
 ひろし (廣) 430 6  
 廣  
 廣 (連用法)  
 廣 (連体法)  
 びん (髻) 423 12  
 髻  
 びんづら (髻装) 426 ④  
 髻装ヒンツラ  
 小 (經) 411 ⑫  
 經フトモ

ぶ(武)

武

ふう(風)

風

ふえ(笛)

笛

ぶか(舞歌)

舞歌

ぶかがく(舞歌)

舞歌

ぶかく(舞歌)

舞歌

ふかし(深)

深ク

深シ

深フカキ

深キ

深(連体法)

深キニ非ス

深ケレトモ

深ケレハ

ぶくす(服)

服ツル

ふくむ(含)

含ム(連体法)

含メル

ふしき(伏木)

臥キ

ぶしゆくき(武淑妃)

武淑妃

ふす(臥)

臥候ニケリ

ふせぐ(防)

防セキケルヨリ

防(連体法)

ふだ(蓋)

フタ

ふたごころ(戴心)

戴心

ふたたび(再)

再ヒ

ふたつ(ニ)

ニツ

兩ツ

ふたごころ(兩處)

兩夕處

ふたり(二人)

二人リ

二人

乍ラ兩

兩人リ

兩人

ふち(淵)

淵

潭

ふち(藤)

藤

ふで(筆)

筆

ふてい(武帝)

武帝

ふとし(太)

太フクシテ

ぶにん(夫人) ↓ ぶにん

夫人

ふね(舟)

舟

ふびん(不便)

不便

ふみ(文)

文

ふむ(踏)

フミテ

ふもと(麓)

フモト

ふゆ(冬)

冬

ふる(下) ↓ あめふる

フリテ

ふるさと(舊里)

舊里

ふるし(古)

フルキ



古、 406 ④  
 舊キ 418 ③  
 古(ル)キヲ 423 ⑦  
 古、ウ 404 ④  
 ふるまひ(舉動) 407 ②  
 フルマヒ 428 ⑧  
 フル動 428 ⑧  
 奉行 428 ⑧  
 ふるまふ(舉動) 426 ②  
 フルマフ(連体法) 426 ②  
 ふん(粉) 422 ⑧  
 ぶん(文) 417 ⑧  
 ぶんせい(文成) 495 ⑦  
 口成 495 ⑦  
 ぶんてい(文帝) 419 ⑫  
 文帝 419 ⑫  
 ぶんはく(文伯) 410 ⑩  
 文伯 410 ⑩  
 ぶんわう(文王) 420 ⑤  
 文王 420 ⑤

ほ

へ

へうきしやうぐん(驃騎) 423 ④  
 將軍 423 ④  
 驃騎將軍 423 ④  
 へうこく(驃國) 44 ⑤  
 驃國 44 ⑤  
 へうこくかく(驃國樂) 44 ⑤  
 驃國樂 44 ⑤  
 へうこくわう(驃國王) 44 ⑤  
 驃國王 44 ⑤  
 へたつ(隔) 423 ⑦  
 別ツルヲ 423 ⑦  
 べち(別) 431 ⑫  
 別 431 ⑫  
 べんが(汴河) 429 ⑦  
 汴河 429 ⑦  
 べんくわん(辨官) 433 ⑤  
 辨官 433 ⑤  
 434 ⑩

ほうくわう(鳳凰) 434 ①  
 ほうくわう 434 ①  
 鳳凰 433 ⑥  
 ほうこう(奉公) 417 ⑧  
 奉公 417 ⑧  
 ほうししやうぐん(蓬子) 415 ③  
 將軍 415 ③  
 蓬子將軍 415 ③  
 ほうしやう(鳳翔) 418 ⑦  
 鳳翔 418 ⑦  
 ほうじよ(褒如) 431 ⑦  
 褒如 431 ⑦  
 ほうす(封) 404 ⑥  
 封 404 ⑥  
 ほうらい(蓬萊) 405 ⑤  
 蓬萊 405 ⑤  
 ほうらいさん(蓬萊山) 405 ⑤  
 蓬萊山 405 ⑤  
 ほうろく(俸祿) 410 ⑩  
 俸祿 410 ⑩  
 ほか(外) ↓ ことのほかに 410 ⑩  
 ほか(外) ↓ ことのほかに 410 ⑩  
 ほくわう(捕蝗) 410 ⑩

ほうくわう(穆王) 418 ⑩  
 穆王 418 ⑩  
 ほし(星) 419 ⑩  
 星 419 ⑩  
 ほしいまます(盜) 409 ⑧  
 星 409 ⑧  
 ホシイマシテ 415 ⑪  
 ほそし(細) 421 ⑨  
 細 421 ⑨  
 ぼたん(牡丹) 420 ④  
 牡丹 420 ④  
 ぼたんほう(牡丹芳) 420 ④  
 牡丹芳 420 ④  
 ほど(程) ↓ いくほど 421 ⑧  
 程 421 ⑧  
 ほとけ(佛) 418 ①  
 佛 418 ①  
 ほどなし(程無) 418 ①

無ク程ト 430 ⑦

ほどに(程)形式名詞

↓かひるほどに・さり

けるほどに

サマヨヒケルホトニ 433 ⑧

直セ給けるほどに 433 ⑫

思シ召シケル程ニ 403 ①

耽給ケル程ニ 404 ⑥

申ケル程ニ 404 ②

申ケル程ニ 406 ①

諺リ候ケル程ニ 406 ⑪

尋ラレケル程ニ 407 ⑫

四十年計有ケル程ニ 428 ⑪

運ケル程ニ 415 ⑤

給ケル程ニ 429 ③

ほどほどに(程々) 410 ⑬

ほどり(邊) 405 ⑦

邊 411 ③

邊 421 ②

ほどちし(母別子) 423 ⑦

母別子 423 ⑦

ほむ(讚)

讚メ 409 ② 417 ④

美メ候 425 ②

ホメタルナリ 417 ③

美タルナリ 421 ⑫

讚タルナリ 417 ⑫

ホメテ 403 ⑥

讚テ 411 ④ 420 ⑤

美メテ候也 424 ②

美テ候也 416 ④

讚ラ候也 407 ⑧ 417 ①

讚マイラセ 412 ④

讚マイラセテ 404 ⑦

讚ムル 417 ⑥

美也 416 ③

ほむ(堀) 411 ①

堀セテ 411 ①

ほろぶ(減) 419 ⑧

減ヒ 434 ⑧

減ケリ 410 ④

減テ 409 ⑨

減ナント 410 ⑩

減ニケリ 470 ⑦

ほろほす(減)

減サム 410 ⑧ 435 ⑥

減ホシ 403 ⑦

減シ 429 ⑥

減キシ 419 ⑩

減セシ 429 ⑨

減ホシ候 419 ⑪

減シ給ケレハ 404 ⑧

ほろほす(連体法) 434 ⑨

減ス(連体法) 426 ⑬ 435 ⑩

減ヌハ 410 ⑥

減スヲ 434 ③

ほんぢよ(奔女) 428 ⑤

奔女 428 ⑤

ま

まうく(儲) 420 ⑥

儲マウケテ 420 ⑥

まうしいる(申入) 420 ⑫

申入 420 ⑫

まうしう(申得)

申エスシテ 406 ④

まうしがたし(申難)

申難 417 ⑤

まうしこす(申越)

申越候 414 ⑩

まうししる(申知)

申シ知シメンカ 429 ①

まうしつく(申付)

申付ルニ 409 ③

まうしつたふ(申傳)

申傳ケル 432 ①

申傳タルヲ 431 ⑨

まつしやうくん(孟將君) 420 ⑩

孟將君 420 ⑩

まうす(申) ↓いっはり

まうす・こたへまうす 410 ②

申ササリケレハ 410 ②

不申 422 ⑧

申さぬに 434 ⑤

申サハ 410 ④ 423 ⑬

申サント 435 ⑧











昔 406 ⑤ ⑧ 411 ⑤ ⑬ 412 8

413 ③ ⑥ ⑩ 414 3 415 ⑧

419 2 4 421 ② 424 3 426

7 432 ④ 435 10 ④ 406 3 407 9

〔音〕

むかふ(向) (下ニ段)

↓よろこびむかふ

向ヘテ 432 5

向テ 423 ⑩

むく(向)

ムケレハ 434 ③

むさぼる(貪)

貪ホリテ 426 ⑫

貪ホテ 432 10

むし(虫)

虫 410 7 7 ③ ③

むしや(武者)

武者 403 3

むすぶ(結)

結テ 421 7

むすめ(娘)

女 427 ⑤ 428 2 5

娘× 427 ④ 428 3

娘 407 12 427 ②

むなし(空)

空<sup>ムナシク</sup> 410 6

空<sup>ムナシク</sup> 419 ⑤ ⑦ 427 ⑩

空<sup>ムナシク</sup> 409 5

空<sup>ムナシク</sup> 408 13 417 ⑦ 428 ⑤

空キ 408 13 417 ⑦ 428 ⑤

むね(宗) 429 11 430 5

宗 429 11 430 5

むね(胸) 432 ⑤

胸 432 ⑤

〔め〕

め(目) ↓ひとめ

めい(茗) 411 6 10

茗 411 6 10

めい(明堂)

めい(明堂) 406 ⑥

めいてい(明帝)

明帝 424 8

めぐみ(恵)

恵 423 11

めぐりあつ(廻宛)

廻宛ニハ 426 10

めぐる(巡)

循<sup>ル</sup> 409 ⑩

遷<sup>ル</sup> 411 1

めしとふ(召問)

召被問<sup>ケレハ</sup> 435 ⑧

めす(召) ↓おさへめす

おほしめす・きこしめす 435 ⑧

す 409 ⑥

召<sup>ル</sup> 409 ⑥

召サルヘケレハ 412 11

被召<sup>ケリ</sup> 423 10

メシケリ 408 ⑩

召シテ 411 ⑩ 420 ② 427 6

召テ 420 ① 425 11

不可召 423 ②

可召者 403 ⑫

召<sup>成</sup> 423 9

めづ(徳受)

徳受候 413 ③

めでたし(目出度)

目出(連体法) 409 ④

めをこ(専夫)

専<sup>夫</sup> 409 ④

〔も〕

もうし(毛詩)

毛詩 428 1

もうてむ(蒙恬)

蒙恬<sup>モウテム</sup> 430 5

もえい(生出)

生出<sup>モエイ</sup> 435 4

生エ出ヘシ

生エ出<sup>ツル</sup> 435 1

もし(茗)

茗 428 ④

もちて(以)

以<sup>テ</sup> 410 ④ 417 6 11 421 ① ①

以口 423 6 424 ⑤ 428 3 ⑧

もちぬがたし(用難)

難<sup>シト</sup>用 423 ⑧

難<sup>シト</sup>用 423 3



もちぬる(用)

被用候ケリ

用ラレ候ケルヲ

用ラレ

被用是ヲ事

用<sup>4</sup>

用ケレハ

用給シヲ

不可用トテ

可用<sup>レ</sup>ト

もつ(持)

持<sup>(持)</sup>(連体法)

もてあそぶ(翫)

翫<sup>レ</sup>ケレハ

翫ケリ

翫給ケ<sup>レ</sup>リ

翫給ケ<sup>レ</sup>ル

翫給トモ

翫給ヘカラサル

406 ⑦

406 ⑥

404 ②

406 4

434 ⑦

424 ⑤

406 ⑤

419 ①

419 ③

412 ⑩

421 ⑥

415 ⑪

420 ⑥

421 8

404 ①

413 4

404 5

413 1

419 1

翫ヒテ

翫テ

不可翫<sup>テ</sup>

もてなす(持成)

モテナシテ

もと(下)

本

下

⑩

もとむ(求) ↓かひもとむ

不<sup>レ</sup>求

被<sup>レ</sup>求<sup>ケ</sup>ケルニ

被<sup>レ</sup>求<sup>ケ</sup>レトモ

求(中止法)

求テ

求トモ

可<sup>レ</sup>求<sup>レ</sup>彼山<sup>ヲ</sup>

もとめう(求得)

不得(求) □□ニケリ

もの(者・物) ↓そなへ

415 7

418 ⑧

421 11

406 10

421 6

430 10

421 1

422 2

427 ②

434 ⑭

435 ⑮

405 ⑤

405 ⑤

405 ⑤

405 ①

405 ①

405 ⑧

405 ⑥

405 ⑥

もの

モノ

物

物

者

者

者

者

者

者

者

者

者

者

者

者

者

者

者

者

413 ③

424 4

425 5

434 9

431 10

403 10

410 14

406 ③

415 ⑩

419 ①

419 ①

419 ①

419 ①

419 ⑩

419 ⑩

419 ⑩

419 ⑩

419 ⑩

419 ⑩

モミナ

もも(百)

百

もも(桃) ↓かりもも

もまたび(百度)

百度

もよほし(催)

催

もよほす(催)

催スヘカラス

催シテ

もらす(漏)

漏ス(連体法)

もる(漏)

モラルカ

漏 如ナル

もろこし(唐)

唐コシ

もろとも(諸共)

諸共ニ

421 4

410 ③

417 2

417 2

409 3

409 3

428 8

416 ⑩

434 ⑩

434 ⑩

423 11

423 11

423 11

423 11

424 3

424 3

424 3

424 3

424 3

門 427 8 430 7 435 9

もんぐわい(門外)

門外 423 4

ヤ

ヤ(輻)

ヤ(輻)

ヤ(輻)

揚 412 7

ヤウ(様) (形式名詞)

ハ連体形+ヤウ

申ヤウ 424 12

申ケルヤウ 426 8

思候ケル様 407 3

申ケル様 408 12 423 6 425 11 432

申様 408 12 423 6 425 11 432

申ケル様 412 8

思ケル様 412 1

申ケル様 414 10

申候様 415 3

思シ食ス様 416 8

思召(召)様 417 4

仰有(有)様 419 13

申傳ケル様 432 1

秘ヒ翔ル様ニ 409 2

思召ケル様ニ 431 9

申ケル様ハ 420 2

(思)以様ハ 424 3

申様ハ 433 1

ハノナヤウ

年貢ナムトノ様ニ 410 13

幻(幻)様ニテ 425 1

ヤウキビ(楊貴妃) 407 7 411 3 416 6 418

楊貴妃 407 7 411 3 416 6 418

ヤウガンエン(楊玄瑛) 3 8 8 12 14 425 3

楊(玄)瑛 407 12

ヤウコクチウ(楊國忠) 408 13 415 5 419 4

楊國忠 408 13 415 5 419 4

ヤウシウ(楊州) 6 7 8

楊州 417 4

ヤウセイ(揚成) 412 1 415 5 417 7

揚成 412 1 415 5 417 7

楊(成) 412 4

ヤウダイ(煬帝) 404 4 429 6 7 418 8

煬帝 404 4 429 6 7 418 8

ヤウコウ(陽洞) 421 4

陽洞 421 4

ヤキイデユク(焼出行) 423 12

焼キ出行(行) 423 12

ヤク(焼) 423 4

焼テ 423 4

焼ク(連体法) 426 7

ヤサシ(優) 429 10

ヤサシク候 409 3

ヤサシキ 429 10

ヤシナヒコ(養子) 408 9

養子 408 9

ヤスむ(息) 409 7

息カ爲ナリ 409 7

息メ 403 11

安メケリ 423 4

安メケレ 425 10

ヤナギ(柳) 429 3

柳キ 429 3

ヤブ(被) (四段) 418 6

破(被) 411 12

破(被) 411 6

破(被) 411 12

破(被) 411 6

破(被) 418 10

破(被) 430 12

破(被) 418 12

ヤマ(山) ↓のやま 405 3 407 1 409 11 411 6 416 3 417

山 405 3 407 1 409 11 411 6 416 3 417

ヤマどり(山鳥) 433 8 434 1 432 7

山鳥 433 7 434 2

ヤマヒ(病) 403 1

病 403 1

ヤム(止) (四段)

不<sub>レ</sub>止 415 8

未<sub>レ</sub>止 415 6

不<sub>レ</sub>止候ケリ 403 ④

止<sub>レ</sub>給ニケリ 424 13

止ニケリ 405 ⑩

やむ(止) (下ニ段) 422 2

可<sub>レ</sub>被<sub>レ</sub>止 422 2

ゆ

ゆ(湯) 408 ⑩

ゆが(湯) 408 ⑩

ゆが(床) 424 2 435 ④

床 424 2 435 ④

ゆかり(縁) 428 1

ユカリ 428 1

ゆき(雪) 423 4

雪 423 4

ゆきげ(雪氣) 435 2

ユキケ 435 2

ゆく(行) ↓ やきいでゆ

行トセシ 430 4

行キ 426 ⑤

行タル 426 5

行テモ 424 2

可<sub>レ</sub>行<sub>レ</sub> 435 ①

不可<sub>レ</sub>行<sub>レ</sub> 419 14

行ク(連体法) 419 12

ゆくへ(行方) 426 4

ユクハ 426 4

ゆたかなり(豊) 432 4

豊カナ 432 4

ゆつり(譲) 427 9

譲リ 427 9

ゆづる(譲) 430 ①

譲ラレタリ 430 ①

ゆひべ(夕) 409 ⑥

夕 426 5

ゆめ(夢) ↓ おむゆめ

ゆゆし 410 4

ユ、シキ 410 4

ゆゆしげなり

ユ、シケニ 426 ⑥

ゆるし(許) 428 5

免ルシ 428 5

ゆるす(許) 403 ⑭

放<sub>レ</sub>給ニケリ 415 ⑦

ユルワレテ 411 6

放ユルサレネハ 411 8

放サレネハ 428 7

被<sub>レ</sub>免<sub>レ</sub>セ 411 10

免ユルシ 427 ②

放ルシテ 411 9

放シテ 422 11

許シテ 422 11

ゆるすへからさる 433 ②

可<sub>レ</sub>免<sub>レ</sub>ス 433 ②

ゆる(故) 435 14

故 435 14

ゆゑ(故) (形式名詞) ↓ がかかるゆゑに、この

ゆゑに

↑ 連体形 + ゆゑ ↓

□ □ 候ナル故 = 411 ②

鏡なる故 = 417 2

被<sub>レ</sub>織<sub>レ</sub>ラ故 = 421 ①

不<sub>レ</sub>置<sub>レ</sub>故ナリ 435 ④

及故也 414 7

將<sub>サ</sub>ケイ<sub>テ</sub>候<sub>リ</sub>故也 414 8

不知故也 418 ①

重クシ給故也 431 ⑥

思<sub>フ</sub>語<sub>ル</sub>スル故ナリケトモ 408 ②

↑ かつゆゑ ↓

推カ故 = 409 11

遷ルカ故 = 411 1

勝カ故 = 416 ③

有カ故 = 418 8

哀ミタルカ故 = 429 ⑧

申タルカ故 = 430 2

ハカリツヘキカ故 = 432 ①

貞<sub>シ</sub>カ故 = 433 1

へ<sub>ノ</sub>十<sub>ハ</sub>ゆゑ ↓

叶ハ又亭ノ故 = 409 8

ゆ

よ(代)

413 ② 423 ④ 425 ⑩

代

よ(世)

403 5 7 404 6 405 4 407

世

⑩ 408 10 ④ 409 6 9

⑧ 416 ⑩ 417 10 419 ④ 420

よ(オ) (雍差)

よくよく (能々)

能々

よんげまなり (横)

横ナラハ

横サマナリシカハ

よ(こ) (夜毎)

毎夜

よ(こ) (汚)

ヨコレム

よ(し) (由) (形式名詞)

入連体形 + よし

ヨシ

由シ

420 4 14 ② 405 ⑧

よ(し) (吉)

吉カラヌ

美ク

吉 (終止法)

可(吉)

よ(キ)

吉 (運体法)

美キ

善キ

吉ヲ

よ(し) (由無)

ヨシナシ

由シ無シ

無由

無由

無由

無由

無由

よ(す) (寄)

依セテ

423 2

よ(ふ) (寄)

用ヨシヘテ

依ハテ

よ(た) (四人)

四人

よ(の) (世中)

世ノ中

世中

よ(ひ) (宵)

宵

よ(び) (呼入)

呼ヒ入テ

よ(ぶ) (呼)

呼ヨヒケレハ

よ(も) (通夜)

ヨモスカラ

迎夜カラ

竟夜カラ

代

代

414 3 416 ⑤

よりあふ (寄合)

依相セテ

よ(る) (夜)

夜

よ(る) (由)

所[由]

よ(る) (寄) ↓はしりよる

依リテ

依テ

よ(る) (悦) ↓おむよ

よ(る) (悦)

よ(る) (悦) ↓なまよ

悦向ケル

悦向ケル

悦ヒテ

悦テ

悦 (連体法)

よ(る) (宜)

不[宜]

りきうかう(驪宮高)

万 408 2 413 13 416 9

り

ら(等) ↓ こ 爪 ら ・ 爪 爪

ら

らむでん(藍田)

藍田 417 ②

り

り(利)

利 423 7

りうぐう(龍宮)

龍宮 431 ③

りえん(李淵)

李淵 429 ④

りかいふ(李開府)

李開府 427 3

りきう(驪宮)

驪宮 416 ⑤

りきうかう(驪宮高)

驪宮高 416 ③ ⑤ ⑦

りきうさん(驪宮山)

驪宮山 416 ③

りくきう(六宮)

六宮 416 ⑧

りしやうぐん(李將軍)

李將軍 425 7

りじよせん(李如選)

李如選 415 ③ 416 7

りぶにん(李夫人)

李夫人 425 7 9

りふほき(立部伎)

立部伎 406 1 1 5

りやうしゆかく(兩朱閣)

兩朱閣 417 ⑩ ⑪

りやうにんながら(兩人)

乍) ↓ ふ たり ながら

りよう(龍)

龍 432 1

りようめんきう(陵園宮)

陵園宮 425 ⑥ ⑩ 428 9

りようめんせふ(陵園寺)

陵園寺 425 ⑧

りよしやうぐん(盧將軍)

盧將軍 427 4

りよぼう(呂望)

呂望 420 7

りいわう(厲王)

厲王 435 ②

りうりよう(繚綾)

繚綾 422 ③ ④

りく(祿) ↓ まん ろく

祿 420 10

ろくじふ(六十)

六十 407 5

ろすい(瀘水)

瀘水 408 ⑪

わ

わう(王) ↓ けん わう

王 404 ① 405 1 414 6 11 ②

わうきう(王宮)

王宮 418 ④ ④ 429 4 ⑧ 430 2

わうじ(王子)

王子 414 11 431 5

わうじども(王子共)

王子共 405 1 5

わが(我)

我 427 9

わが(我)

我 424 8 426 ⑧

わが(我)

我 433 10 427 9

わが(我)

我 403 ② 409 3 410 ⑦ ⑨ 417 6 412

420 14 ② 429 ⑦ 431 4

わかし(若)

若カリケル

少キ

わかば(若葉)

若葉

わかる(別)

別カレ

別レテ

わかれ(別)

別レ

わく(分)

いケスシテ

わざ(態) ↓ ことわざ

態ハサ

わざ(態) ↓ 態事

態事

わざ(態)

態ト

態

わざ(態) ↓ 災

災

410 ⑬

408 ④

409 4

431 ④

423 ③

411 2

425 ⑥

424 5

416 7

435 1

405 ④

408 ④

わする(忘)

忘レサセシカ

忘レ給ケレハ

可忘日

わたくし(私)

私

わたす(渡)

渡(中止法)

渡ナムトスル

わたる(渡)

〔渡〕(連体法)

わづかなり(僅)

僅ニ

わづらはし(煩)

煩シク

煩(連体法)

わづらはす(煩)

煩ス(連体法)

わづらひ(煩)

ワツラヒ

煩ヒ

煩

405 ⑬

417 1

405 ①

410 ④ 423 2

435 ⑪

410 4

407 ⑤ 417 5

409 1

409 2

414 4

426 ⑩

403 ⑤

429 ③

412 ⑥

わづらふ(煩)

煩フ

わびし(侘)

ハヒシキ 苦

わらは(童)

童

わらふ(笑) ↓ 忍わらふ

嘲ハセム

嘲セム

嘲ラヒ給ケリ

笑ヒテ

わるし(悪)

わるき

わ水(我)

吾レ

我レ

我

わらう(我等)

我等

我

我

る

る

み(井)

井

みなか(田舎)

井中

みのこ(豚)

〔豚〕

ぬひん(溜瀆)

溜瀆<sup>4E4</sup>

みる(居) ↓ あつまりぬ

る こもりぬる

居テ

居<sup>3E4</sup>モ

みんきつほ (尹吉甫)

尹吉甫

尹吉甫

尹吉甫

尹吉甫

画(畫)

畫

画

ゑいこうけ(衛公家)

衛公家

421 3

418 ⑩

432 ⑫ 433 2 5 6 7

432 ⑪

424 2

420 8

420 7

432 4

404 7

427 ① ⑧

夏心(醉) 432 7  
 酔テ  
 夏み(咲) 418 3  
 咲ミ  
 夏る(刻) 417 7  
 刻ラムヨリハ  
 刻ケラレ 417 5  
 刻ケラレ  
 可刻ラレ 417 9  
 可刻ラレ  
 削(中止法) 434 3  
 削  
 エリテ 417 3  
 エリテ  
 夏わらふ(咲嘲) 431 8  
 咲嘲ハハヤ事  
 夏んきう(圓丘) 406 3  
 圓丘  
 夏を

ヲサメン 405 4  
 治メ御坐サム  
 治ケル 429 4  
 治ケル  
 治メ給ケル 417 7  
 治メ給ハム 403 6  
 治サメテ 431 7  
 治サメテ 417 9  
 治テ 405 13  
 治テ候ケレハ 403 14  
 可治舞 404 5  
 可治舞  
 可治事 407 11  
 可治事  
 政ヲムル 410 12  
 政ヲムル  
 治ル 405 12  
 治ル  
 政ナラハ 409 6  
 政ナラハ  
 夏さむ(納) 430 11  
 不心納  
 納ケリ 410 12  
 納ケリ  
 納ケレハ 410 13  
 納ケレハ  
 夏しむ(惜) ↓おもんじ 421 7  
 夏しむ  
 惜セ給 403 6  
 惜セ給  
 惜ミテ 421 7  
 惜ミテ  
 惜イテ 422 7  
 惜イテ  
 惜(連体法) 423 7  
 惜(連体法)

夏とこ(男) 412 6  
 男コ 427 5  
 男 426 3  
 男  
 夏むな(女) ↓ぎの夏む 427 5  
 夏むな(女)  
 な 426 4  
 な  
 女 405 4  
 女  
 夏リ(折) 416 6  
 夏リ(折)  
 折 416 6  
 折  
 夏リふし(折節) 421 9  
 夏リふし(折節)  
 比ヲリ 421 9  
 比ヲリ  
 夏る(折) ↓つき夏る 409 3  
 夏る(折)  
 折リケル 409 4  
 折リケル  
 折タリケリ 408 4  
 折タリケリ  
 折テ 409 3  
 折テ  
 夏ん(恩) ↓ご夏ん 434 10  
 夏ん(恩)  
 恩 412 6  
 恩  
 夏ん(恩) ↓恩祿 424 12  
 夏ん(恩)  
 恩祿 419 9  
 恩祿  
 以上

◎原典新樂府よりの引用文（語句）一覽

- 魏微<sup>ウイ</sup>夢ニ見シカハ子夜ニ泣キ張瑾<sup>シヤ</sup>哀<sup>アハ</sup>聞<sup>カ</sup>カハ辰<sup>チン</sup>日<sup>ニ</sup>哭<sup>ク</sup>ス
- 絃鼓<sup>ケンコ</sup>一<sup>ニ</sup>下<sup>ニ</sup>聲<sup>シヤウ</sup>スレハ雙袖<sup>シュウ</sup>テ擎<sup>テ</sup>カル迴雪<sup>クワイセツ</sup>飄<sup>ヒラ</sup>飄<sup>ヒラ</sup>トシ韓蓬<sup>カンポン</sup>蓬<sup>ポン</sup>如<sup>ニ</sup>舞<sup>マシ</sup>（405）
- 梨花<sup>リカ</sup>園<sup>エン</sup>中<sup>チュウ</sup>ニハ冊<sup>サツ</sup>シテ作<sup>ス</sup>妃<sup>ヒ</sup>ト金鷄<sup>キンキ</sup>障<sup>サウ</sup>下<sup>カ</sup>ニ養<sup>ヤウ</sup>レテ爲<sup>ル</sup>
- 兒<sup>ニ</sup>一<sup>ニ</sup>（406）
- 洲<sup>シュウ</sup>杏<sup>キョウ</sup>ニ杜若<sup>トニョク</sup>（411）
- 第一<sup>ダイイチ</sup>第二<sup>ダイニ</sup>絃索<sup>ケンソク</sup>（413）
- 玉螺<sup>ギョクカ</sup>一<sup>ニ</sup>吹<sup>フク</sup>テ椎髻<sup>シヅメ</sup>口<sup>クハ</sup>管<sup>カン</sup>（414）
- 驚<sup>オドロク</sup>テ藏<sup>カケル</sup>レハ青塚<sup>セイソウ</sup>ニ寒草<sup>カンソウ</sup>疎<sup>ス</sup>ナリ儉<sup>ケン</sup>渡<sup>ワタ</sup>レハ黃河<sup>ワウカ</sup>一<sup>ニ</sup>夜<sup>ヤ</sup>ノ水<sup>スイ</sup>薄<sup>ハク</sup>（416）
- 四<sup>シ</sup>海<sup>カイ</sup>（417）
- 宿露<sup>シュクロ</sup>輕<sup>ケイ</sup>盈<sup>エイ</sup>泛<sup>ハン</sup>紫艷<sup>シヤン</sup>朝陽<sup>チャウヤウ</sup>照<sup>テ</sup>曜<sup>ヤウ</sup>生<sup>シヤウ</sup>紅光<sup>コウカウ</sup>（420）
- 庫<sup>コ</sup>車<sup>シャ</sup>軟<sup>ニヤ</sup>輦<sup>ベン</sup>貴<sup>キ</sup>公<sup>コウ</sup>主<sup>シュ</sup>杏<sup>キョウ</sup>衫<sup>シヤン</sup>細<sup>サイ</sup>馬<sup>バ</sup>豪<sup>コウ</sup>郎<sup>ロウ</sup>（420）
- 千<sup>セン</sup>行<sup>コウ</sup>赤<sup>セキ</sup>英<sup>エイ</sup>霞<sup>カ</sup>爛<sup>ラン</sup>々<sup>々</sup>百<sup>ヒャク</sup>枝<sup>シ</sup>綺<sup>キ</sup>焰<sup>エン</sup>煌<sup>コウ</sup>々<sup>々</sup>（420）
- 戲<sup>キ</sup>蛛<sup>シュ</sup>雙<sup>シュウ</sup>舞<sup>ブ</sup>着<sup>キヤク</sup>人<sup>ニ</sup>久<sup>キウ</sup>殘<sup>ザン</sup>鴛<sup>ウヰン</sup>一<sup>ニ</sup>聲<sup>シヤウ</sup>春<sup>シュン</sup>日<sup>ニチ</sup>長<sup>チヤウ</sup>（421）
- 大<sup>ダイ</sup>原<sup>ゲン</sup>綖<sup>ニ</sup>澀<sup>セツ</sup>絛<sup>ニ</sup>縷<sup>ル</sup>硬<sup>コウ</sup>蜀<sup>シヤク</sup>都<sup>ト</sup>綉<sup>シウ</sup>錦<sup>キン</sup>花<sup>カ</sup>冷<sup>レイ</sup>（421）
- 十<sup>ジュウ</sup>家<sup>カ</sup>祖<sup>ソ</sup>花<sup>カ</sup>九<sup>ク</sup>家<sup>カ</sup>畢<sup>ヘイ</sup>マレハ虛<sup>キョ</sup>シク受<sup>ウ</sup>吾<sup>ウ</sup>君<sup>クニ</sup>鷓<sup>セ</sup>鴒<sup>レイ</sup>（422）
- 織<sup>オリ</sup>爲<sup>ニ</sup>塞<sup>サイ</sup>北<sup>ホク</sup>秋<sup>シュウ</sup>鴈<sup>オン</sup>行<sup>コウ</sup>染<sup>セン</sup>作<sup>ス</sup>江<sup>カウ</sup>南<sup>ナン</sup>春<sup>シュン</sup>水<sup>スイ</sup>色<sup>シキ</sup>（422）

- 君<sup>クニ</sup>又<sup>マタ</sup>不<sup>フ</sup>見<sup>ミ</sup>秦<sup>シ</sup>陵<sup>レイ</sup>一<sup>ニ</sup>樹<sup>ジュ</sup>淚<sup>レイ</sup>ヲ馬<sup>バ</sup>冤<sup>オン</sup>路<sup>ロ</sup>上<sup>ニ</sup>念<sup>ニ</sup>陽<sup>ヤウ</sup>貴<sup>キ</sup>（425）
- 松<sup>ソウ</sup>門<sup>モン</sup>到<sup>トウ</sup>曉<sup>コウ</sup>月<sup>ゲツ</sup>徘徊<sup>ハイ</sup>個<sup>ニ</sup>栢<sup>ハク</sup>城<sup>シヤウ</sup>盡<sup>ジン</sup>日<sup>ニチ</sup>風<sup>フウ</sup>蕭<sup>シヤウ</sup>瑟<sup>セツ</sup>松<sup>ソウ</sup>門<sup>モン</sup>栢<sup>ハク</sup>城<sup>シヤウ</sup>幽<sup>ユウ</sup>深<sup>シン</sup>ク
- 聞<sup>ケン</sup>蟬<sup>セン</sup>聽<sup>テイ</sup>燕<sup>エン</sup>感<sup>カン</sup>一<sup>ニ</sup>光<sup>コウ</sup>陰<sup>イン</sup>（426）
- 眼<sup>ガン</sup>看<sup>カン</sup>菊<sup>キク</sup>藥<sup>ヤク</sup>重<sup>ジュウ</sup>陽<sup>ヤウ</sup>梁<sup>レイ</sup>守<sup>シュ</sup>把<sup>バ</sup>梨<sup>レイ</sup>花<sup>カ</sup>寒<sup>カン</sup>食<sup>シキ</sup>心<sup>シン</sup>（426）
- 嬋<sup>チン</sup>娟<sup>クワン</sup>タル云<sup>ク</sup>（427）

〔追記〕 本稿を成すにあたって、小林芳規先生の御指導を賜りました。記して厚く御礼申し上げます。